

新日軽 折り戸付テラス「うらら」取付説明書

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

◎注意（設置場所・設置位置について）

- この商品は一般地域用です。【積雪強度 600N/m² (61.2kg/m²)・耐風圧強度：33m/s】積雪の多い地域・風の強い地域には取付けないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 2階以上への取付けはできません。強度を保証できません。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 木造在来工法以外の躯体へは取付けないでください。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

もくじ

梱包明細.....	2～3	2. 折り戸の組立て.....	28
各部の名称.....	4	2-1 折り戸の組立て前に.....	28
絵目次.....	5	2-2 縦枠用部品の取付け.....	29～30
納まり図.....	6～13	2-3 縦枠と下枠レールの組立て.....	31
施工の要点と注意事項.....	14～15	2-4 フレーム、デッキへの取付け.....	32～33
1. フレーム部の組立て.....	16	2-5 長い上枠レールの取付け.....	34
1-1 デッキの組立て.....	16	2-6 扉の吊り込み.....	35～38
1-2 垂木掛けの取付け.....	16	2-7 吊り込み後の部品取付け.....	39～41
1-3 躯体方立の取付け.....	17	2-8 水抜き穴の加工（内折れのみ）.....	41
1-4 前枠と柱の取付け.....	18	2-9 ひき手の取付け.....	42
1-5 雨樋の取付け.....	19	2-10 打掛錠の取付け.....	42～43
1-6 うで木の取付け.....	19	2-11 警告・注意ラベルの貼り付け.....	44
1-7 基礎の施工.....	20	2-12 間口面 FIX パネルの取付け.....	45
1-8 デッキの貼り付け.....	21	2-13 出巾面 FIX パネルの取付け.....	46
1-9 戸袋がある場合の施工.....	21～22	3. その他部品の取付け.....	47
1-10 柱下部カバーの取付け.....	22	3-1 木樹脂カバーの取付け.....	47～49
1-11 柱カバーの取付け.....	23	3-2 内面デッキの取付け.....	50～54
1-12 側枠・垂木の取付け.....	23	3-3 補助柱仮置ブラケットの取付け.....	55
1-13 中骨の取付け.....	23	3-4 水切の取付け（オプション）.....	55
1-14 屋根材の取付け.....	24～25	屋根材の補修方法.....	56
1-15 屋根側面パネルの取付け.....	25～26	オプション品のご紹介.....	56
1-16 うで木カバーの取付け.....	27	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	56

梱包明細

- 施工前に部材数量の確認および部品数量の確認をしてください。また品質に支障のある損傷が無いかわかり確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

構造部

表内の（ ）は個数を表わしています。

梱包名称	梱包内容	
柱セット	柱(右・左各1)・柱カバー(2)・たて樋(2)・後付けビード(1)・先付けビード(1)・柱上部ブラケット(2)・柱下部カバー(2)・アンカー棒(2)・クッション材(2)・デッキ材受け(4)・M8×20六角ボルト(4)・M8用パネ座金(4)・M8用平座金(4)・φ5×12トラスタッピン3種(6)・φ4×19セルフドリリングビス(8)・φ4×13セルフドリリングビス(6)	
補助柱セット	補助柱(1)・補助柱仮置き金具(1)・M8用スパナ(1)・φ4×13セルフドリリングビス(2)	
側枠セット	側枠(2)・側枠パネル押え(右・左各1)・φ5×12トラスタッピン3種[5尺(18)／8尺(26)]・φ5×25セルフドリリングビス(2)	
うで木セット	うで木(右・左各1)・うで木カバー(2)・押縁(2)・うで木カバー取付ブラケット[5尺(4)／8尺(6)]・うで木取付ブラケット(4)・端部塞ぎA(右・左各1)・φ5×12トラスタッピン3種(32)・φ4×13セルフドリリングビス[5尺(4)／8尺(6)]・φ4×12トラスタッピン3種[5尺(16)／8尺(20)]	
間口部材セット	前枠(1)・垂木掛け(1)・前枠端部塞ぎ(右・左各1)・落し口(2)・落し口パッキン(2)・エルボ88°(2)・接着材(1)・前枠パネルガイド[1.5間(3)／2.0間(4)／2.5間(5)／3.0間(6)]・取付説明書(1)・お客様用手引き(1)・φ4×20ナベタッピン2種(8)・φ6×70コーチスクリュー[1.5間(4)／2.0間(5)／2.5間(6)／3.0間(7)]・M6用平座金[1.5間(4)／2.0間(5)／2.5間(6)／3.0間(7)]・φ4×12トラスタッピン3種(4)・防水ワッシャー[1.5間(36)／2.0間(45)／2.5間(54)／3.0間(63)]・パッカー材[1.5間(2)／2.0間(3)／2.5間(4)／3.0間(5)]	
躯体方立セット	躯体方立(1)・垂木掛け端部カバー(右・左各1)・φ4×20ナベタッピン2種(2)・φ4.1×63丸木ネジ(10)	
屋根パネルセット	2枚入り(5尺用、8尺用)	屋根パネル(2)
	3枚入り(5尺用、8尺用)	屋根パネル(3)
FIXパネルセット	FIXパネル(4)・屋根側面パネル(2)	
FIXパネル用下枠セット	FIX下枠(間口面、出巾面各2)・押縁(間口面、出巾面各2)・φ4×25皿セルフドリリングビス(8)	
内面デッキ端部カバー	デッキ端部塞ぎ(2)・φ4×16皿セルフドリリングビス[5尺(8)／8尺(12)]・φ4×16セルフドリリングビス[5尺(8)／8尺(12)]	
内面デッキ	3枚入り(5尺用、8尺用)	内面デッキ材(3)・スキマフサギ材(3)・φ5×50皿セルフドリリングビス(6)
	5枚入り(5尺用、8尺用)	内面デッキ材(5)・スキマフサギ材(5)・φ5×50皿セルフドリリングビス(6)
打掛錠セット	打掛錠(3)・打掛錠取付ブラケット(3)・ネジ持ち(6)・φ3×8皿タッピン3種(12)・φ4×16トラスタッピン3種(6)	
垂木	2本入り(5尺用、8尺用)	垂木(2)・垂木カバー(2)・φ5×12トラスタッピン3種[5尺(8)／8尺(16)]・φ5×25セルフドリリングビス(2)
	3本入り(5尺用、8尺用)	垂木(3)・垂木カバー(3)・φ5×12トラスタッピン3種[5尺(12)／8尺(24)]・φ5×25セルフドリリングビス(3)
中骨	2本入り(5尺用、8尺用)	中骨(2)
	3本入り(5尺用、8尺用)	中骨(3)
	10本入り	中骨(10)
戸袋調整部材	戸袋調整部材(1)・縦骨取付ブラケット(2)・φ4×20ナベタッピン2種(4)・φ4×25セルフドリリングビス(8)・φ4×10トラスタッピン3種(2)	
柱カバーセット	柱木樹脂カバーA(右・左各1)・柱木樹脂カバーB(2)・φ4×13セルフドリリングビス(12)	
側枠カバーセット	側枠木樹脂カバー(2)・φ4×13セルフドリリングビス[5尺(10)／8尺(16)]	
前枠カバーセット	前枠木樹脂カバー[1.5間(1)／2.0～3.0間(2)]・φ4×13セルフドリリングビス[1.5間(10)／2.0間(14)／2.5間(16)／3.0間(20)]・φ4×16皿タッピン3種(4)・樹脂カバー用コーナーキャップ(2)	
水切	水切(1)・φ5.1×70木ネジ(16)	

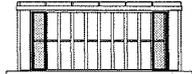
折り戸部

●縦枠・上下枠

表内の () は個数を表わしています。

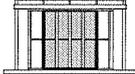
梱包名称	梱包内容	
縦枠	戸当り縦枠(1)・吊元縦枠(1)・コーナーブラケット(4)・レールブラケット(4)・ φ4×19セルフドリリングビス(20)・M4×12皿小ネジ(4)・M4×10トラス小ネジ(16)	
上下枠	出巾5尺用 (右・左)	上枠レール(1)・吊込み上枠レール(1)・下枠レール(1)・ガイド(1)・自走防止ブロック(1)・ φ4×19セルフドリリングビス(14)・φ4×19皿セルフドリリングビス(5)・ φ4×30セルフドリリングビス(2)
	間口1.5間用 出巾8尺用 (右・左)	上枠レール(1)・吊込み上枠レール(1)・下枠レール(1)・ガイド(1)・自走防止ブロック(1)・ けり込みガイド(1)・φ4×19セルフドリリングビス(26)・ φ4×19皿セルフドリリングビス(6)・φ4×30セルフドリリングビス(2)
	間口2間用 (右・左)	上枠レール(1)・吊込み上枠レール(1)・下枠レール(1)・ガイド(1)・自走防止ブロック(1)・ けり込みガイド(1)・φ4×19セルフドリリングビス(60)・ φ4×19皿セルフドリリングビス(15)・φ4×30セルフドリリングビス(2)
	間口2.5間用 (右・左)	上枠レール(1)・吊込み上枠レール(1)・下枠レール(1)・ガイド(1)・自走防止ブロック(1)・ けり込みガイド(1)・φ4×19セルフドリリングビス(74)・ φ4×19皿セルフドリリングビス(20)・φ4×30セルフドリリングビス(2)
	間口3間用 (右・左)	上枠レール(1)・吊込み上枠レール(1)・下枠レール(1)・ガイド(1)・自走防止ブロック(1)・ けり込みガイド(1)・φ4×19セルフドリリングビス(88)・ φ4×19皿セルフドリリングビス(24)・φ4×30セルフドリリングビス(2)

●折り戸

間口2間  間口2.5間  間口3間  Urara-055

※間口 1.5 間の場合は不用です。

梱包名称	梱包内容
戸当り・吊元扉	戸当り扉(1)・吊元扉(1)・吊元ヒンジ(1)・ 注意ラベル(3)・引手(2)・φ4×15皿タッピン3種(4)・ランナーシャーシ(1)／フランス落し(1)／ M4×8皿小ネジ(2)・φ4×8トラスタッピン3種(12)・M5×45トラス小ネジ(2)

間口2間  間口2.5間  間口3間  Urara-056

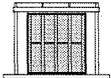
※間口 1.5 間の場合は不用です。

梱包名称	梱包内容	備考	
連結扉 (間口面)	2枚扉	連結2枚扉(1)・連結ヒンジ(1)・クッションゴム(2)・ φ4×12セルフドリリングビス(2)・φ4×8トラスタッピン3種(12)	8枚扉時に使用
	4枚扉	連結4枚扉(1)・連結ヒンジ(1)・クッションゴム(4)・ φ4×12セルフドリリングビス(4)・φ4×8トラスタッピン3種(12)	6枚および 10枚扉時に使用

出巾5尺  Urara-057

※出巾 5 尺の場合のみに使用します。

梱包名称	梱包内容
単体2枚扉	単体2枚扉(1)・ランナーシャーシ(1)／M5×45トラス小ネジ(2)・ フランス落し(1)／M4×8皿小ネジ(2)・注意ラベル(3)・引手(2)・φ4×15皿タッピン3種(4)

間口1.5間  出巾8尺  Urara-058

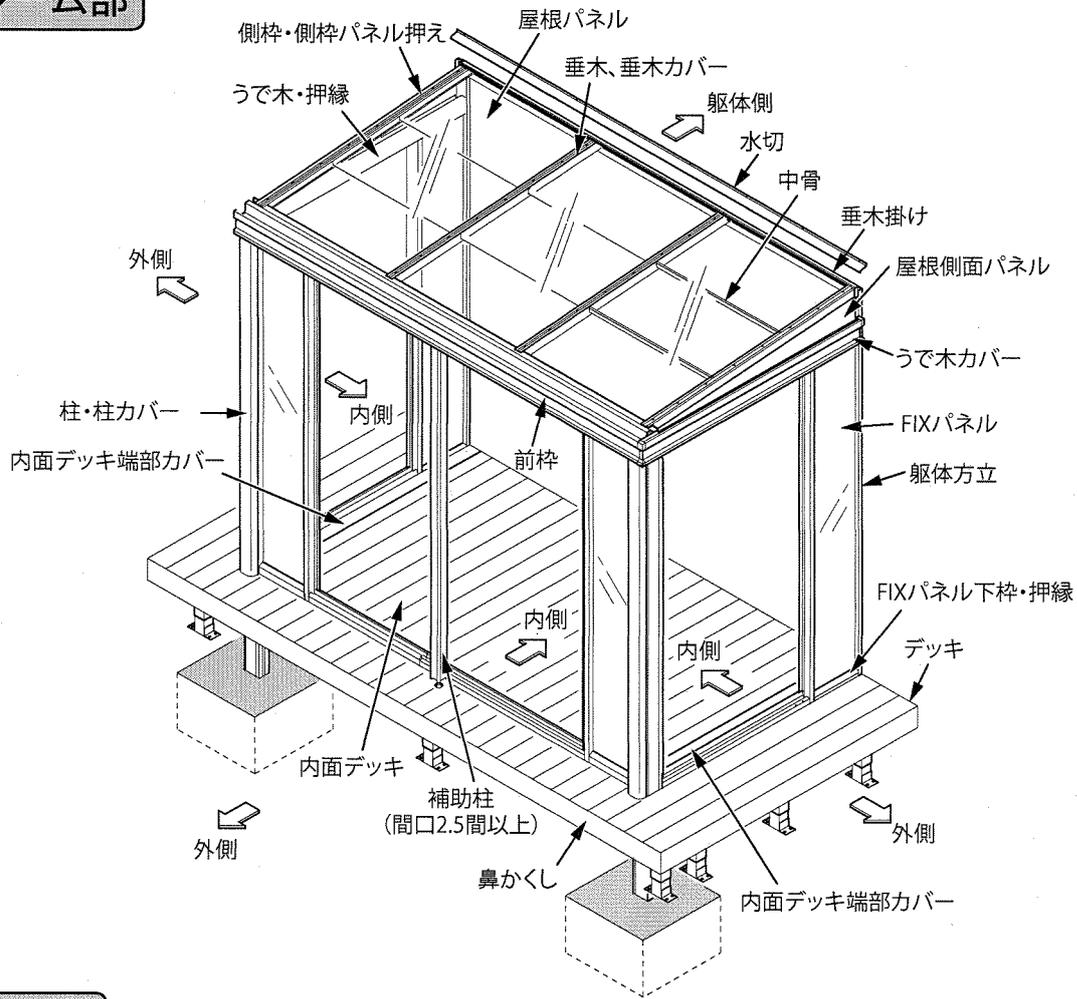
※間口 1.5 間、および出巾 8 尺の場合に使用します。

梱包名称	梱包内容
単体4枚扉 (右・左)	単体4枚扉(1)・ランナーシャーシ(1)／M5×45トラス小ネジ(2)・クッションゴム(2)・φ4×12セルフドリリングビス(2)・ フランス落し(1)／M4×8皿小ネジ(2)・注意ラベル(3)・引手(2)・φ4×15皿タッピン3種(4)

各部の名称

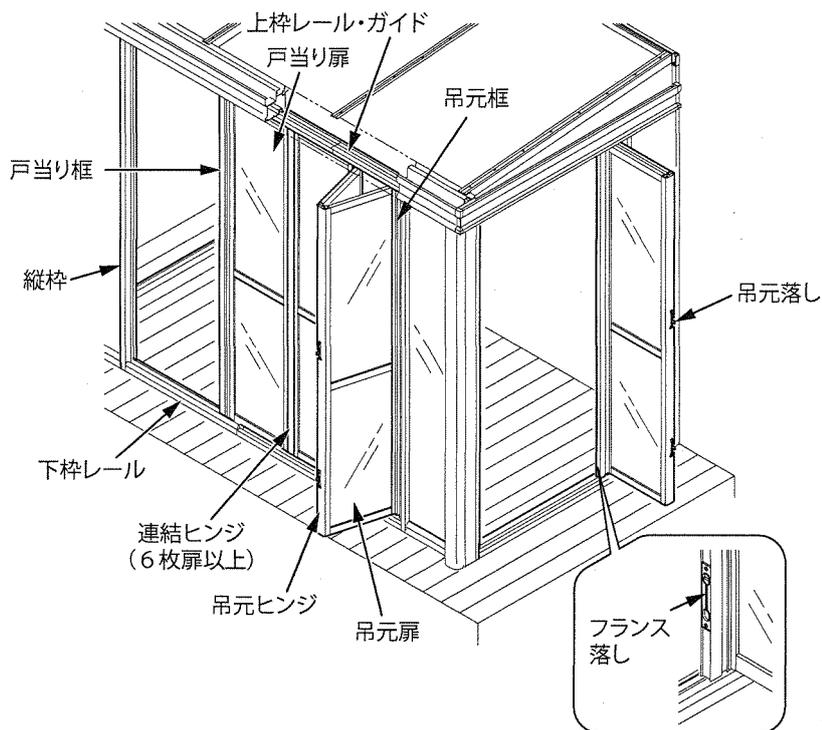
●施工作业に、次ページの絵目次と合わせて確認してください。

フレーム部



Umrq-062-4

折り戸部

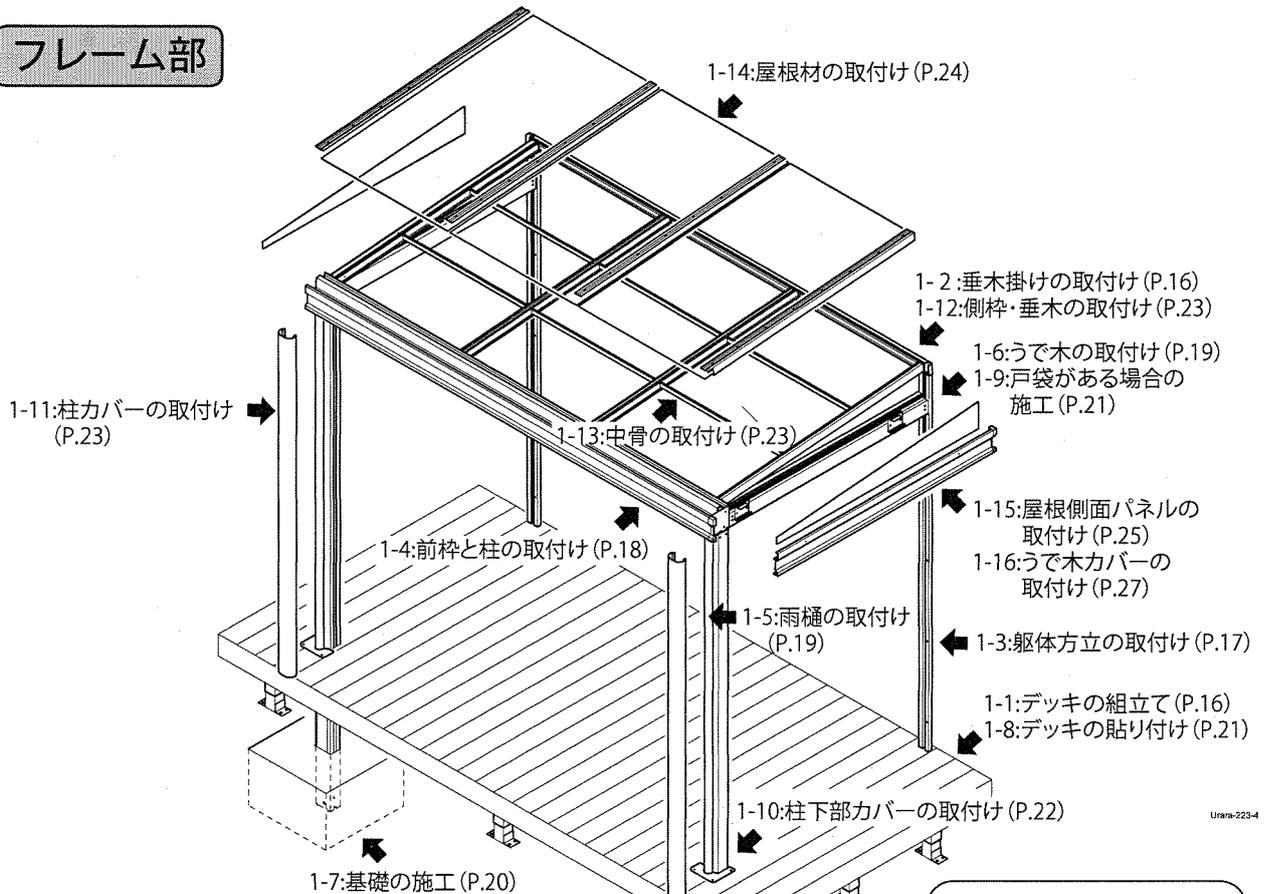


Umrq-061-4

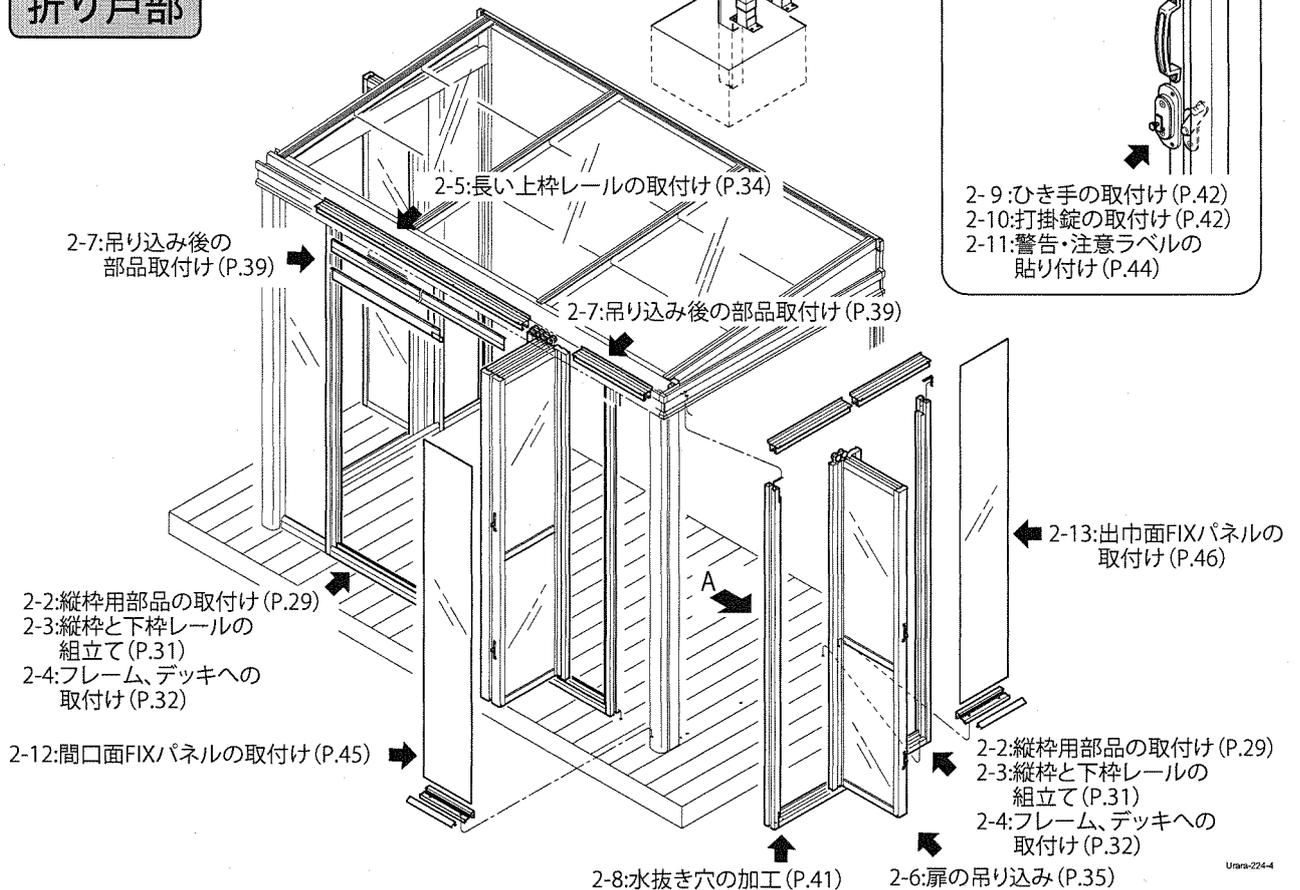
絵目次

●組立施工および調整の説明項目を示しています。
 施工作業前に確認してください。
 ※ () 内は説明ページを示しています。

フレーム部



折り戸部

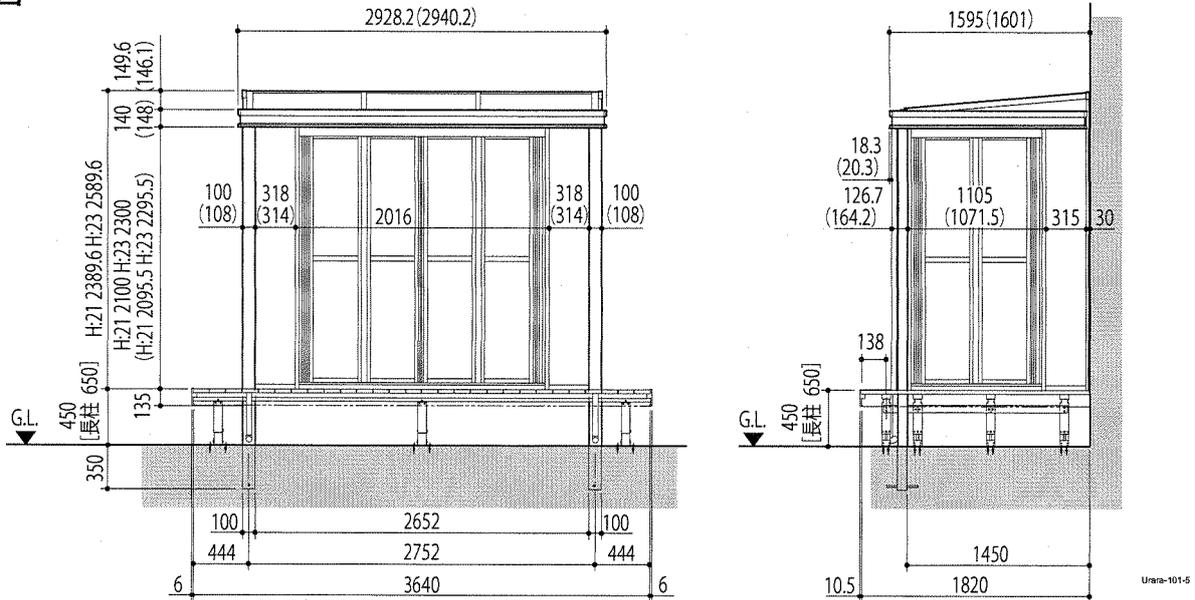


納まり図

●「うらら」を取付けるデッキは、必ず「うらら」よりも間口で0.5間以上、出巾で1尺以上大きいサイズとしてください。

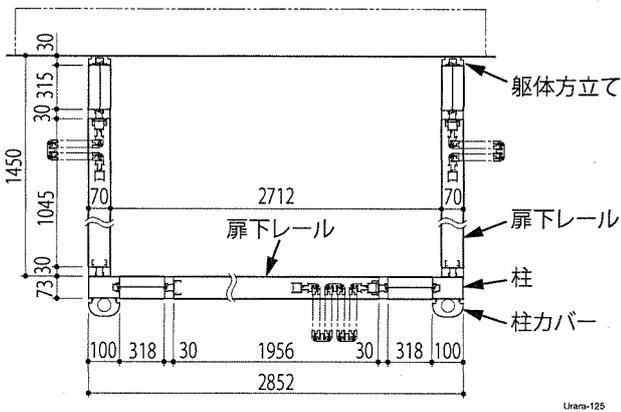
1.5間×5尺

●姿図



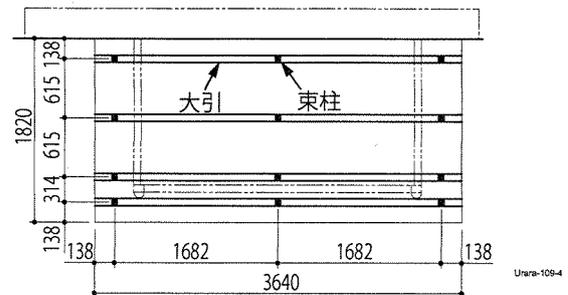
※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

●部材寸法図



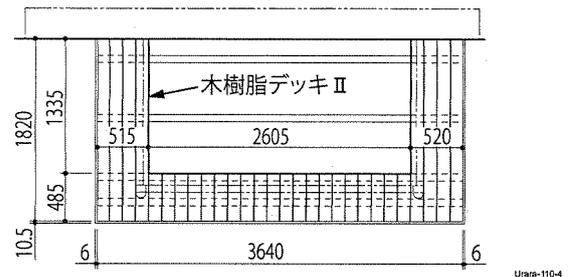
●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■ は、束柱の位置を示しています。

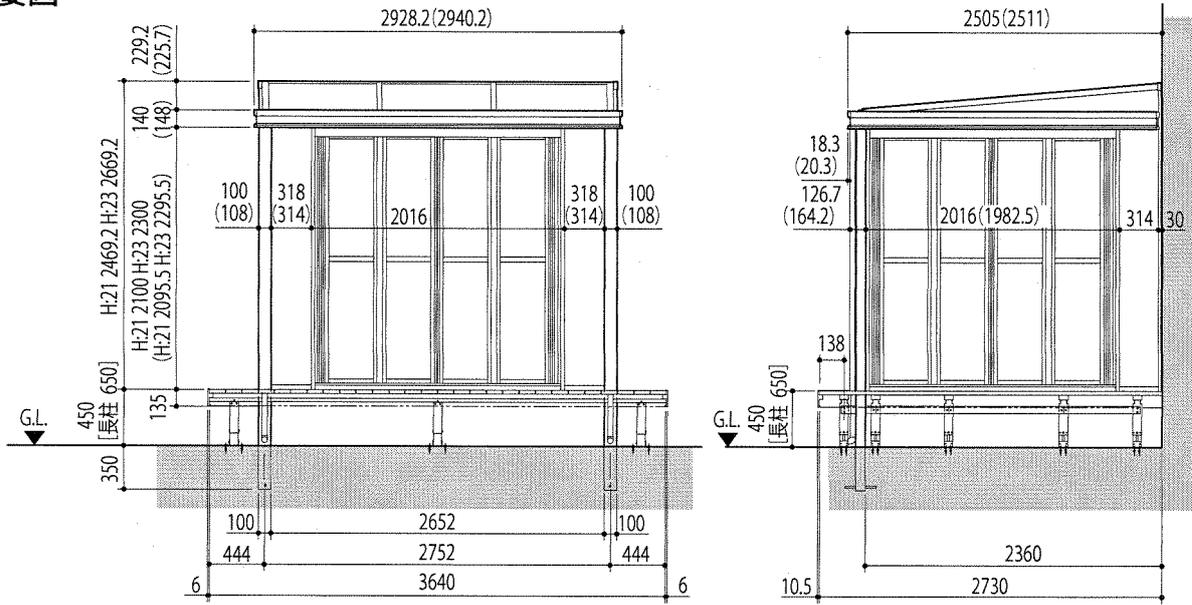
●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)



注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うららの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

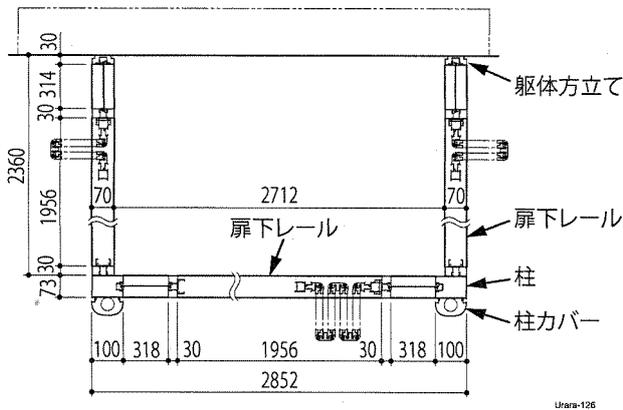
1.5間×8尺

●姿図



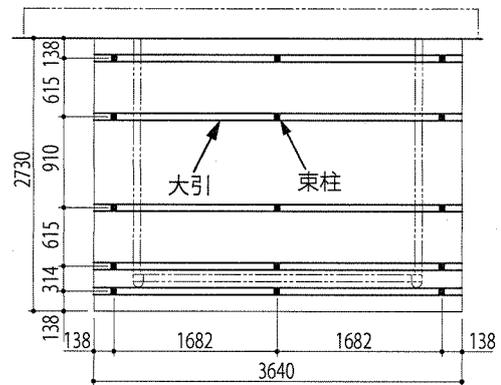
※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

●部材寸法図



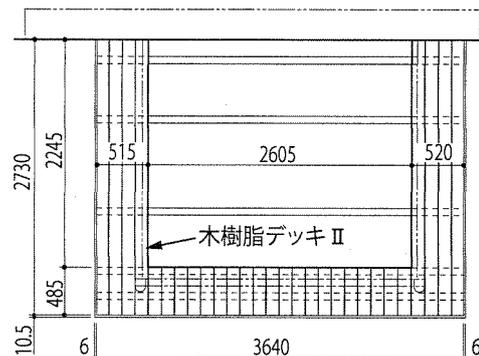
●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■は、束柱の位置を示しています。

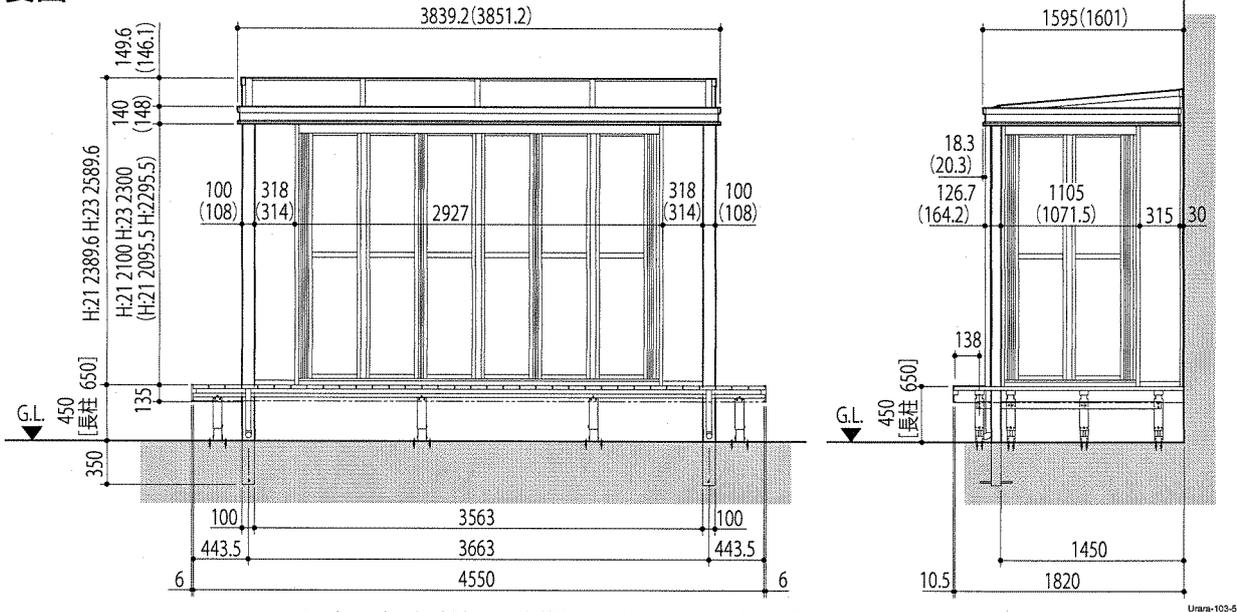
●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)



注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うらの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

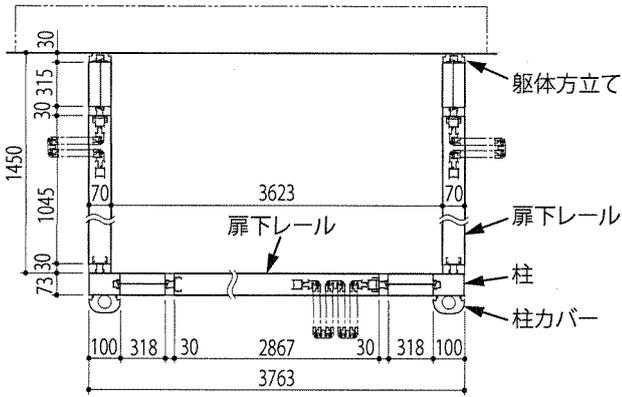
2.0間×5尺

●姿図



※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

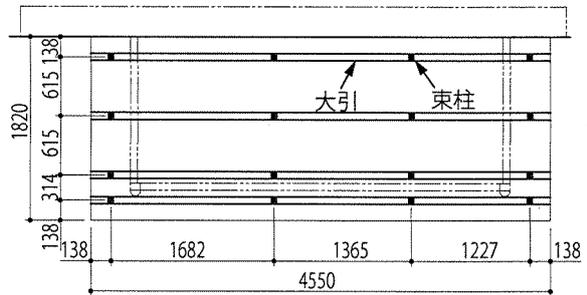
●部材寸法図



Ura-127

●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■ は、束柱の位置を示しています。

Ura-113-4

●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)

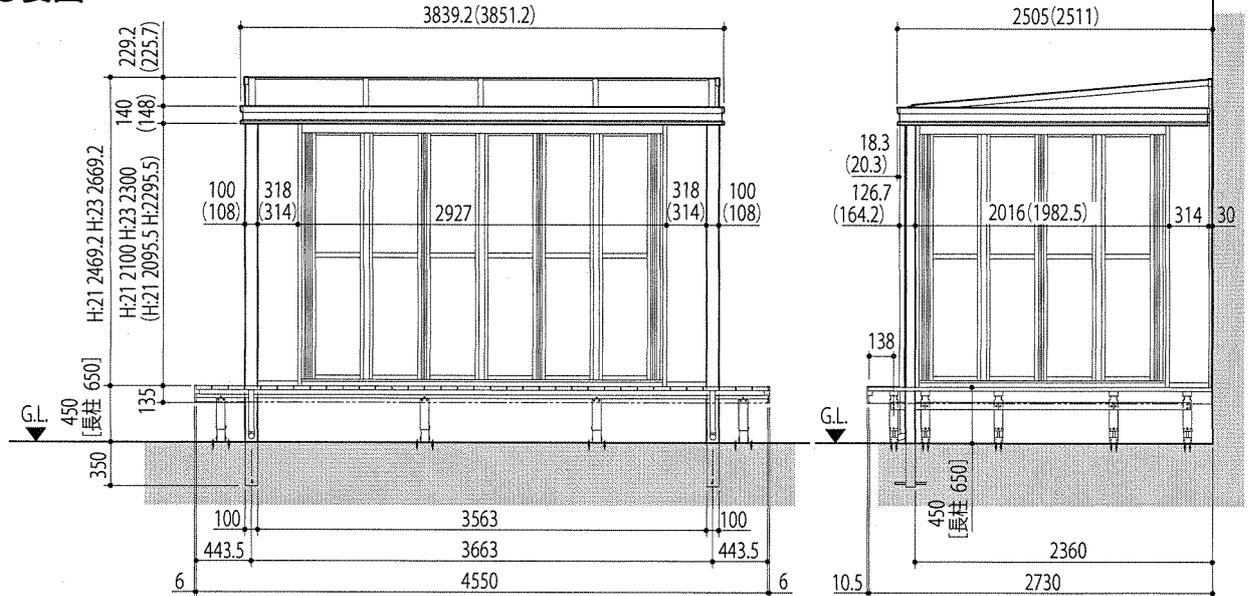


Ura-114-4

注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うらの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

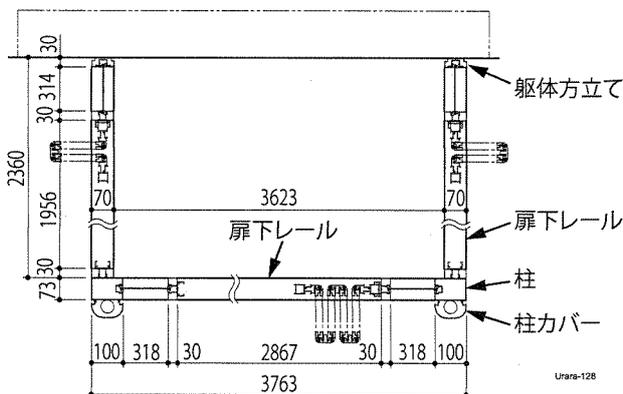
2.0間×8尺

●姿図



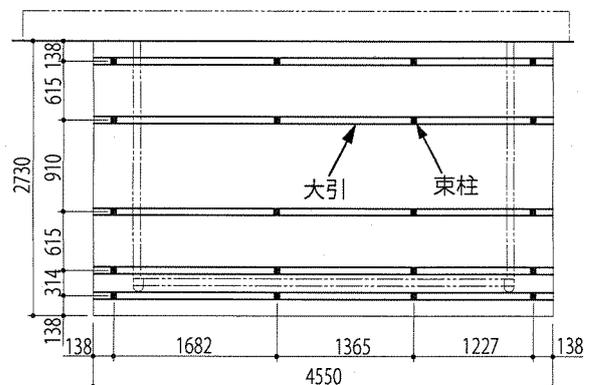
※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

●部材寸法図



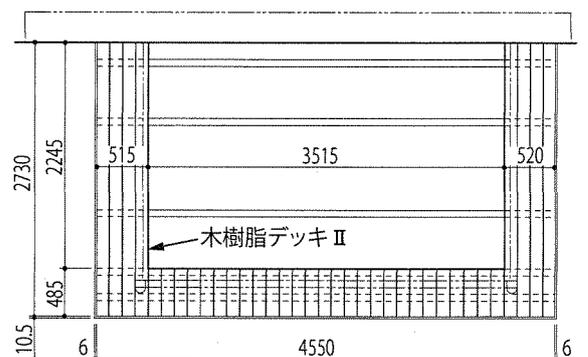
●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■ は、束柱の位置を示しています。

●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)

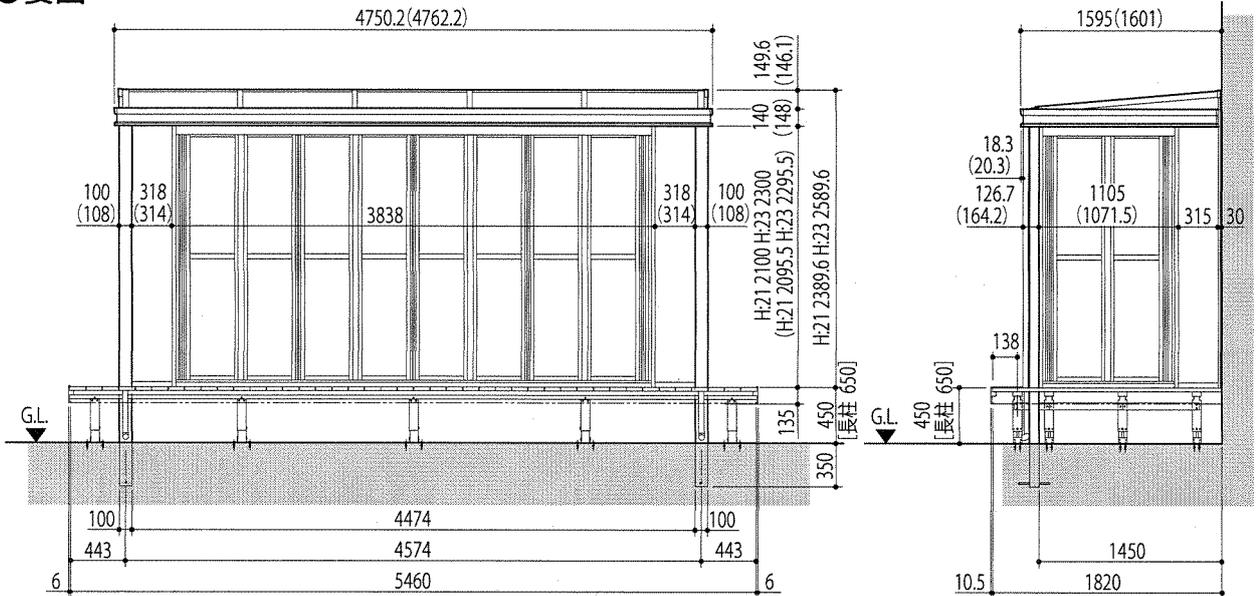


注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うらの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

納まり図

2.5 間 × 5 尺

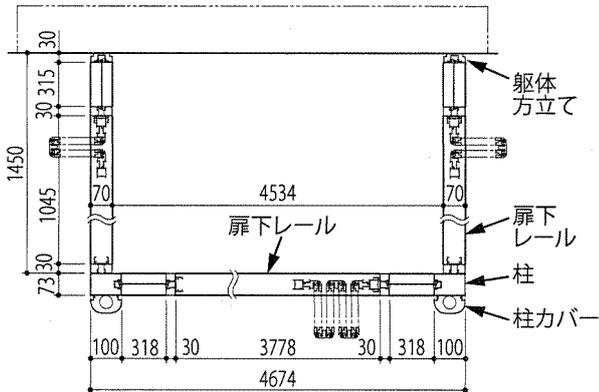
● 姿図



※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

Urara-105-6

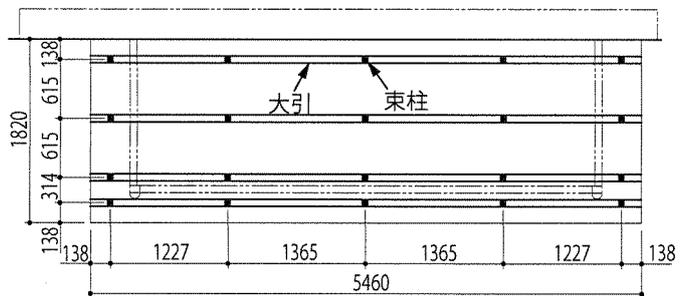
● 部材寸法図



Urara-128

● 束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■ は、束柱の位置を示しています。

Urara-117-4

● デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)

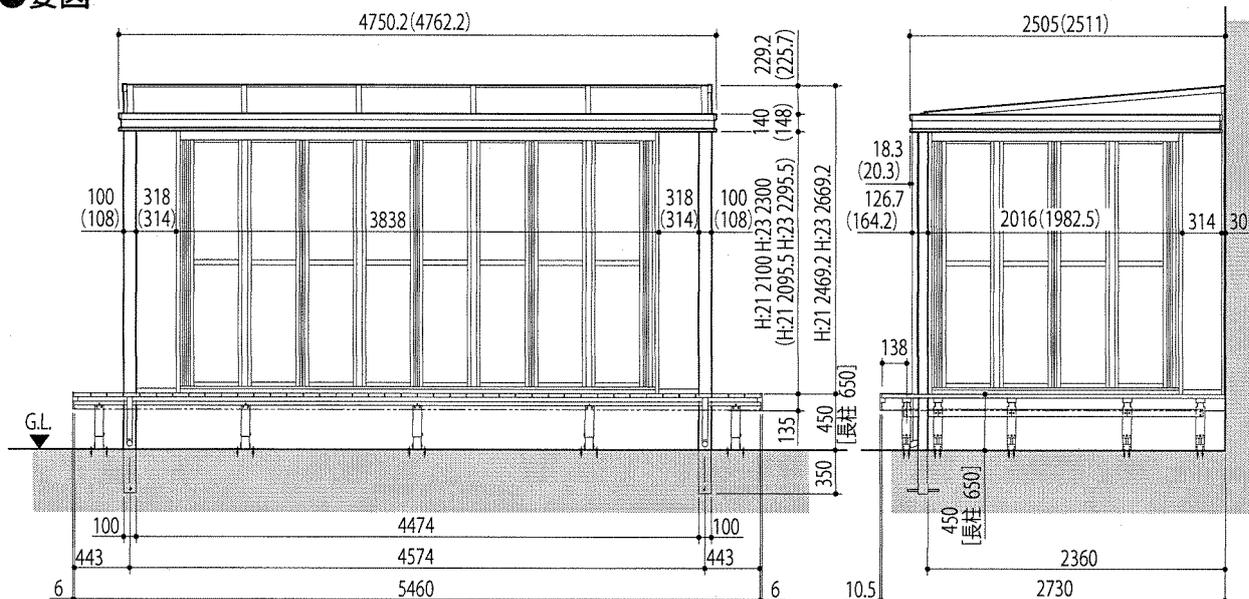


Urara-118-4

注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うららの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

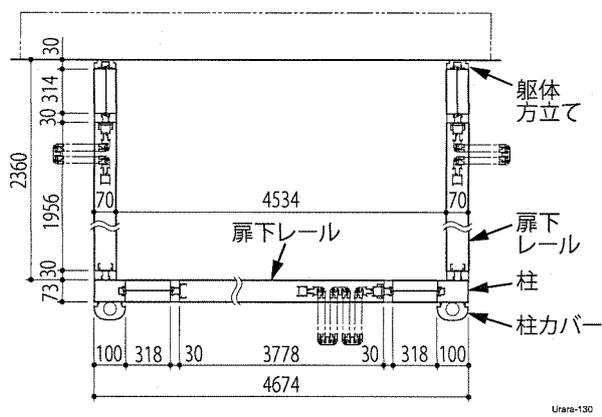
2.5間×8尺

●姿図



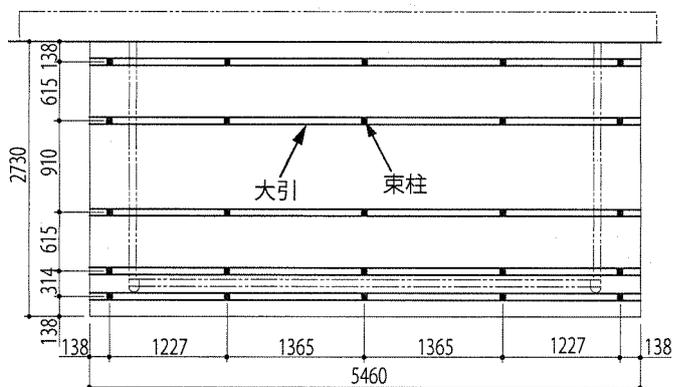
※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

●部材寸法図



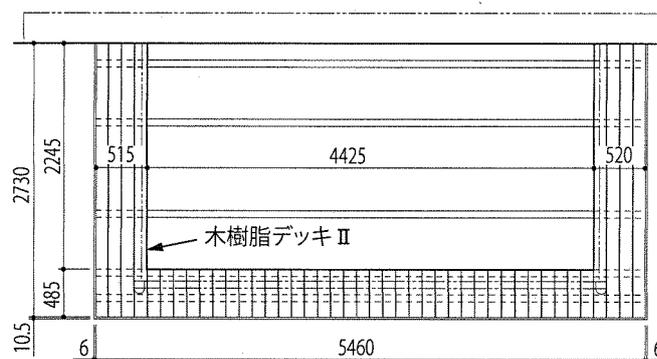
●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■は、束柱の位置を示しています。

●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)

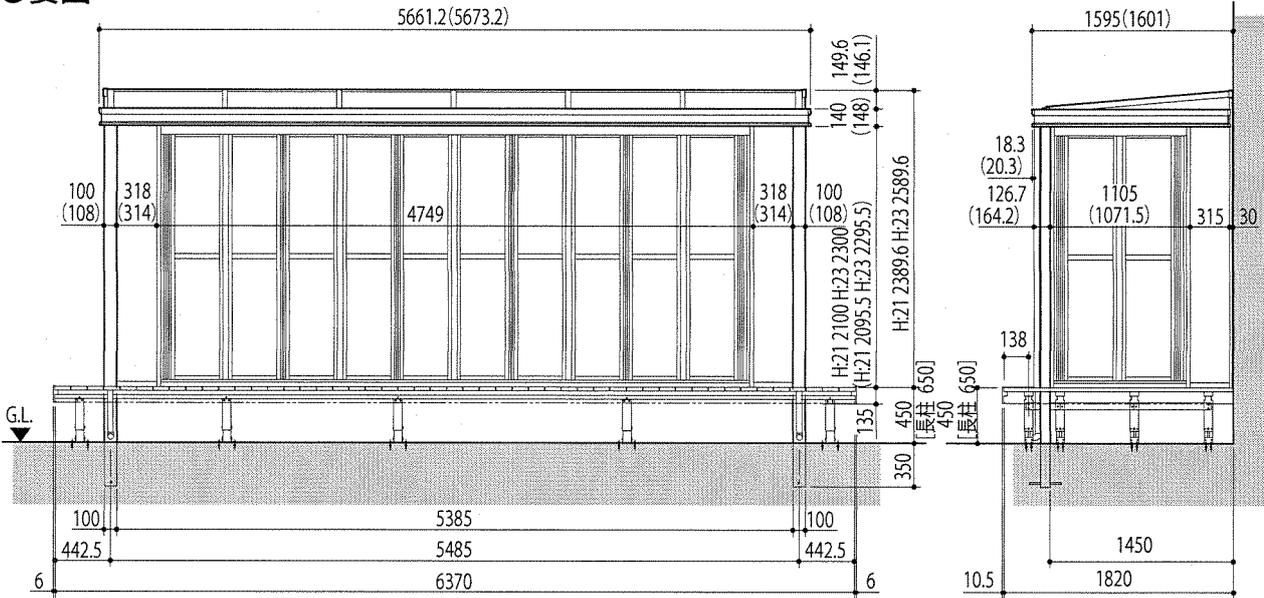


注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うらの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

納まり図

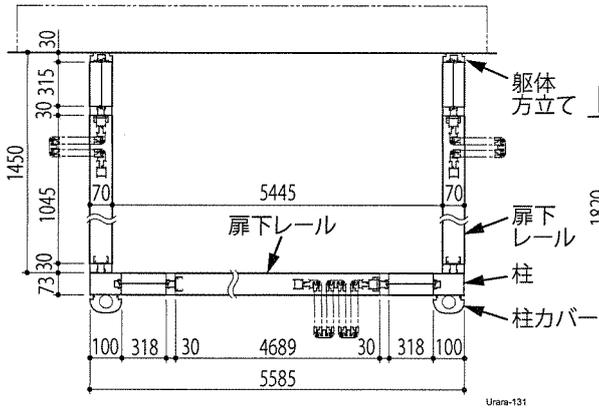
3.0間×5尺

●姿図



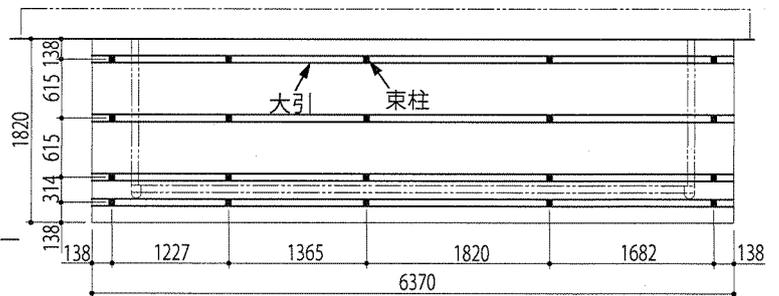
※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

●部材寸法図



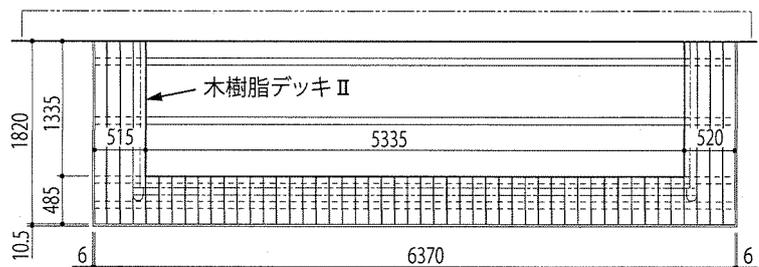
●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■ は、束柱の位置を示しています。

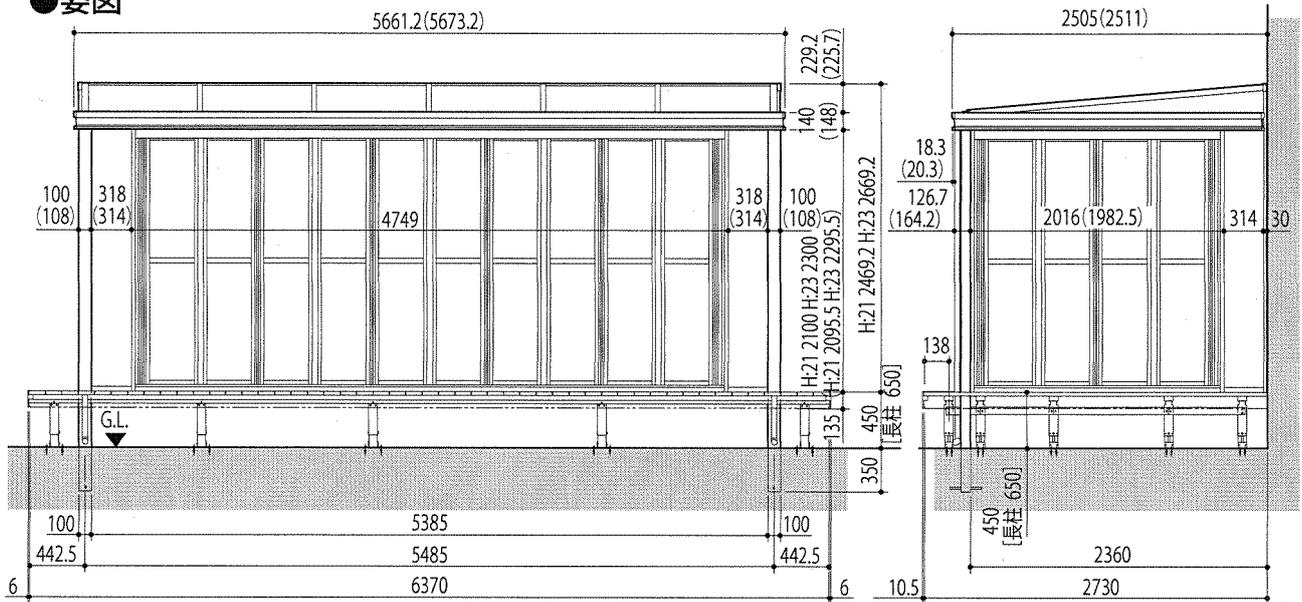
●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)



注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うらの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

3.0間×8尺

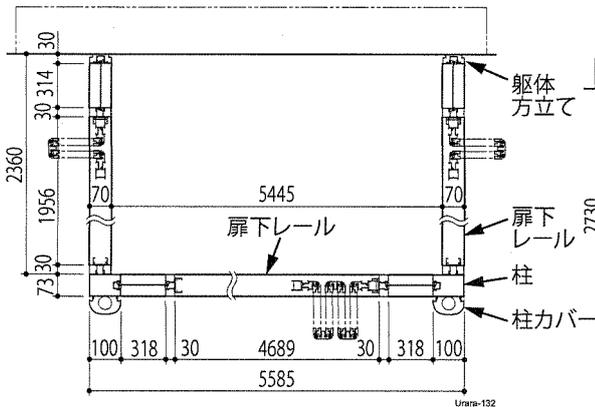
●姿図



※ () 内寸法は、木樹脂カバー仕様の寸法を示しています。

Urara-108-6

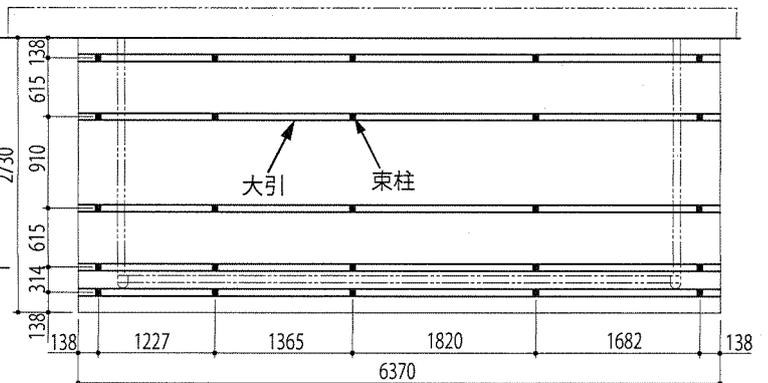
●部材寸法図



Urara-132

●束柱・大引位置図 (内面デッキ仕様)

内面デッキ無しの場合は、木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。



※ ■は、束柱の位置を示しています。

Urara-123-4

●デッキ寸法図 (内面デッキ仕様)



Urara-124-4

注) 内面デッキ仕様では、デッキを切断し、うららの内面側には、通常のデッキを貼らない状態となります。

施工の要点と注意事項

●施工前に必ず確認してください。

デッキについて

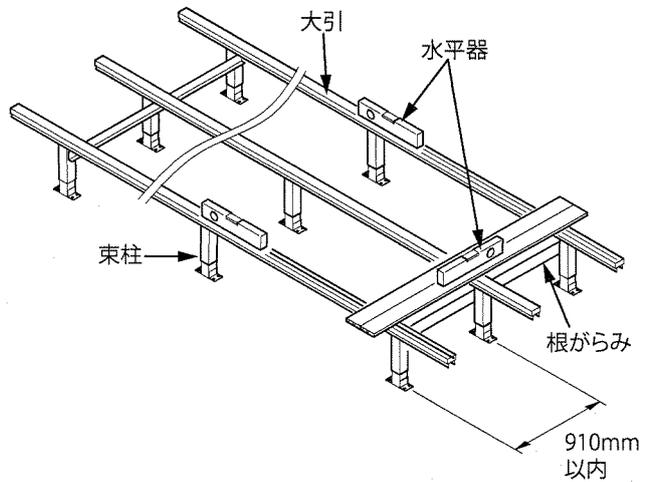
●デッキの大引、束柱および根がらみと干渉しない位置に、うららの柱を設置してください。

! 干渉する場合は、大引を 910mm ピッチ以内で移動してください。

△注意

必ず、デッキの水平が均一になるようにしてください。

水平が出ていないと、折り戸の取付け、および開閉に支障をきたすおそれがあります。



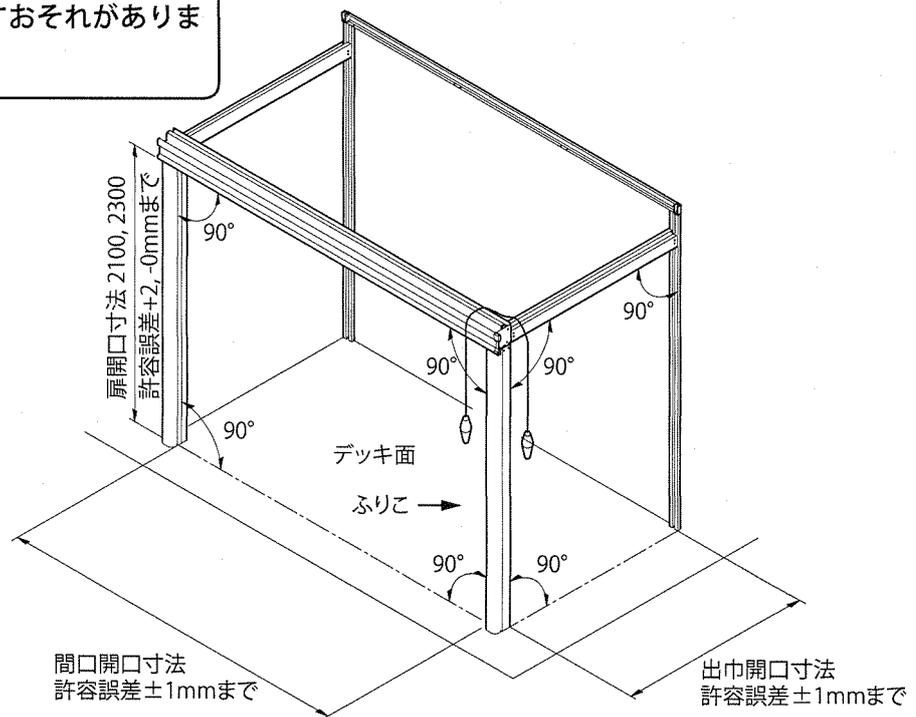
Urara-168

フレームの水平・垂直について

●ふりこなどを使用して、うららのフレーム（柱、躯体方立など）および折り戸縦枠が水平・垂直になっているか確認してください。

△注意

水平・垂直および開口寸法が出ていないと、折り戸の開閉に支障をきたすおそれがあります。



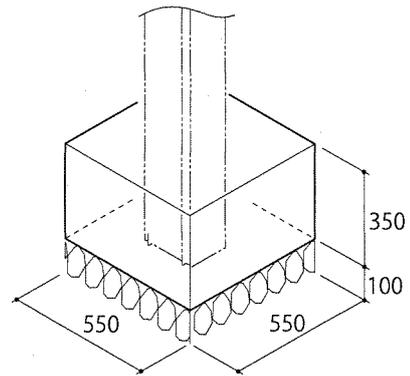
Urara-167-4

基礎穴について

- 施工作业前に「納まり図」を参照して、柱の埋め込み位置を出し、基礎指定寸法以上の穴を掘ってください。



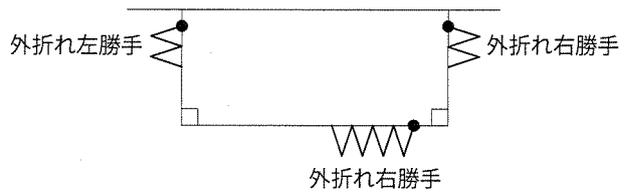
先に、基礎穴を掘っていないと、柱の取付け作業ができません。



Urara-168

開き・勝手の確認

折り戸には、内折れ・外折れ・右勝手・左勝手があります。
 施工前に確認してください。
 扉が折れてくる側から見て、吊元が右側であれば「右勝手」、左側であれば「左勝手」となります。



●は吊元框を示す

Urara-169

コーキング処理について

- この説明書内に指定しているコーキング処理は、必ず行ってください。



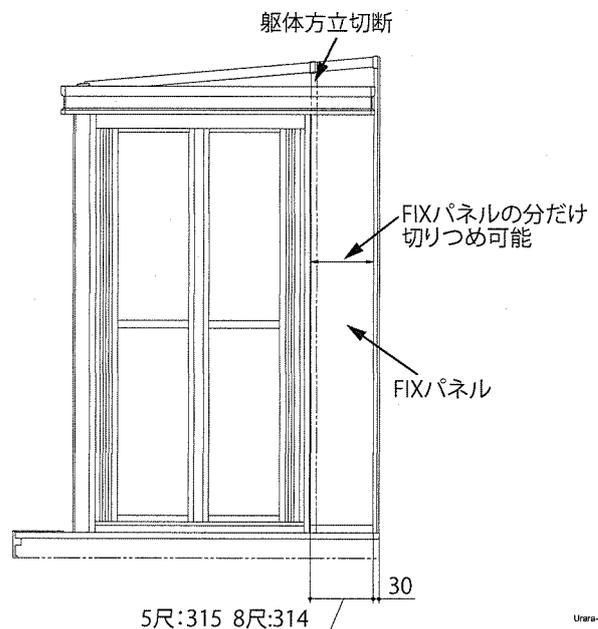
コーキング処理を行っていないと、雨漏りの原因になります。

出巾方向の切りつめ

現場の状況で、出巾方向を切りつめる場合は、側面にあるFIXパネルの部分だけ切りつめが可能です。寸法を設定して切りつめてください。
 切断加工は垂木、側枠、垂木カバー、側枠カバー、三角パネル、うで木、うで木カバー、FIXパネル、FIX用下枠、躯体方立について必要となります。

網戸について

別売の網戸を取付ける場合は、必ず、折り戸を外折れにしてください。
 また、デッキは内面デッキ仕様にしてください。



Urara-212

1

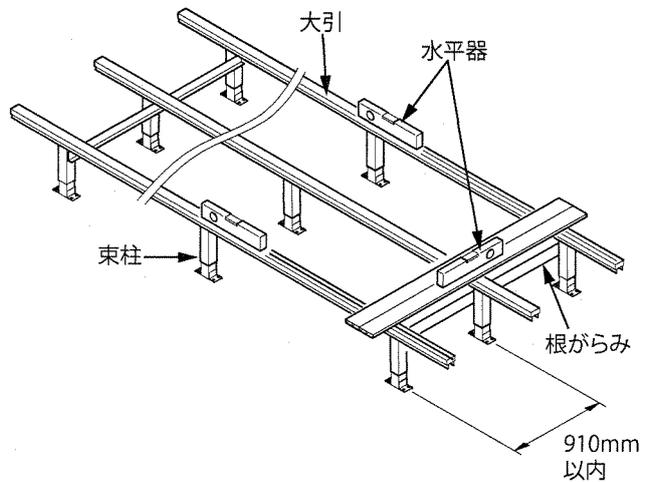
フレーム部の組立て

1-1 デッキの組立て

- うららの組立施工をする前に、木樹脂デッキの束柱、大引、根がらみの施工を行ってください。
※木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照してください。
- 内部デッキ仕様の場合は、6～13ページの「納まり図」で、束柱と大引の位置を確認してください。

注意

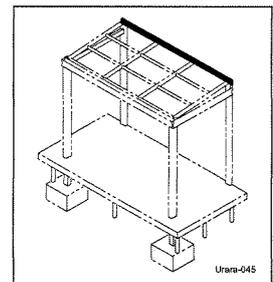
必ず、デッキの水平が均一になるようにしてください。
水平がでない、折り戸の取付け、および開閉に支障をきたすおそれがあります。



Urara-166

1-2 垂木掛けの取付け

- ①垂木掛けの高さを決めて、コーチスクリューで固定してください。



Urara-045

[mm]

出巾	デッキ上面からの寸法	
	H:2100	H:2300
5尺	2357.4	2557.4
8尺	2437	2637



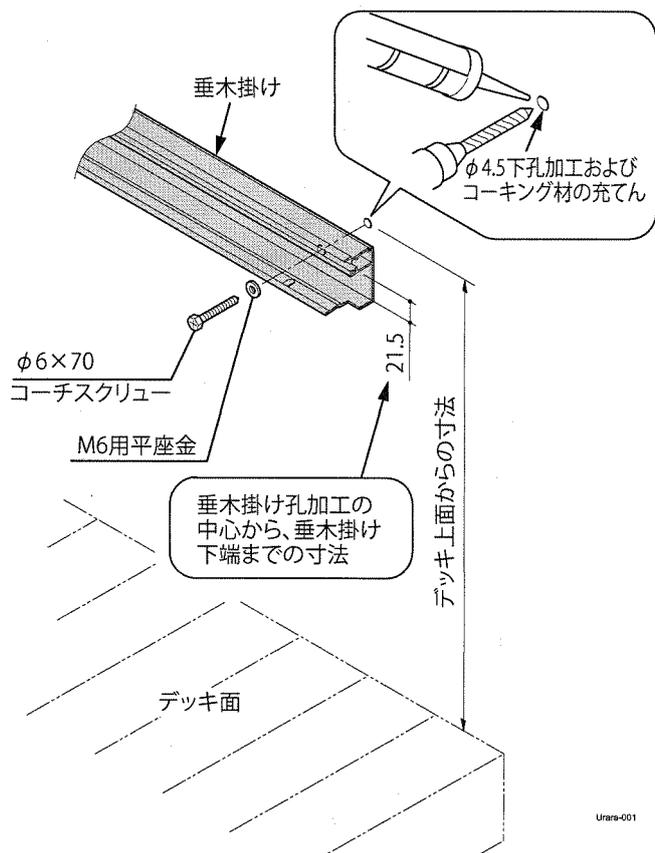
ポイント

- コーチスクリューの下孔は、 $\phi 4.5$ ・深さ 50mm 以下にしてください。
- コーチスクリューの下孔には、コーキング材を充てんしてください。
- コーチスクリューは、躯体の束または柱のある部分に取付けてください。



おねがい

コーキングは確実に行ってください。
コーキングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。



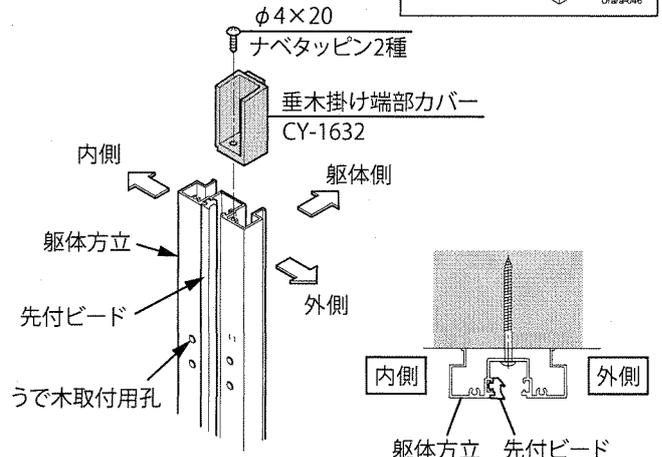
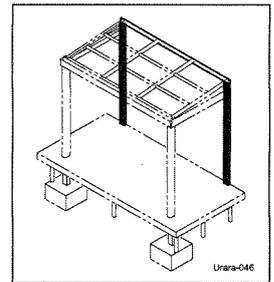
Urara-001

1-3 躯体方立の取付け

①躯体方立の上面に垂木掛け端部カバーを取付けてください。

ポイント

- 垂木掛け端部カバーには右・左があります。外側につくように、ビス穴が躯体方立と合うように取付けてください。
- 躯体方立には上下左右があります。うで木取付用孔が上に、先付ビードが内側になります。

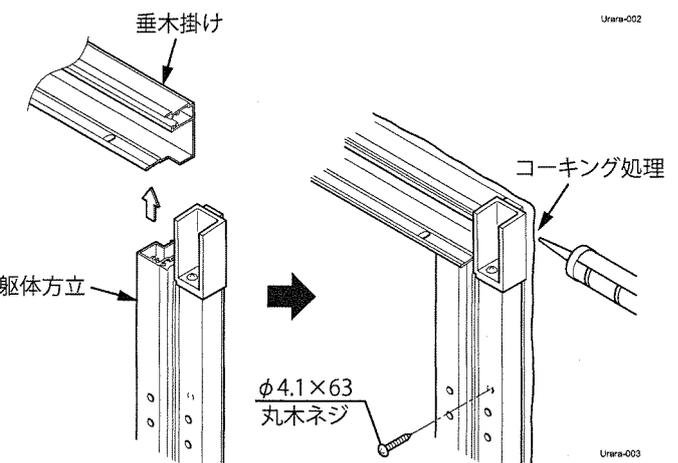


②躯体方立の垂直を出し、垂木掛けの下面にあててください。

③丸木ネジで、躯体方立てを躯体に取付けてください。

ポイント

躯体方立の垂直は必ず出してください。



おねがい

コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。

戸袋がある場合

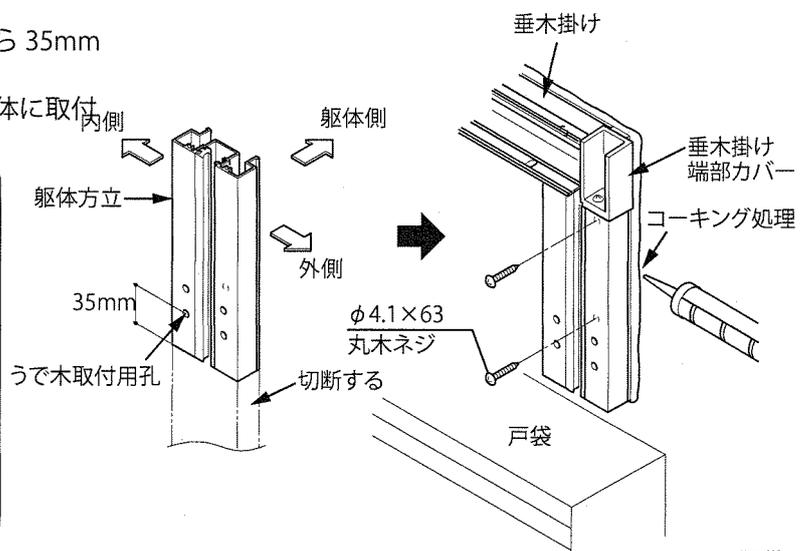
戸袋があり躯体方立が取付られない場合、躯体方立を切断して使用します。

①躯体方立を、うで木取付用孔の下側から 35mm の位置で切断してください。

②切断した躯体方立を上記の要領で、躯体に取付けてください。

ポイント

- 切断した残りの躯体方立は、後ほど使用します。大切に保管しておいてください。
- 戸袋まわりの施工は、21 ページ「1-9. 戸袋がある場合の施工」を参照してください。(別売の戸袋調整部材を使用。)



フレーム部の組立て

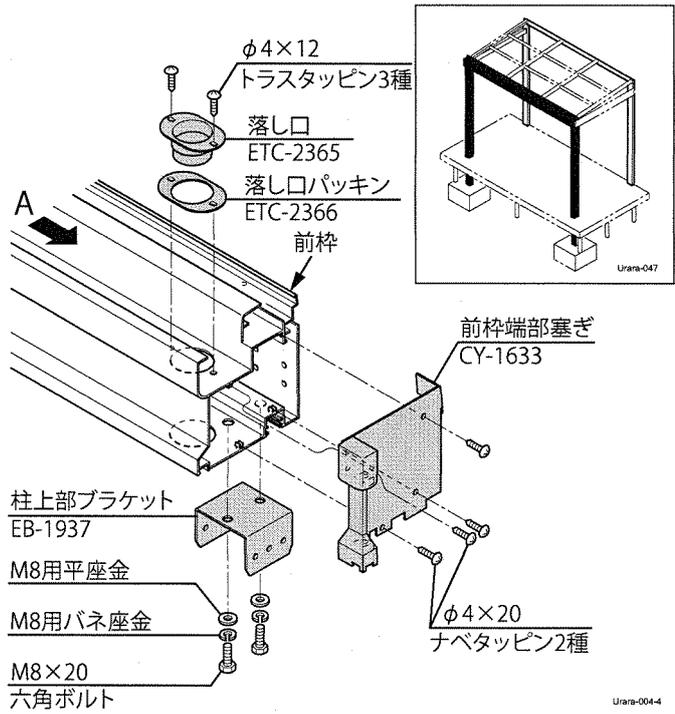
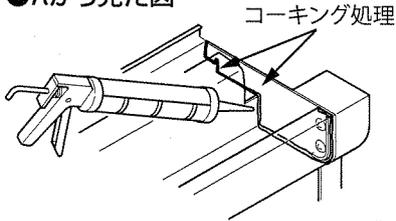
1-4 前枠と柱の取付け

- ① 落とし口パッキンと落とし口を前枠に取付けてください。
- ② 前枠端部塞ぎを前枠に取付けてください。

ポイント 前枠端部塞ぎには、右・左があります。

- ③ 前枠と前枠端部塞ぎとの部分に、コーキング処理を行ってください。

● Aから見た図

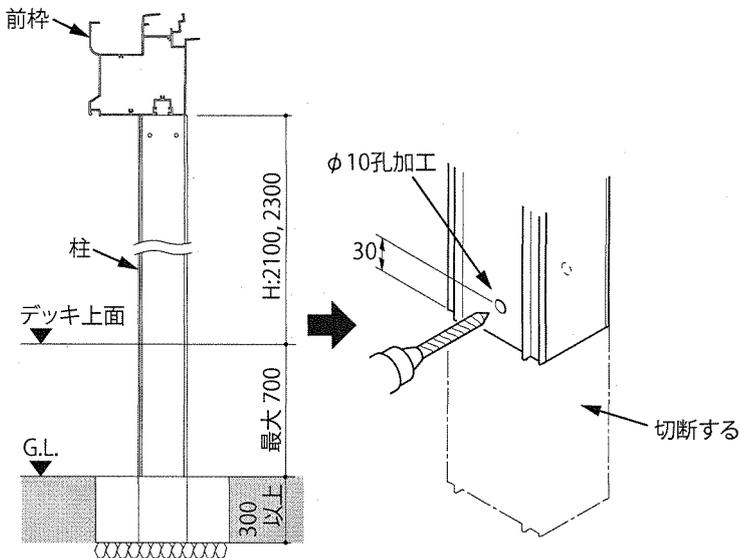
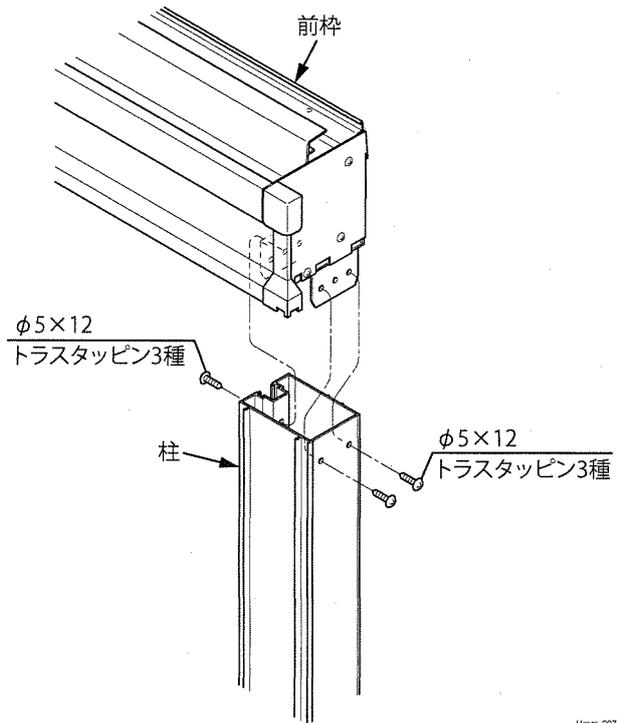


おねがい コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。

- ④ 柱上部ブラケットを前枠に取付けてください。
- ⑤ 柱を前枠に取付けてください。

ポイント

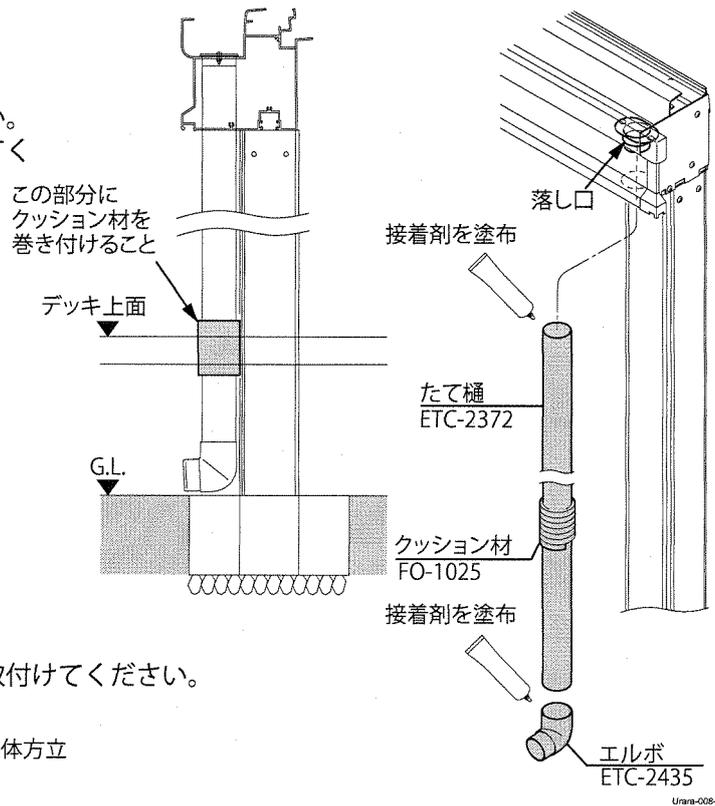
- 柱は、G.L. からデッキ上面まで最大700mmまで対応可能です。柱埋込寸法が300mm以上確保できるのであれば下部を切断し、アンカー棒用の貫通孔φ10をあけてください。
- 柱には、右・左があります。



1-5 雨樋の取付け

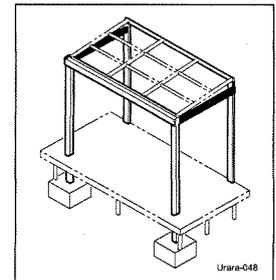
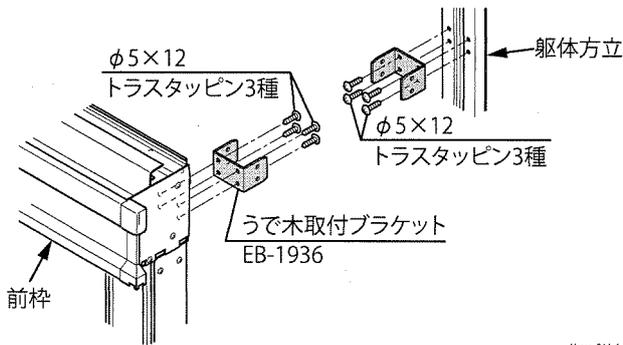
- ①クッション材をたて樋に巻き付けてください。
- ②たて樋・エルボ・落とし口を接着材で取付けてください。

ポイント
クッション材は、デッキと重なる位置に取付けてください。



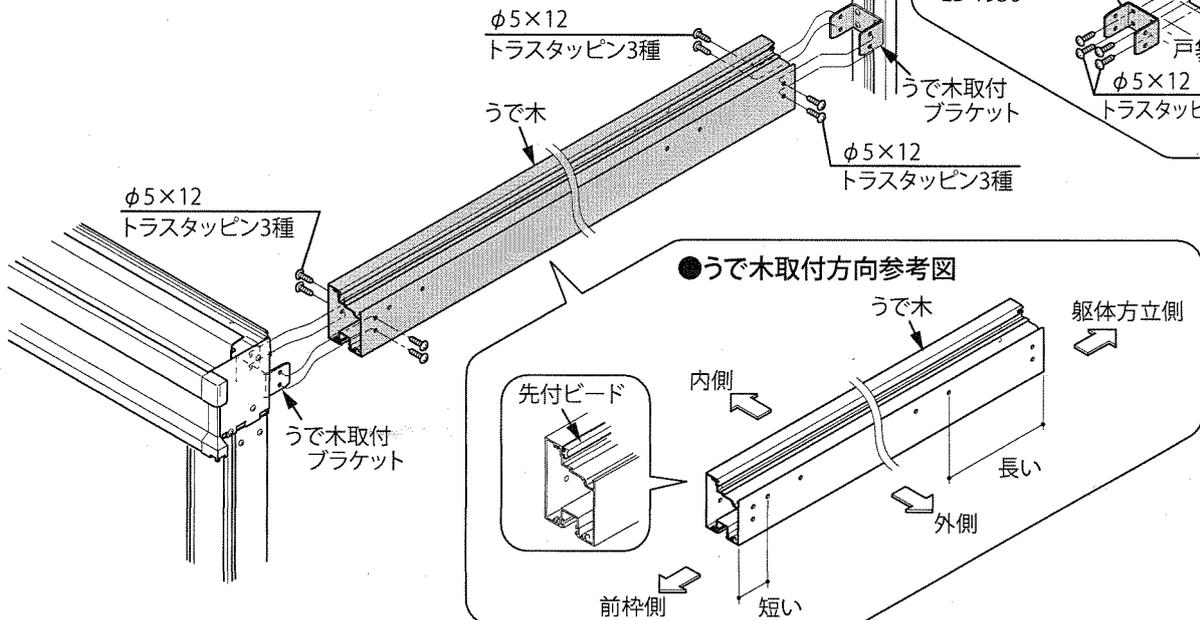
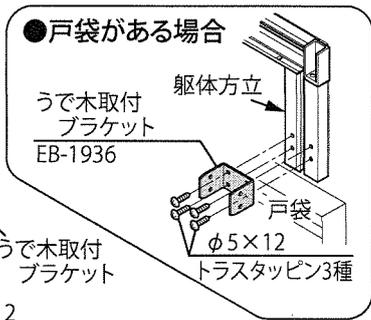
1-6 うで木の取付け

- ①うで木取付ブラケットを前枠と躯体方立に取付けてください。



- ②うで木をうで木取付ブラケットで取付けてください。

ポイント
うで木には右・左があります。押縁が外側になるように取付けてください。(押縁の取付けは、24 ページ「1-14. 屋根材の取付」を参照してください。)



フレーム部の組立て

1-7 基礎の施工

- ①アンカー棒を柱に差し込んでください。
- ②6～13ページ「納まり図」を参照して、柱を基礎の穴に設置してください。



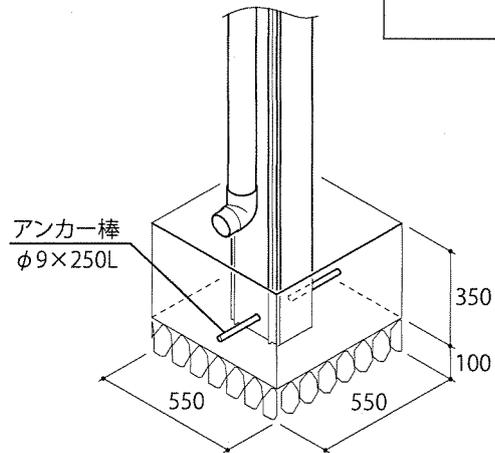
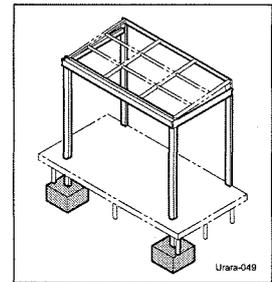
ポイント

- 柱を垂直にしてください。
- 柱の位置は、躯体側以外の3方向の開口が寸法どおりになるように決めてください。
(6～13ページ「納まり図」参照)
- コンクリートの施工は、全て開口寸法、水平、垂直を確認した後に行ってください。

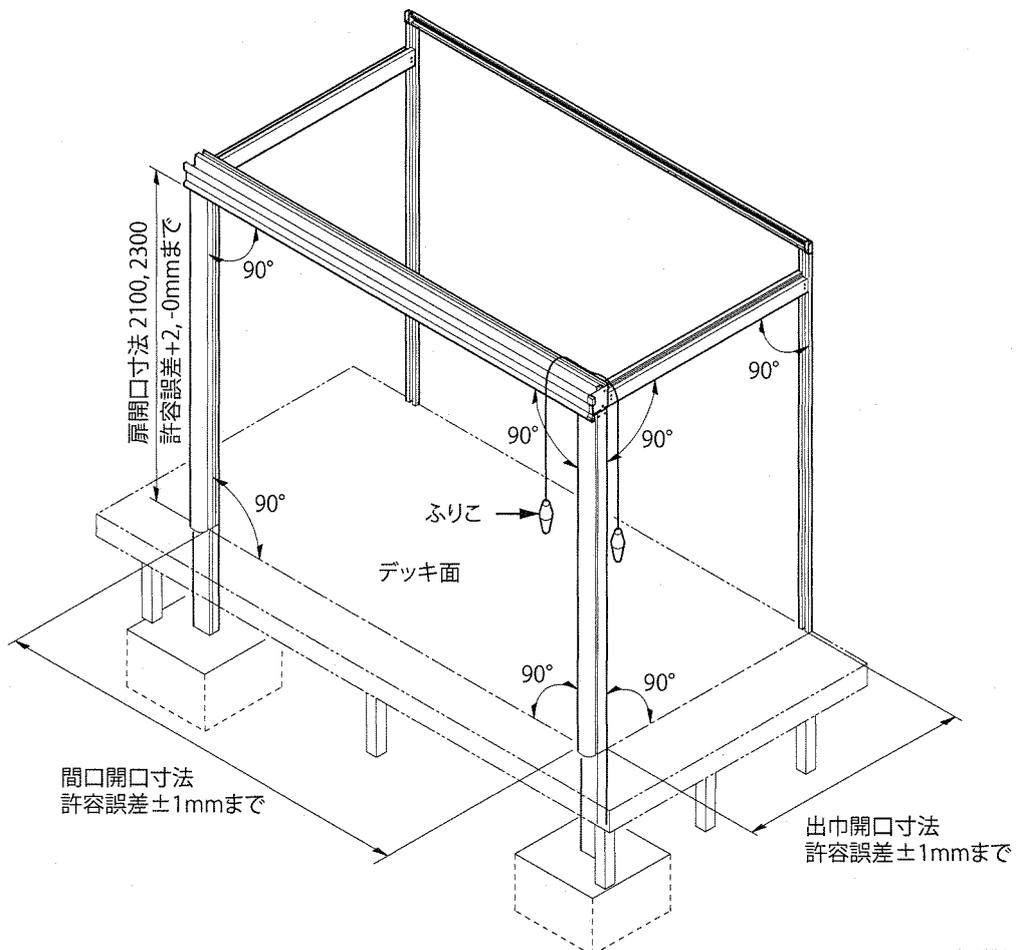


おねがい

間口開口寸法、出巾開口寸法、扉開口寸法、部材の垂直、水平が出ていないと、折り戸の取付け、および開閉に支障をきたすおそれがあります。
ふりこなどを使用して、柱を固定する前に必ず確認してください。



Urara-012

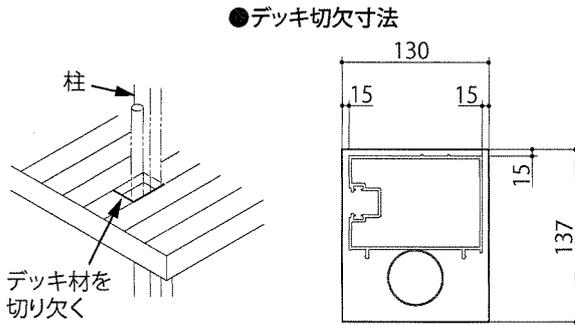


Urara-013-4

1-8 デッキの貼り付け

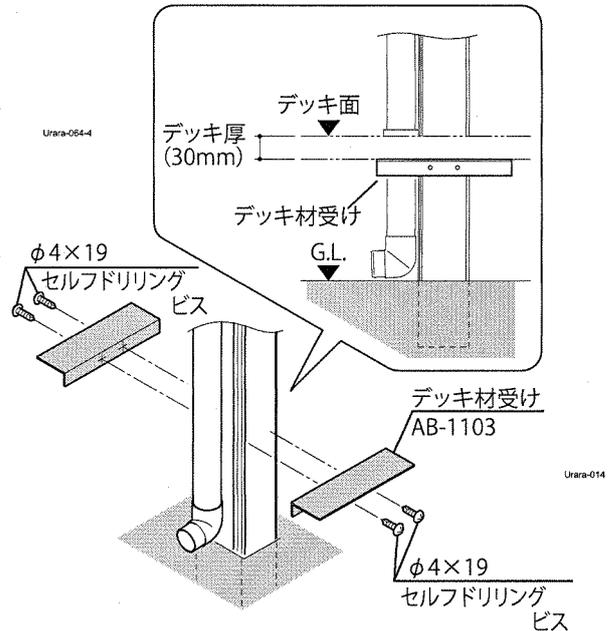
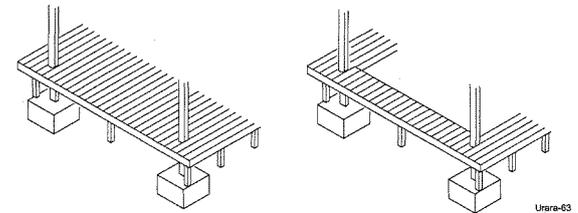
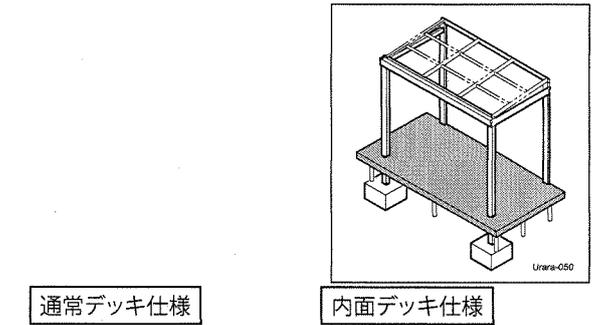
木樹脂デッキⅡの取付説明書 (ME-1738) を参照し、デッキ材を貼り付けてください。
(内面デッキ仕様の場合は、6～13ページの「納まり図」を参照して、内面以外を貼り付けてください。)

①柱位置のデッキ材を切り欠いてください。



②現場の状況に応じて、デッキ材受けを柱に取り付けてください。

! デッキ材受けは柱セットの中にありますので、同梱のビスで取付けてください。
おねがい



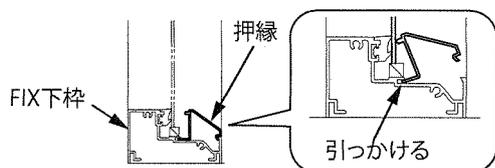
1-9 戸袋がある場合の施工

①躯体方立を切断し、「h」寸法の躯体方立 (片側 2 個) を作成してください。

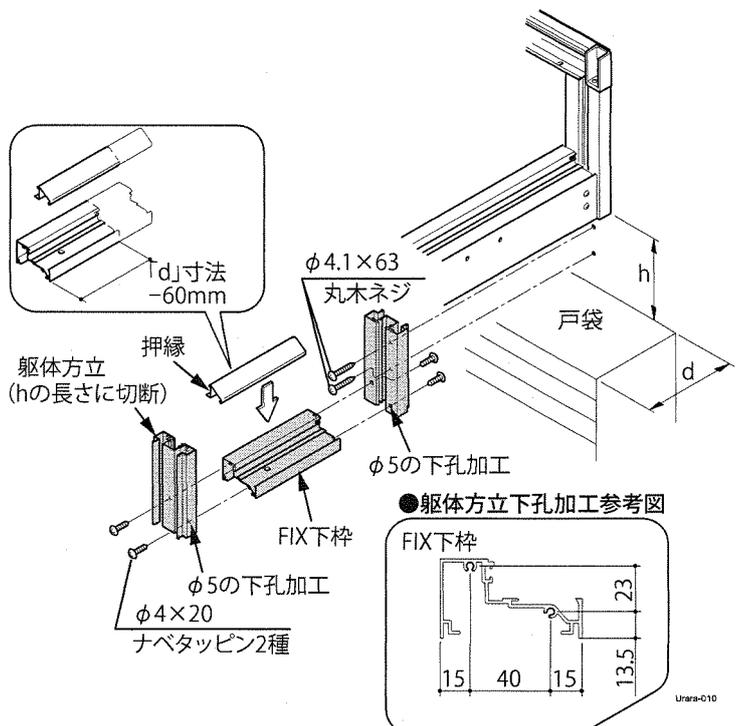
! ●躯体方立は、17ページ「1-3. 躯体方立の取付け」で切断した余りを使用してください。
●「h」寸法=うで木下端から戸袋上端まで

②押縁を FIX 下枠に取付け、「d」寸法-60mm で切断してください。

! 「d」寸法=戸袋の出巾寸法



③「h」寸法の躯体方立に FIX 下枠取付け用の下孔加工 (φ5) を行ってください。
④躯体方立と FIX 下枠を取付けてください。

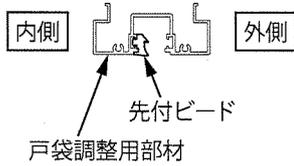


フレーム部の組立て

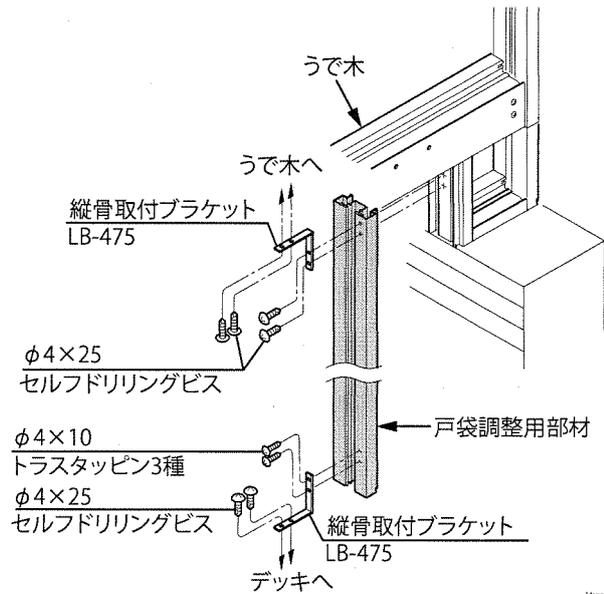
- ⑤ 高さ寸法を調整して、戸袋調整用部材と縦骨取付ブラケットを取付けてください。

! 必ず、先付ビード取付側を内側にして
ください。

おねがい



Urano-225



Urano-170

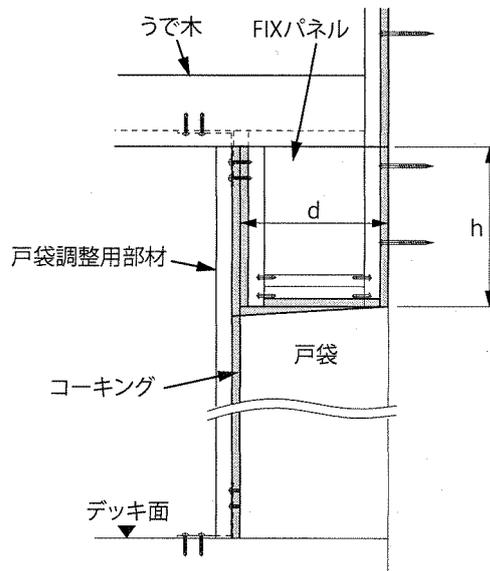
- ⑥ 戸袋のまわり、および部材どうしの取合部分に、右図のようにコーキング処理を行ってください。

! コーキングは確実に行ってください。
コーキングが不十分な場合、雨漏りの
原因になります。

おねがい

※下記の FIX パネルの取付けは、46 ページ「2-13. 出巾面 FIX パネルの取付け」で行います。

- ⑦ FIX パネルを、納める寸法 (右図参照) に切断し、はめ込んでください。
⑧ 四方に後付ビードを取付け、FIX パネルを固定してください。



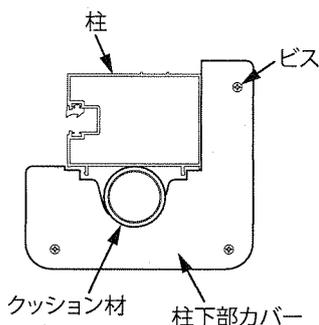
Urano-011

1-10 柱下部カバーの取付け

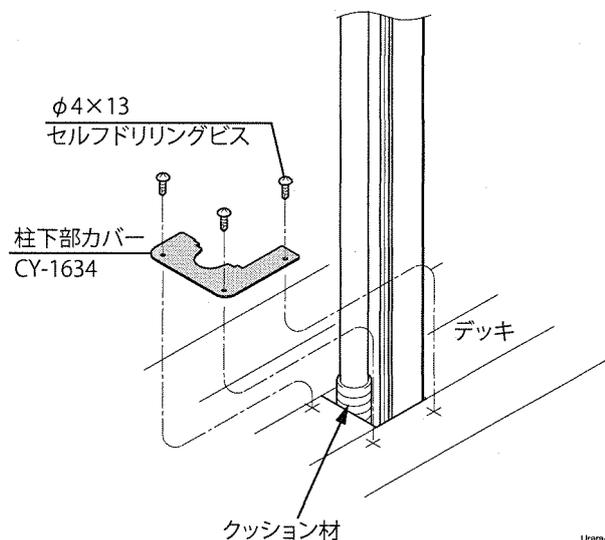
柱下部カバーをデッキに取付けてください



柱下部カバーを雨樋にまきつけたクッション材におしつけて、ビスで固定してください。



Urano-016



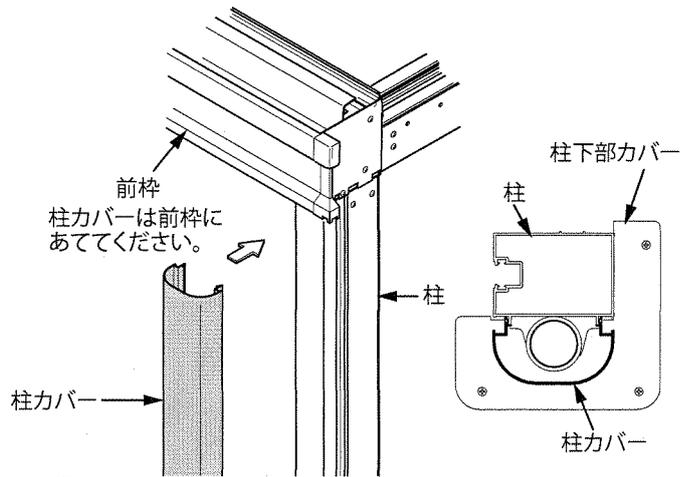
Urano-015

1-11 柱カバーの取付け

①柱カバーを柱に取付けてください。



- 柱カバーは、先に上部を前枠下部にあてはめ込むと、入れやすくなります。
- 柱カバーはかん合だけの固定です。
- 樹脂柱カバーを取付ける場合は、スライドでの取付けとなるので、最後に取付けてください。



Urara-017-4

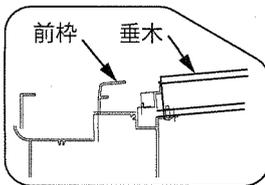
1-12 側枠・垂木の取付け



オプションの天井スクリーンのレールは、本体施工後に取付けることができません。天井スクリーンを取付ける場合は、レールをあらかじめ側枠・垂木に取付けてください。

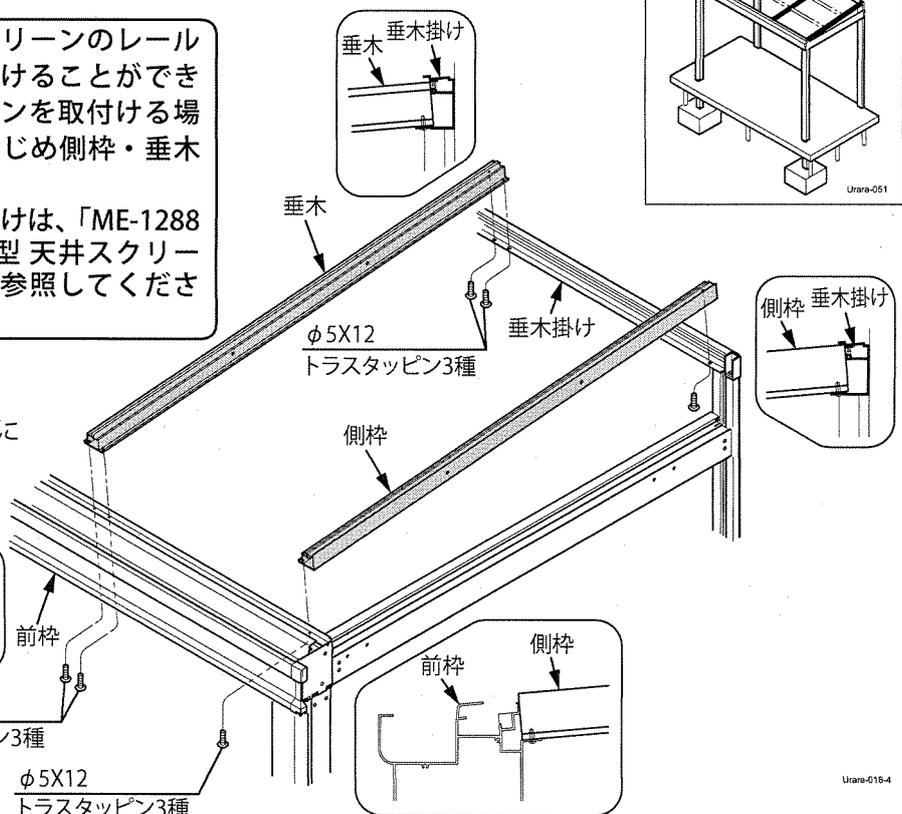
(天井スクリーンの取付けは、「ME-1288 フォルテラス A型・F型 天井スクリーン施工マニュアル」を参照してください。)

①側枠と垂木を前枠と垂木掛けに取付けてください。



φ5X12
トラスタッピン3種

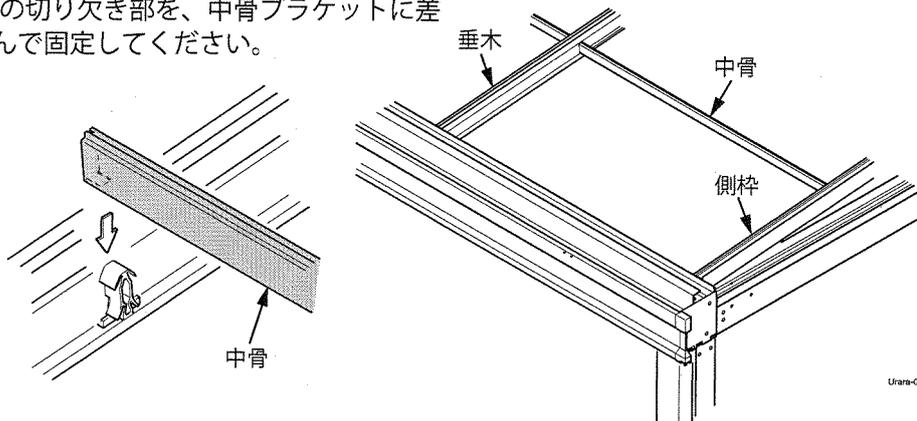
φ5X12
トラスタッピン3種



Urara-018-4

1-13 中骨の取付け

①中骨の切り欠き部を、中骨ブラケットに差し込んで固定してください。



Urara-018-4

フレーム部の組立て

1-14 屋根材の取付け

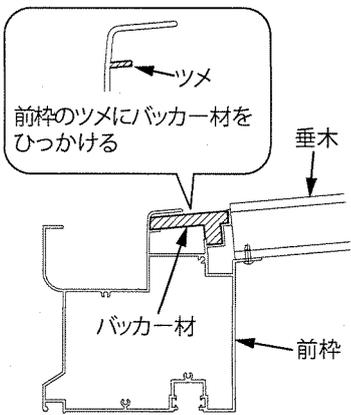
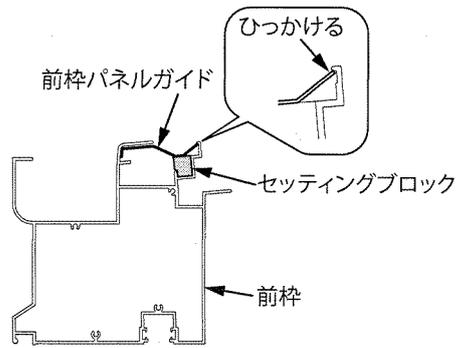
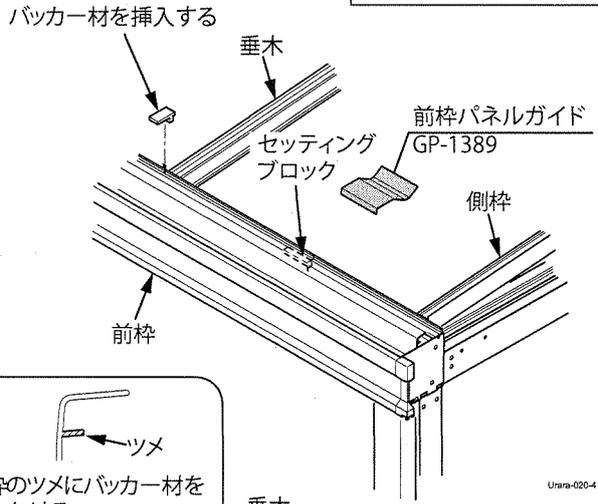
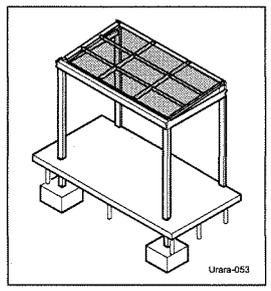
- ①前枠パネルガイドの離鏡紙をはがしてください。
- ②前枠に取付いているセッティングブロックの部分に、前枠パネルガイドを取付けてください。
- ③前枠の垂木が取付く部分に、バック材を挿入してください。

ポイント

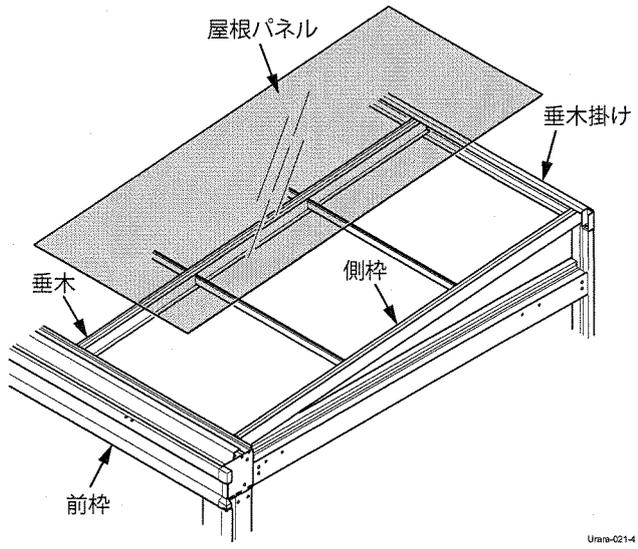
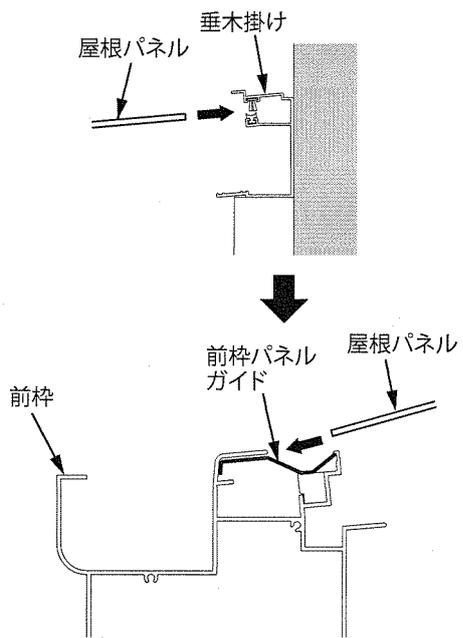
- 前枠パネルガイドは、パチンと音がするまで押し込んでください。
- セッティングブロックは垂木と垂木の中央に取付いています。
- バック材は、前枠のツメにひっかけてください。

お願い

バック材は間口部材セット内に梱包されています。

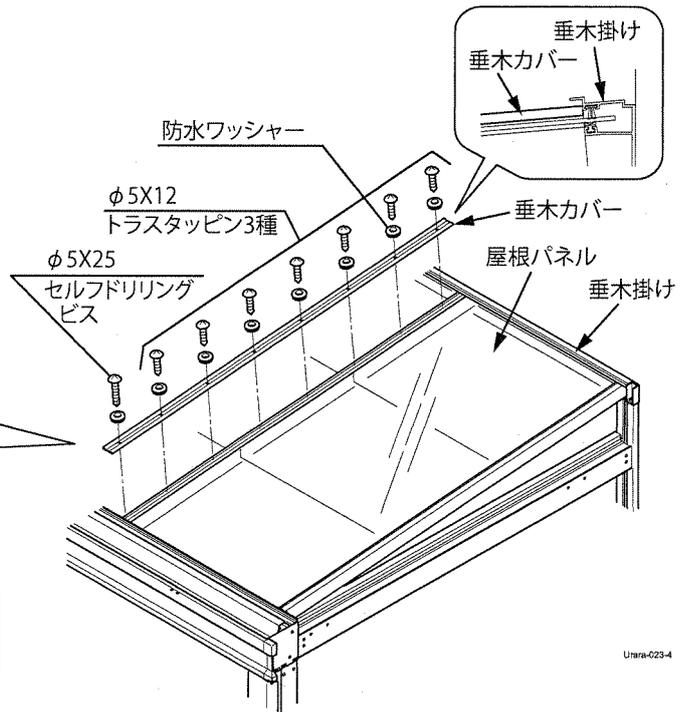
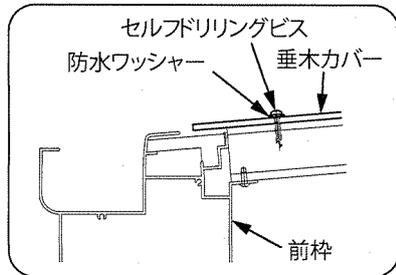


- ④屋根パネルを垂木掛けに差し込んでください。
- ⑤屋根パネルを少し持ち上げて、前枠に差し込んでください。



⑥垂木カバーを垂木に取り付け、屋根パネルを固定してください。

- 垂木カバーは、垂木掛けに入り込むように取付けてください。
- 垂木カバーの前枠側固定ビスは、抜け防止のため、セルフドリリングビスを使用してください。



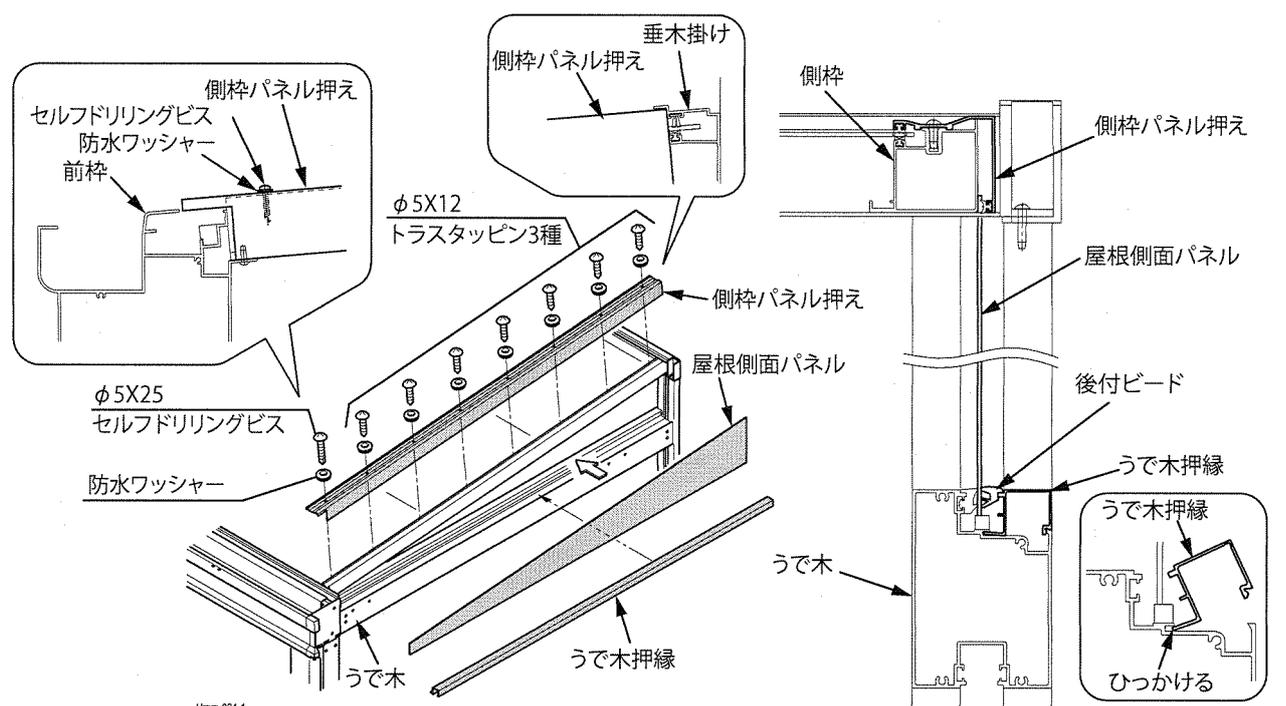
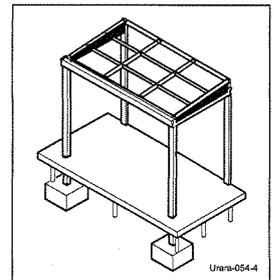
- 防水ワッシャーは間口部材セット内に梱包されております。



1-15 屋根側面パネルの取付け

- ①屋根側面パネルをはめ込んでください。
- ②うで木押縁をうで木に取付けてください。
- ③側枠パネル押えを垂木に取り付けてください。

- 側枠パネル押えは、垂木掛けに入り込むように取付けてください。
- 側枠パネル押えの前枠側固定ビスは、抜け防止のため、セルフドリリングビスを使用してください。



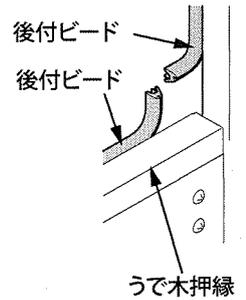
フレーム部の組立て

- ④後付ビードを取付け、屋根側面パネルを固定してください。



ポイント

- 後付ビードは、柱セット内に長尺で梱包されています。必要な長さに切断して、使用してください。
- 屋根側面パネルは、必ずセッティングブロックの上に乗せてください。



Urara-025

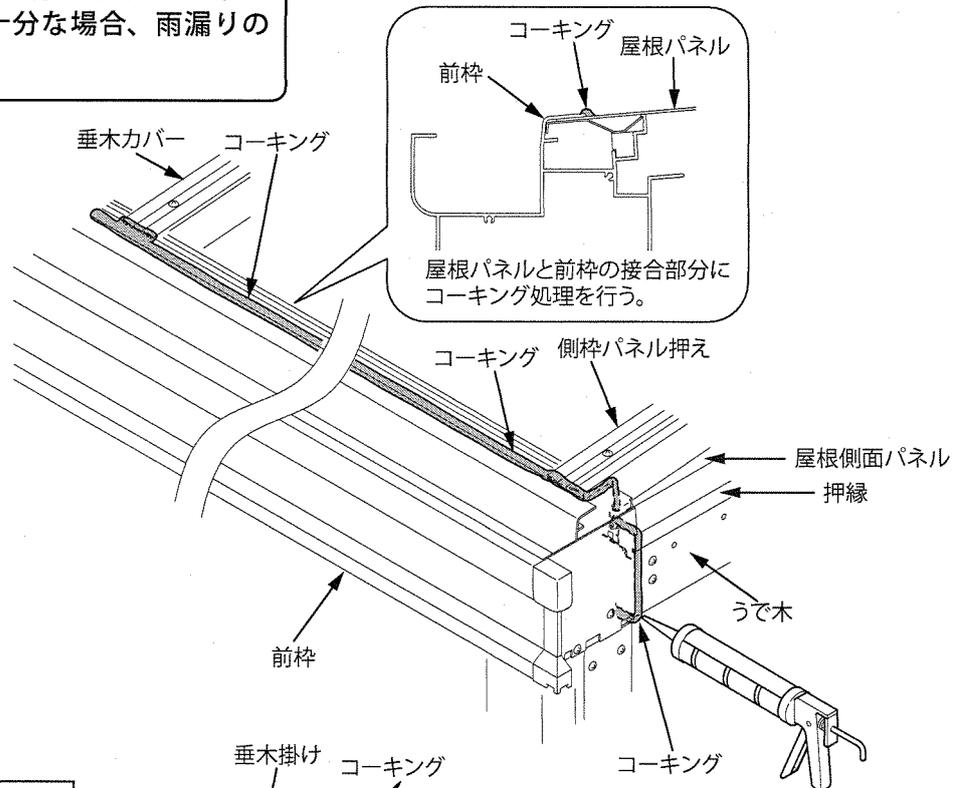
- ⑤図の位置にコーキング処理を行ってください。



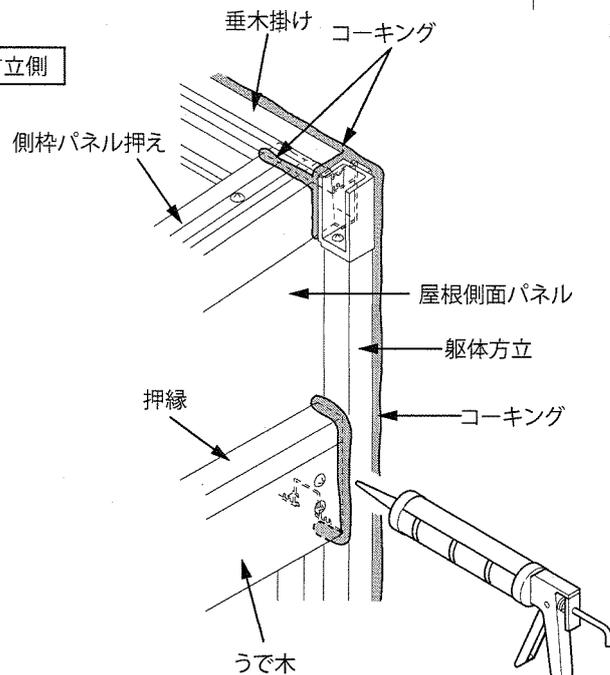
おねがい

コーキングは確実に行ってください。
コーキングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。

前枠側



垂木掛け・躯体方立側



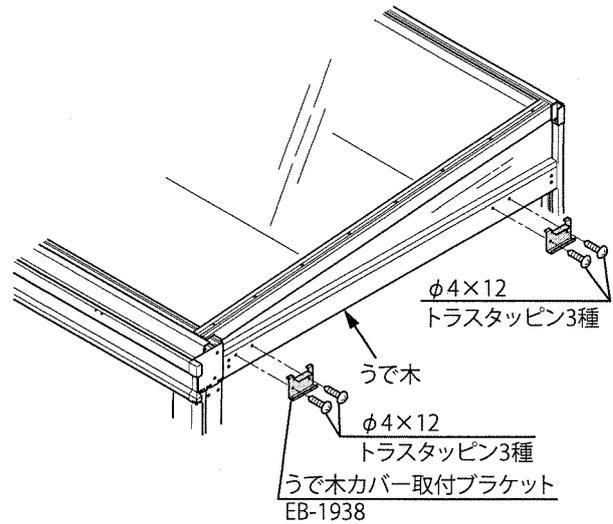
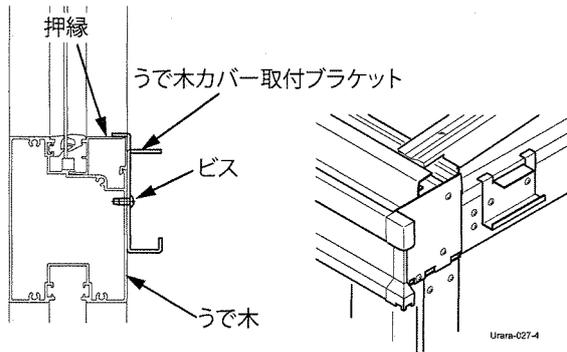
Urara-1714

1-16 うで木カバーの取付け

①うで木カバー取付ブラケットをうで木に取付けてください。



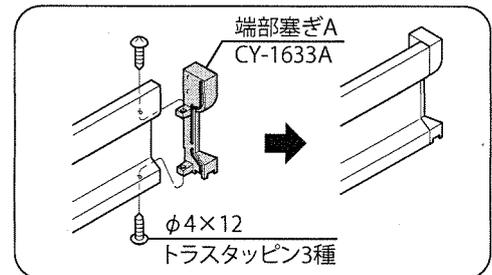
うで木カバー取付ブラケットは、押縁に引っかけて、ビスで打ち込んでください。



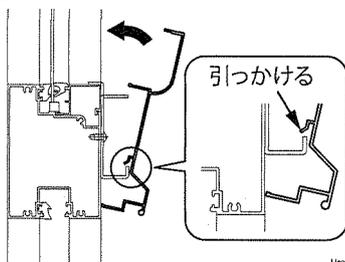
Urara-026-4

②端部塞ぎAをうで木カバーに取付けてください。

③下記の要領でうで木カバーを取付けてください。



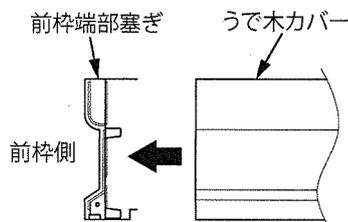
①うで木カバーの下部を、うで木カバー取付ブラケットに引っかけてください。



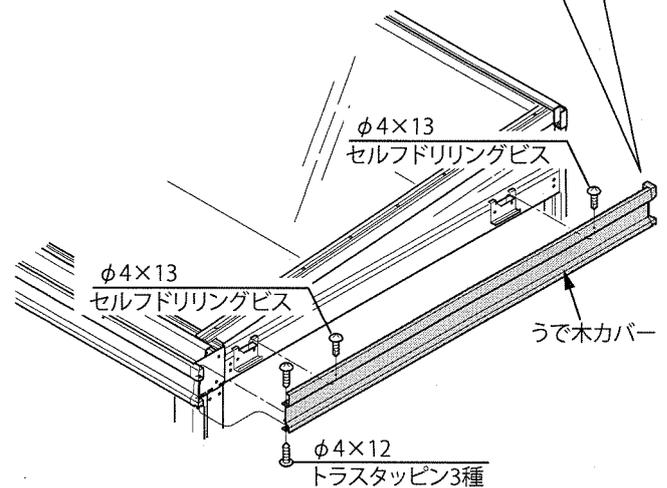
Urara-032



②うで木カバーを前枠端部塞ぎにぶつかるまでスライドさせてください。



Urara-033



Urara-026-4

④前枠側は、φ4×12 トラストタッピン3種で取付けてください。

⑤うで木カバー取付ブラケット部（中間）は、φ4×13 セルフドリリングビスで取付けてください。

2

折り戸の組立て

2-1 折り戸の組立て前に

※折り戸の組立て作業前に、外折れ、内折れ・吊元側の右勝手、左勝手を確認してください。



別売の網戸を取付ける場合は、必ず、折り戸を外折れにしてください



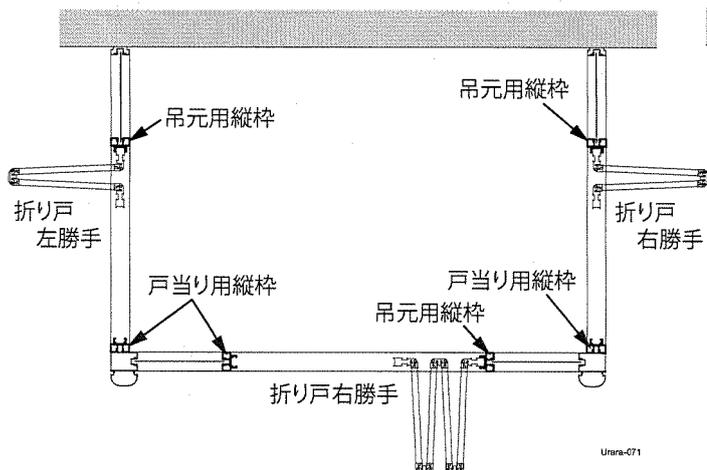
ポイント

- 下図を参照して、扉の縦枠の吊元側と戸当側を確認してください。
- 下枠レールと上枠レールにも右勝手、左勝手があります。

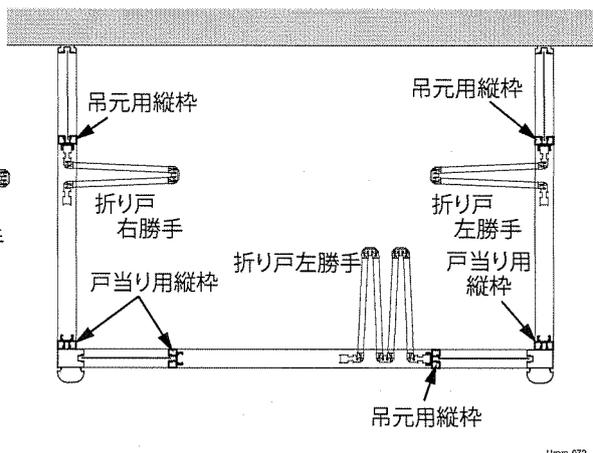
折り戸の勝手について

扉が折れてくる側から見て、吊元が右側であれば「右勝手」、左側であれば「左勝手」となります。

●外折れ

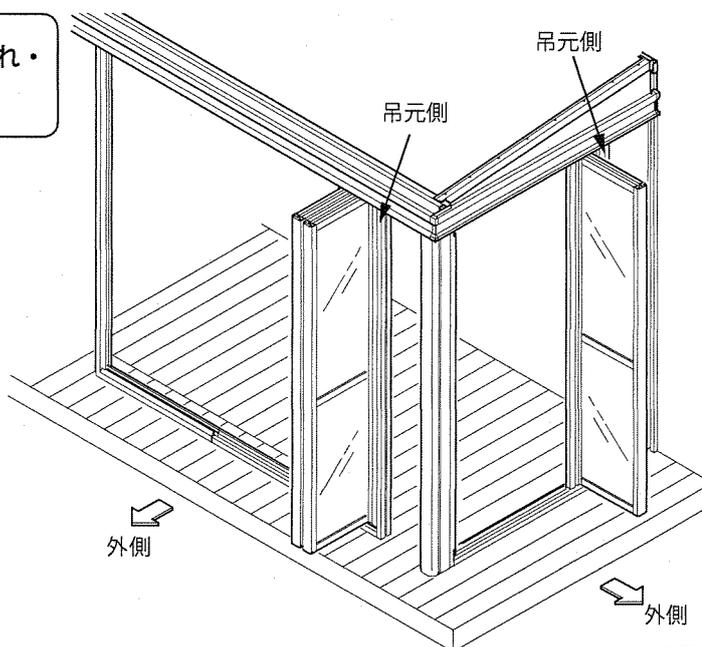


●内折れ



ポイント

この説明書では、右図のように「外折れ・右勝手」を例に説明しています。



2-2 縦枠用部品の取付け

! 縦枠には吊元用と戸当り用があります。
おねがい まちがえないようにしてください。

① コーナーブラケットとレールブラケットを、吊元縦枠と戸当り縦枠に取付けてください。

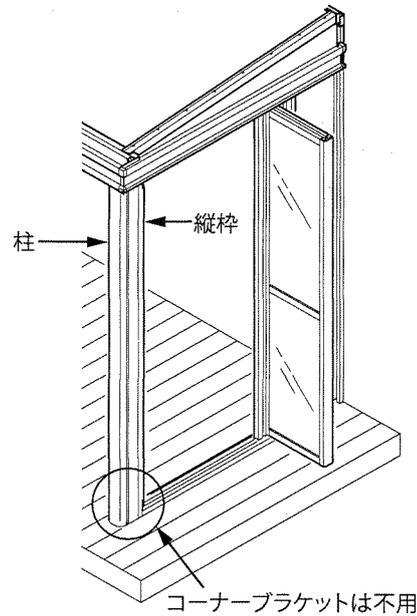
コーナーブラケット（アングル部品）には、タップ孔側と丸孔側があります。縦枠への取付けには、タップ孔を使用してください。

ポイント

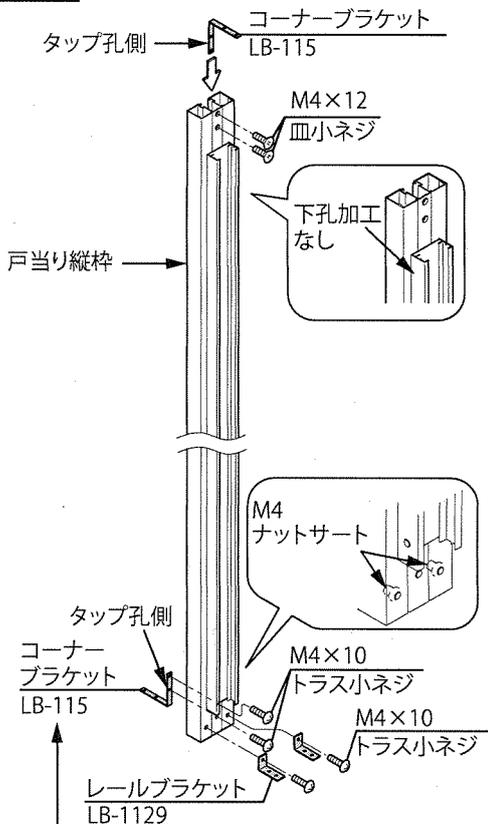
丸孔側
タップ孔側

Urara-070

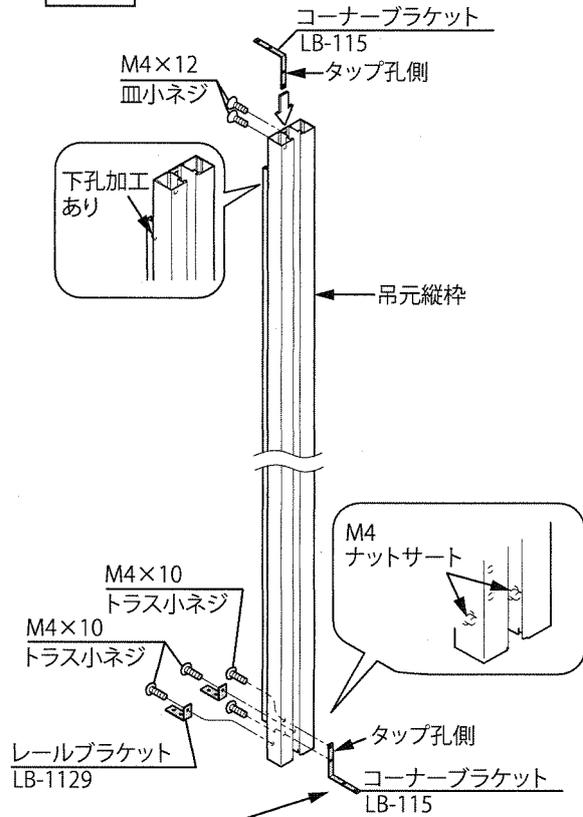
! 柱の裏側に取付く縦枠には、コーナーブラケットを取付けないでください。



戸当り用



吊元用



ポイント 縦枠が柱の後に取付く場合は、下部のコーナーブラケットは、取付きません。

折り戸の組立て

②先付ビードを縦枠の内側に挿入してください。

先付ビードは、柱セット内に長尺で梱包されています。
後付ビードとまちがえないようにしてください。



おねがい



先付ビード 後付ビード

Uma-227



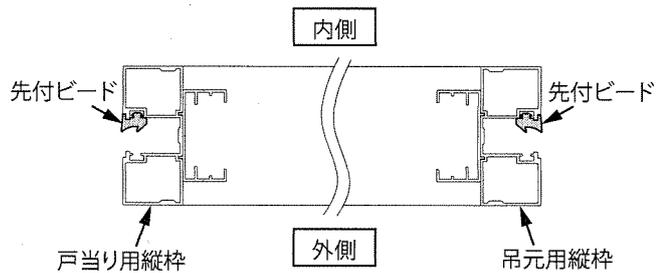
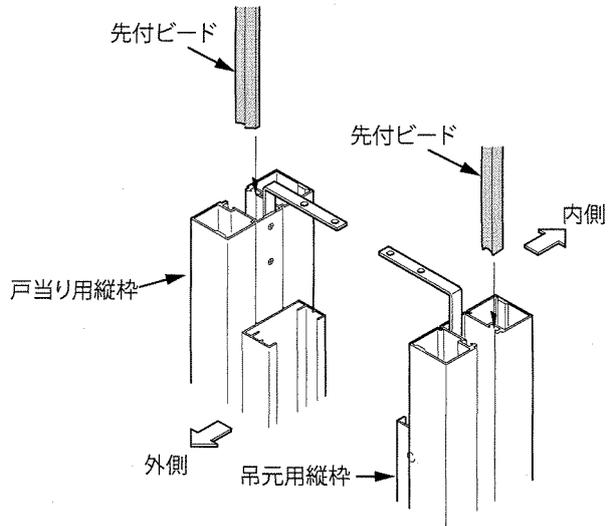
ポイント

- 先付ビードを必要な長さに切断して、使用してください。
- せっけん水等をつけると、挿入しやすくなります。



おねがい

- 先付ビードは、必ず挿入しておいてください。後から取付けることはできません。
- 先付ビードは、必ずうらの内側に挿入してください。

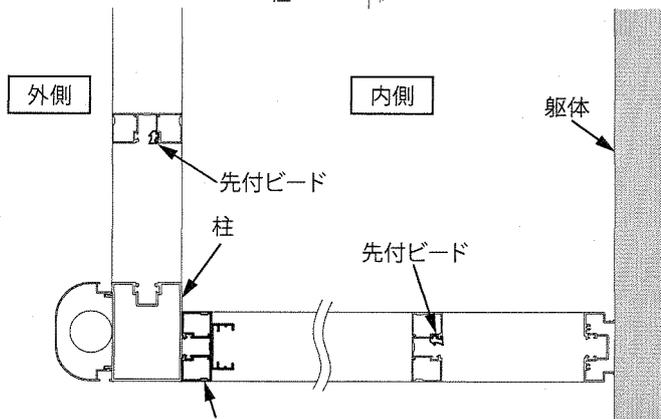
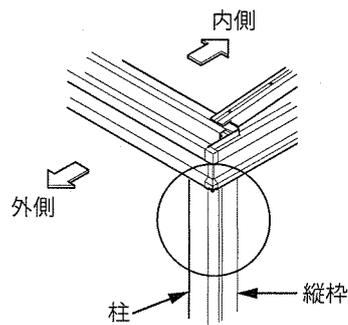


Uma-096-4



おねがい

柱裏側に取付く縦枠には、先付ビードを挿入しないでください。



柱裏側の縦枠に先付ビードは不要

Uma-097-4

2-3 縦枠と下枠レールの組立て

! 下枠レールには、吊元側と戸当り側があります。まちがえないようにしてください。
おねがい

- ① 吊元側下枠レールを吊元用縦枠に取付けてください。
- ② 戸当り側下枠レールを戸当り用縦枠に取付けてください。

● 吊元側下枠レール ● 戸当り側下枠レール

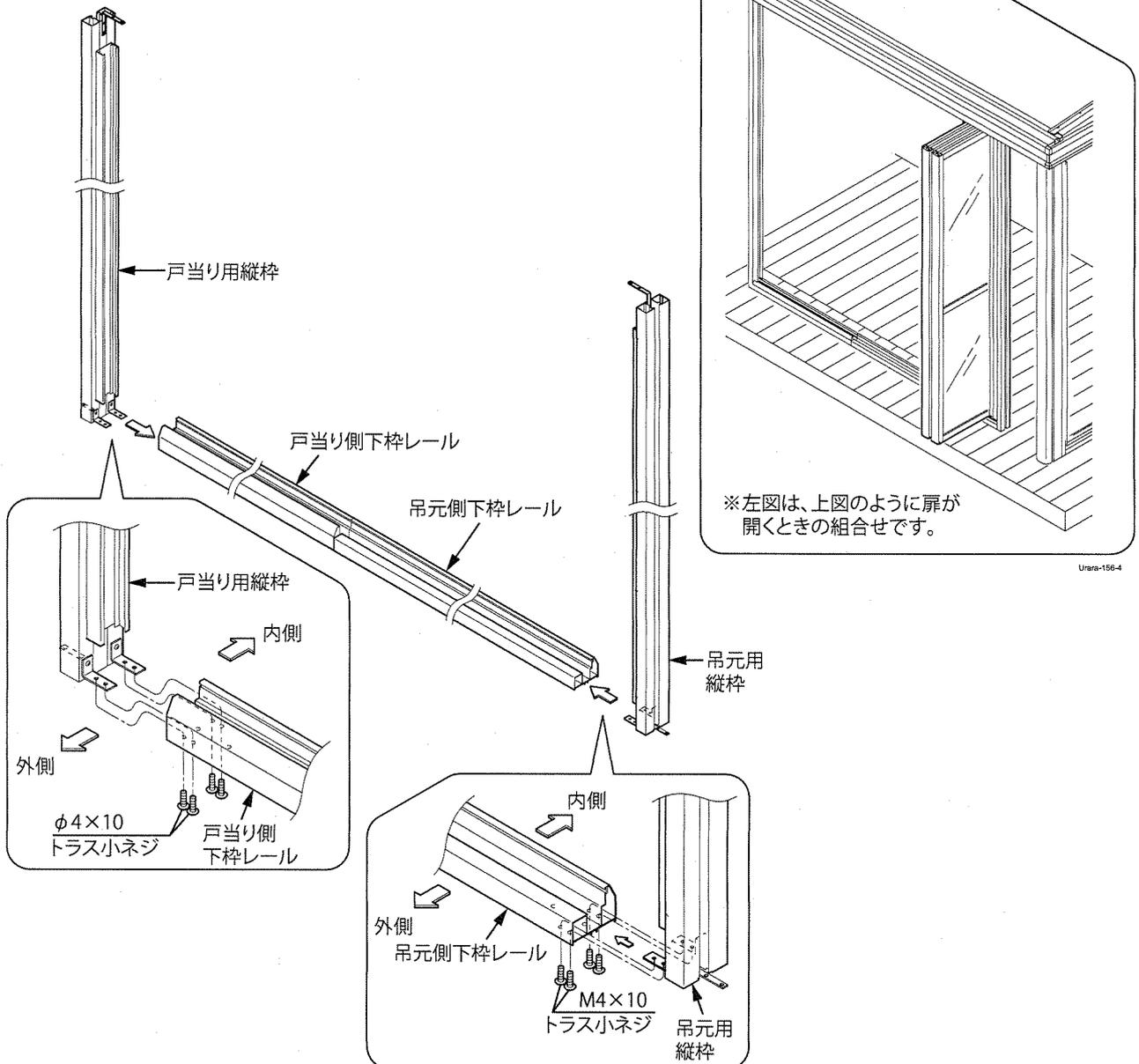


※ 吊元側は扉を収納するために上図の形状になっています。

Unara-068



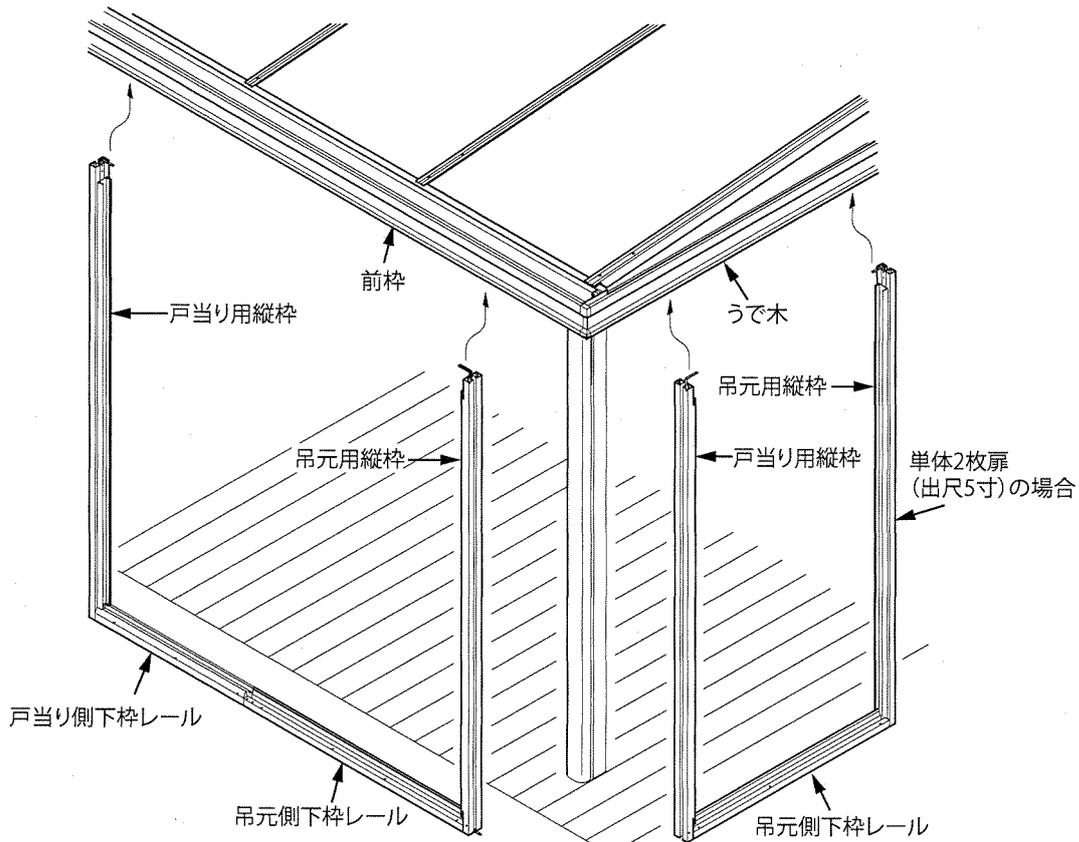
単体 2 枚扉 (出巾 5 尺) の場合は、吊元側下枠レールのみを使用します。



Unara-156-4

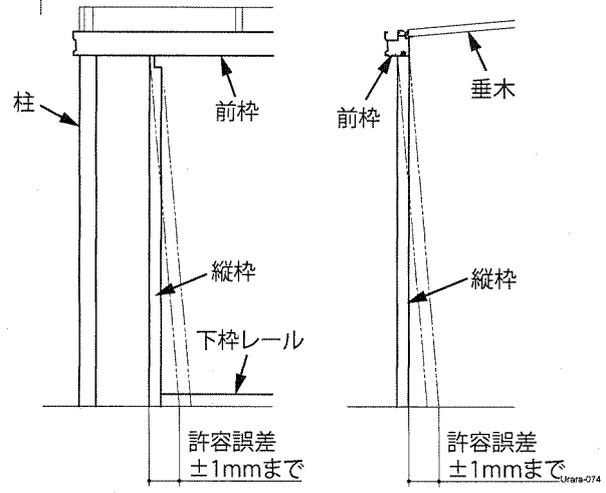
Unara-068-4

2-4 フレーム、デッキへの取付け



Urara-073-4

! **おねがい**
 縦枠をフレームに取付ける前に、枠のねじれや傾きがないか、ふりこ等で確認してください。
 ねじれや傾きがあると、扉の開閉に支障がでます。



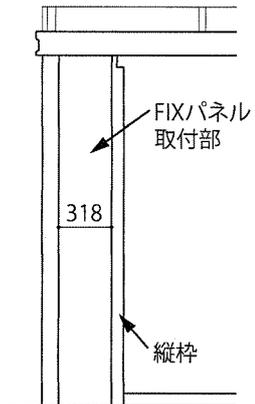
Urara-074

FIX パネルが取付く開口寸法は、必ず確保してください。

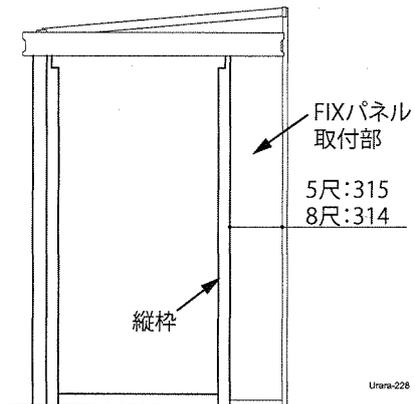
! **おねがい**

間口面		318mm
出巾面	5尺	315mm
	8尺	314mm

● 間口面



● 出巾面



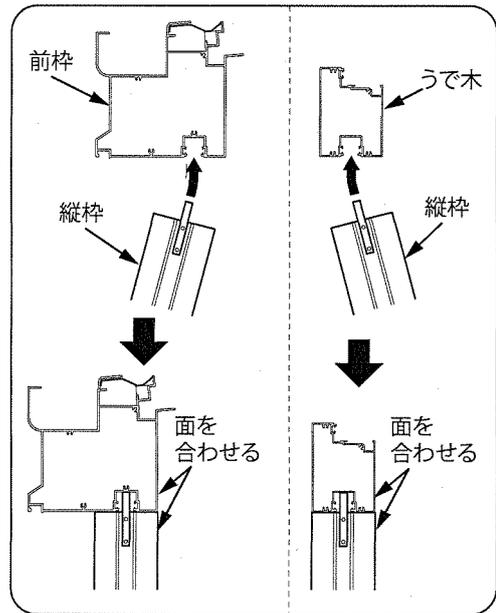
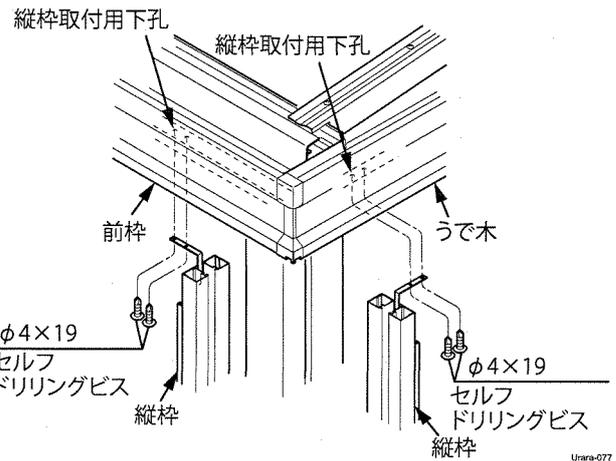
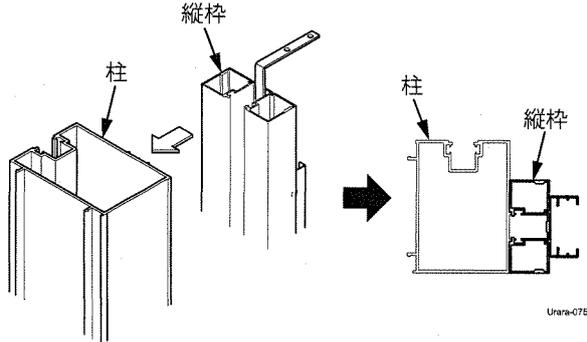
Urara-228

①縦枠の上部を前枠およびうで木に取付けてください。

ポイント 前枠およびうで木には、取付け位置に下孔加工がされています。

縦枠と柱を取付ける場合

●縦枠と柱をかん合させて、すき間がないようにしてください。



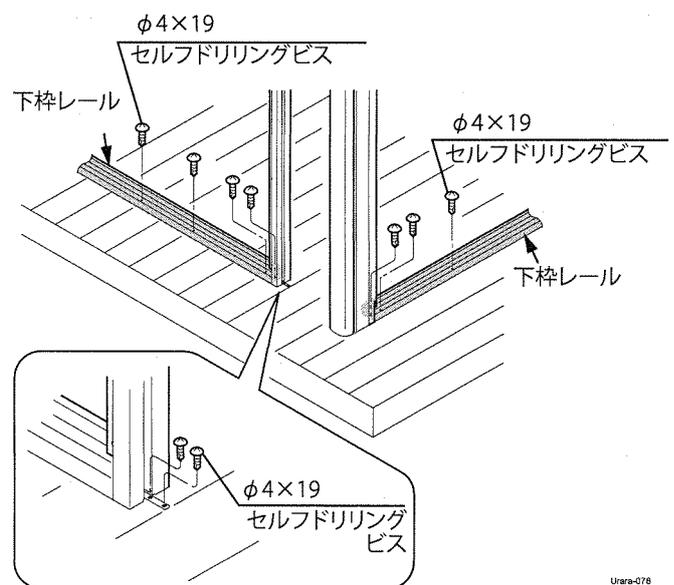
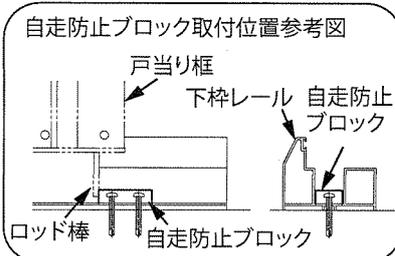
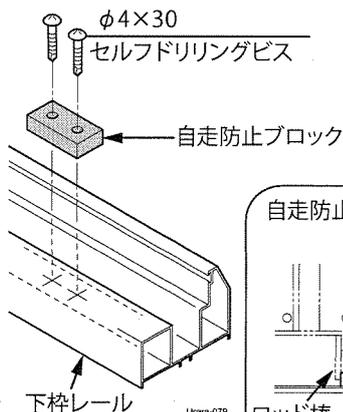
②縦枠の下部と下枠レールをデッキに取付けてください。

ポイント 下枠レールの孔加工位置が、デッキの目地にくる場合は、少しずらしてビスをデッキに打ってください。

おねがい 下枠レールをデッキに固定する前に、前ページを参照して、縦枠のねじれや傾きがないか、再度確認してください。

③自走防止ブロックを下枠レールに取付けてください。

ポイント ブロックを固定するビスは、デッキまで貫通するように長くしています。



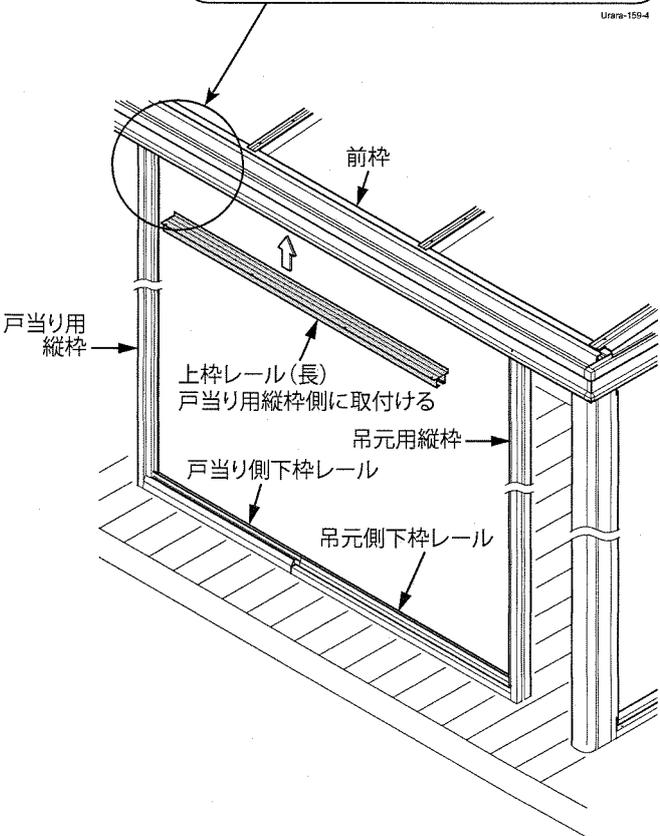
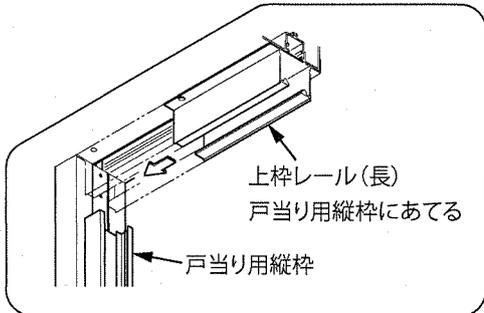
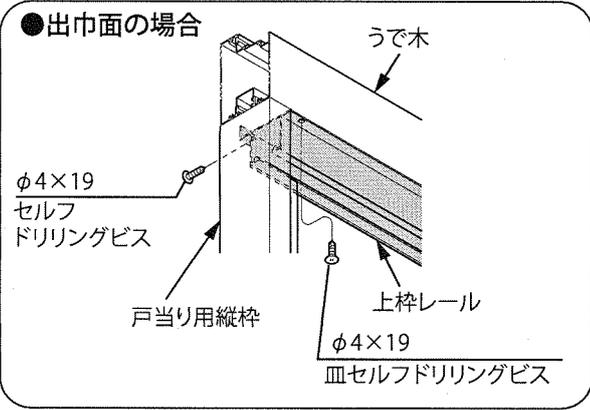
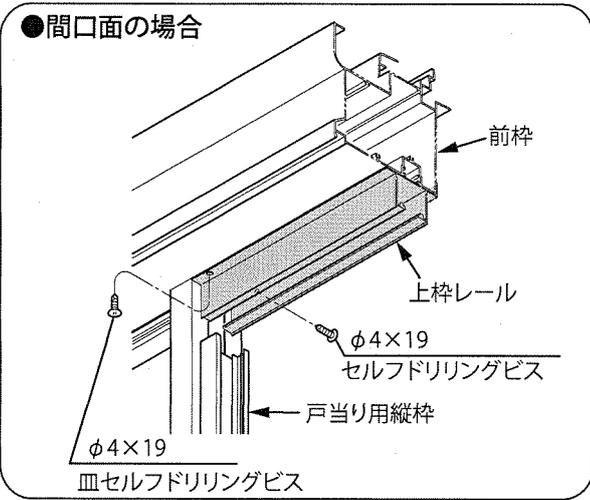
2-5 長い上枠レールの取付け

ポイント 上枠レールには、長い物と短い物の2種類があります。

- ①先に長い上枠レールを、前枠およびうで木に取付けてください。
 (2枚扉の場合は、短い上枠レールを先に取付けます。)

ポイント

- 長い上枠レールは、戸当り用縦枠側に取付けます。
- 短い上枠レールは、扉の吊り込み後に取付けます。



2-6 扉の吊り込み

単体4枚扉(間口1.5間・出巾8尺)の場合

- ①ランナーシャーシを、扉の戸当り框上部に取付けてください。

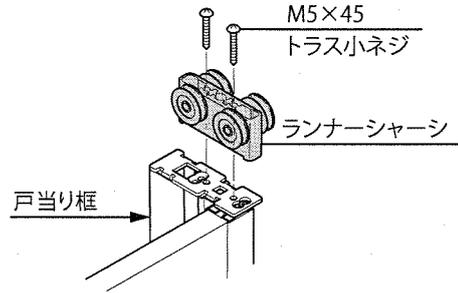
ポイント

ランナーシャーシには、上下があります。

上

下

Uraa-160-4



Uraa-063-4

- ②扉を吊元側の下枠レールに載せ、ランナーシャーシを上枠レールにはめ込んでください。

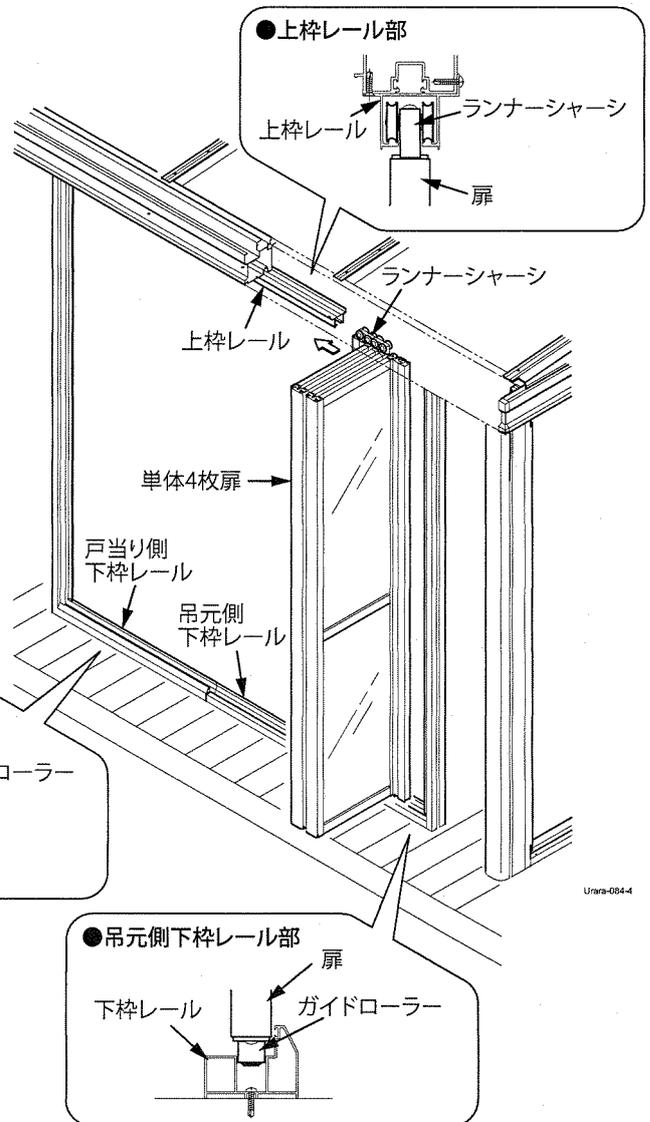
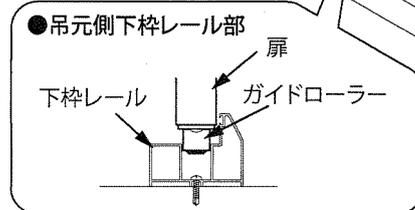
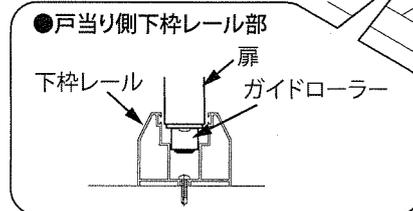
! 扉をたたんだ状態で作業してください。
おねがい

- ③扉を吊り込み後は、39ページ「2-7. 吊り込み後の部品取付け」へ進んでください。

単体2枚扉(出巾5尺)の場合

※単体2枚扉には、右勝手・左勝手がありません。
戸当り側と吊元側を決めてください。

- ①ランナーシャーシを、扉の戸当り框上部に取付け後、単体4枚扉と同様に扉を吊り込んでください。
- ②扉を吊り込み後、39ページ「2-7. 吊り込み後の部品取付け」へ進んでください。



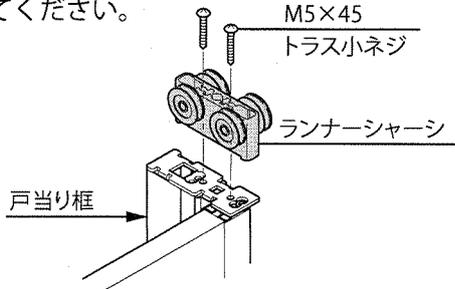
Uraa-064-4

折り戸の組立て

6枚扉以上(間口2~3間)の場合

※ 6枚扉からは、扉の連結が必要です。
戸当り・吊元扉セットからどちらを戸当り扉にするか決めてください。

①ランナーシャーシを、戸当り扉の框上部に取り付けてください。



Uraa-083-4

ランナーシャーシには、上下があります。

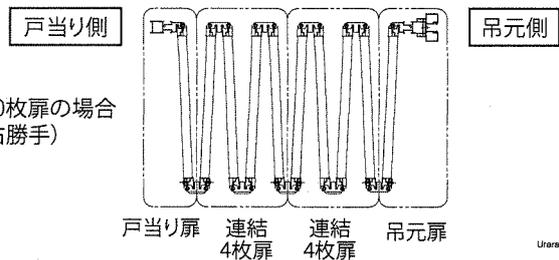
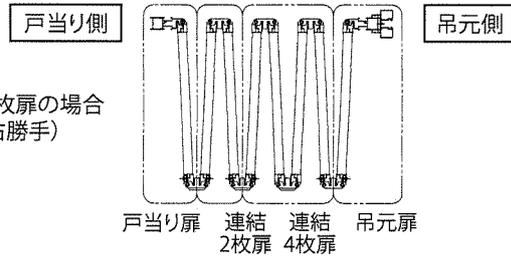
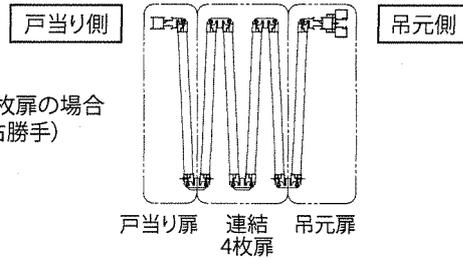
ポイント

Uraa-180-4

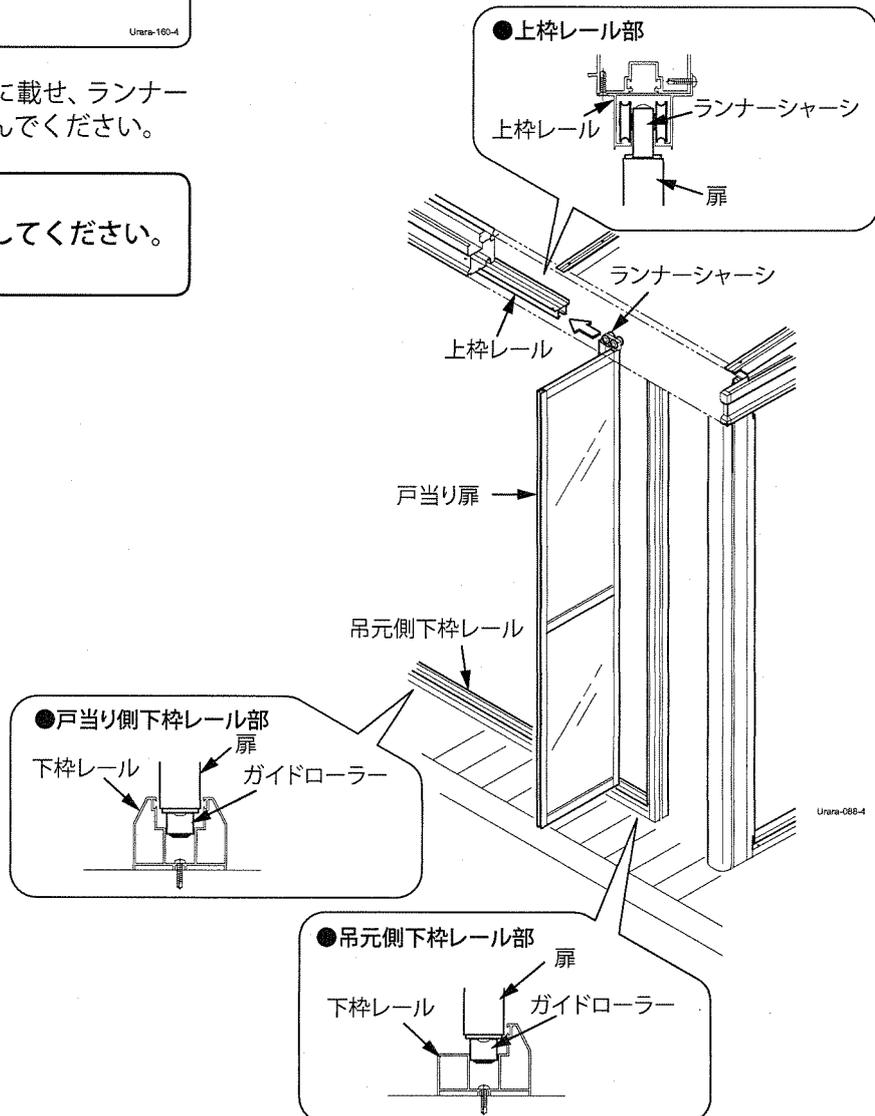
②戸当り扉を吊元側の下枠レールに載せ、ランナーシャーシを上枠レールにはめ込んでください。

扉をたたんだ状態で作業してください。

おねがい



Uraa-087



Uraa-088-4

③同様に、必要数の連結扉 (2枚または4枚) を吊り込んでください。

④扉をたたんだ状態で、連結ヒンジを扉に挿入し、戸当り扉と連結扉を連結してください。



おねがい

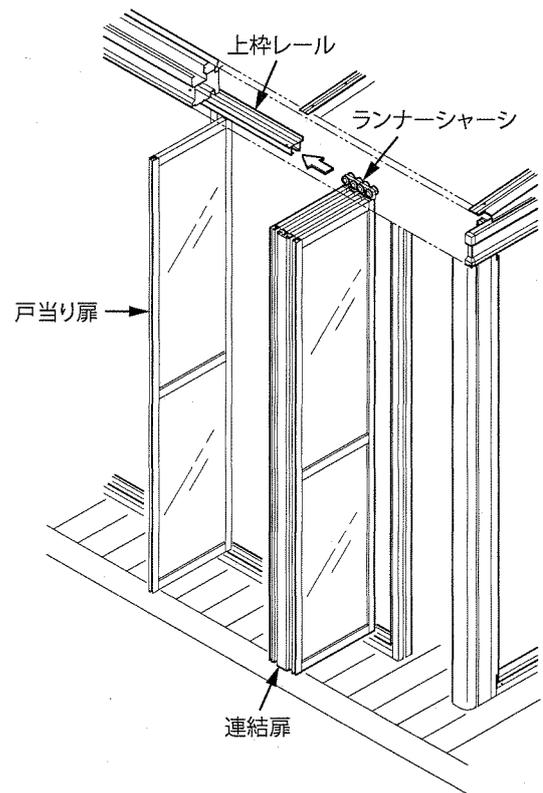
ヒンジが扉に正確にかん合した状態で、ビス止め用の下穴が一致します。ビス穴が一致していない状態で無理にビスを打ち込まないでください。開閉に支障が出ます。

⑤扉をのばした状態にして、ビスで固定してください。

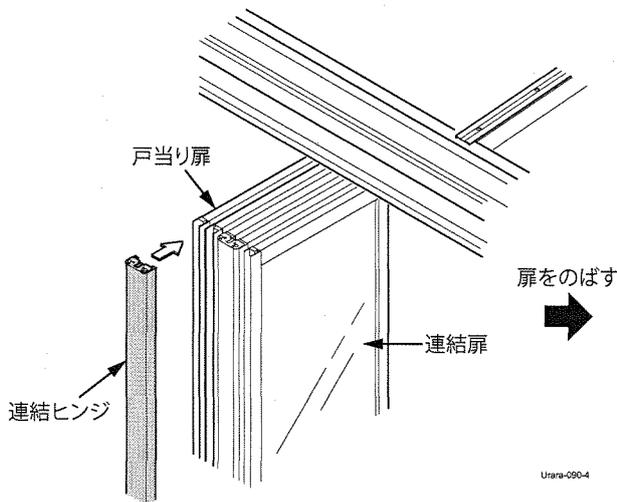


ポイント

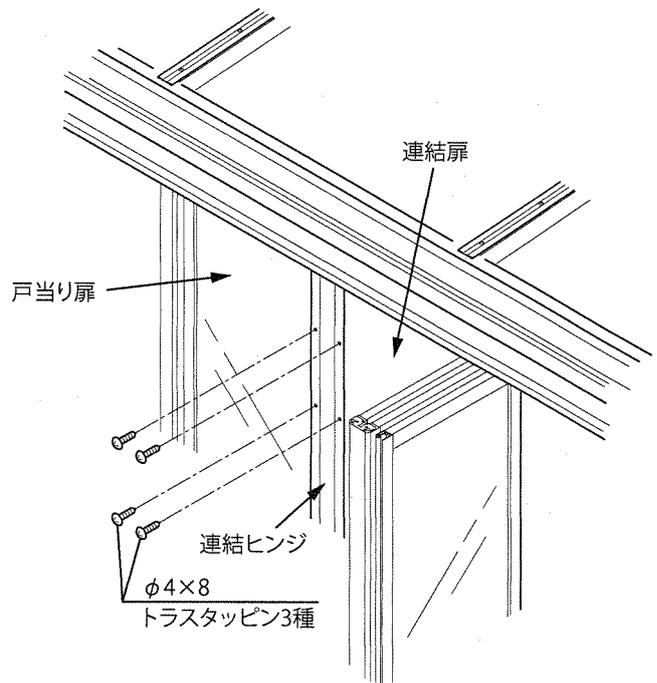
ヒンジには、連結ヒンジ (連結扉セット内) と吊元ヒンジ (戸当り・吊元扉セット内) があります。



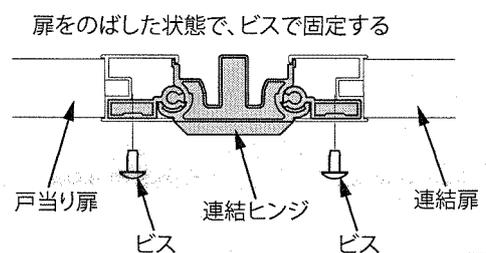
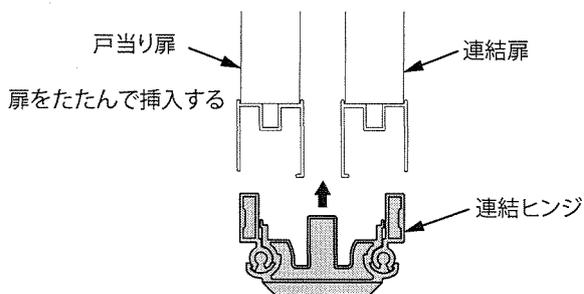
Urara-089-4



Urara-090-4



Urara-091-4



Urara-092

折り戸の組立て

! ヒンジの上下の金物と扉の間に、すき間
 おねがい やずれがないように注意してください。

ポイント 連結扉と連結扉も同様に連結してくだ
 さい。

⑥吊元扉を吊元側の下枠レールに載せ、連結扉の
 横にセットしてください。

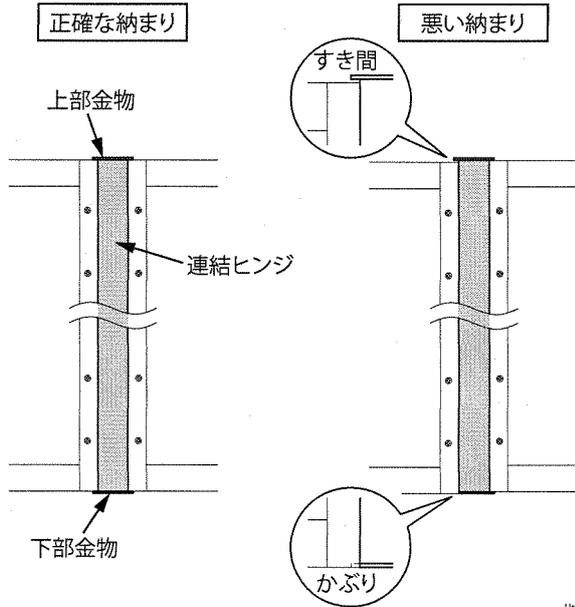
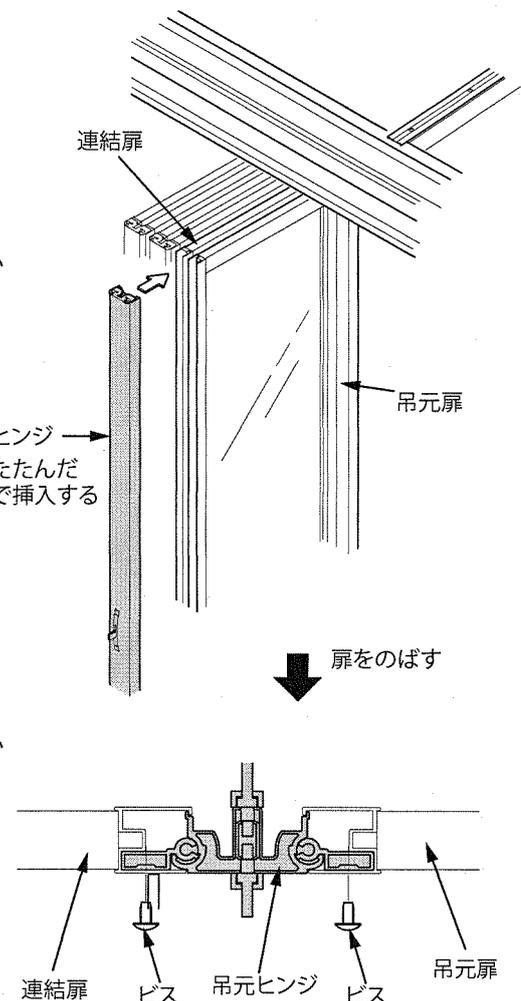
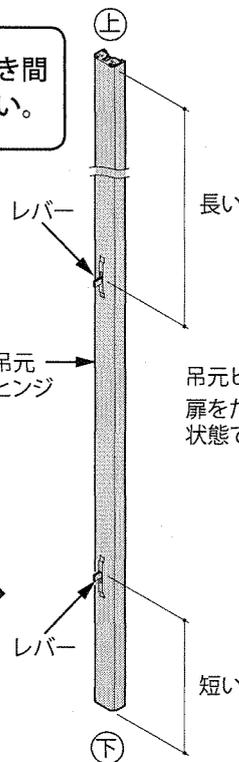
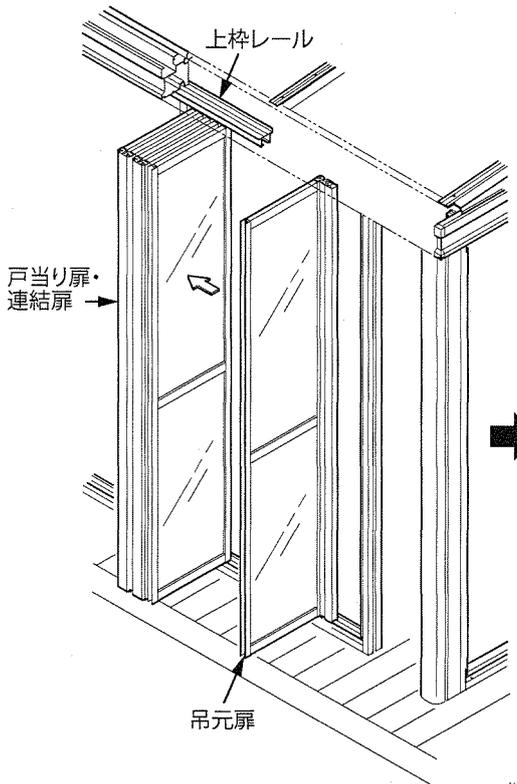
ポイント ●吊元ヒンジには、吊元落しのレバー
 が付いています。
 ●吊元ヒンジには上下があります。

⑦扉をたたんだ状態で、吊元ヒンジを挿入し、吊
 元扉と連結扉を連結してください。

! ヒンジが扉に正確にかん合した状態で、
 おねがい ビス止め用の下穴が一致します。ビス
 穴が一致していない状態で無理にビス
 を打ち込まないでください。開閉に支
 障が出ます。

⑧連結ヒンジと同様に、扉をのばした状態にして、
 ビスで固定してください。

! ヒンジの上下の金物と扉の間に、すき間
 おねがい やずれがないように注意してください。



Uraa-161

Uraa-094-4

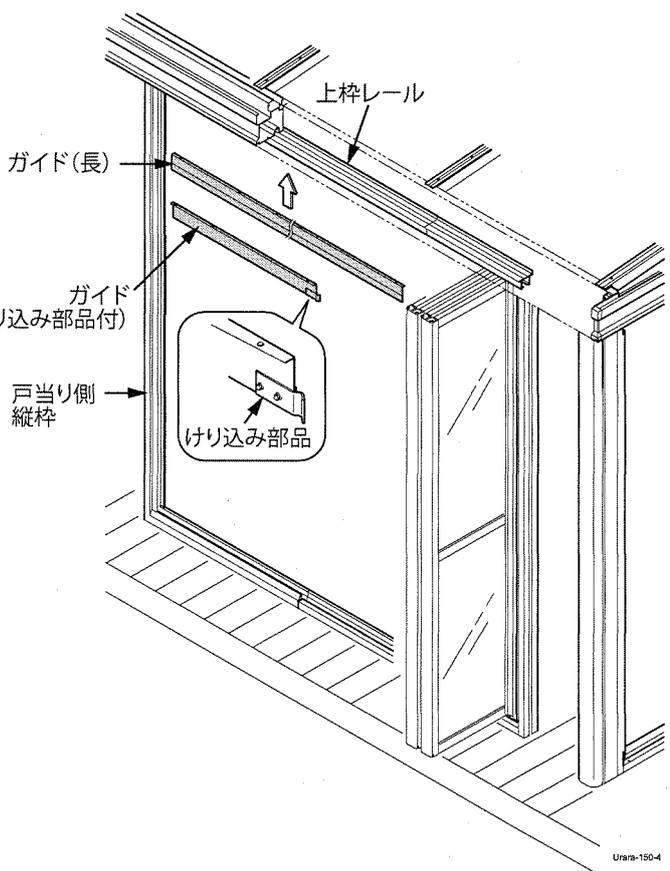
Uraa-095-4

折り戸の組立て

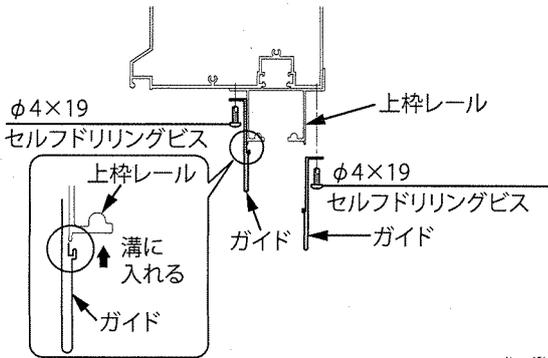
- ③長いガイドを扉が折れない側に取り付けてください。
- ④短いけり込み部品付のガイドを、扉が折れる側に取付けてください。

ポイント けり込み部品付のガイドは、戸当り側縦枠によせて、取付けてください。

おねがい ガイドは必ず上枠レールの突起にはめ込んでください。折り戸の開閉に支障が出る場合があります。



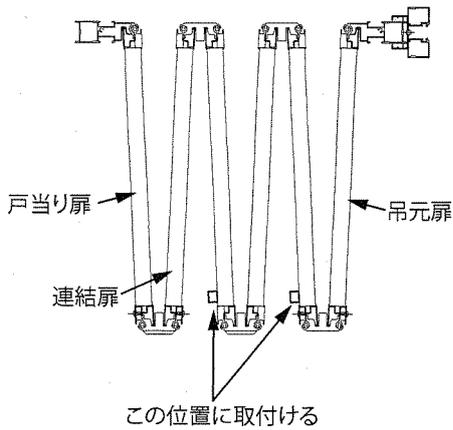
Umrn-150-4



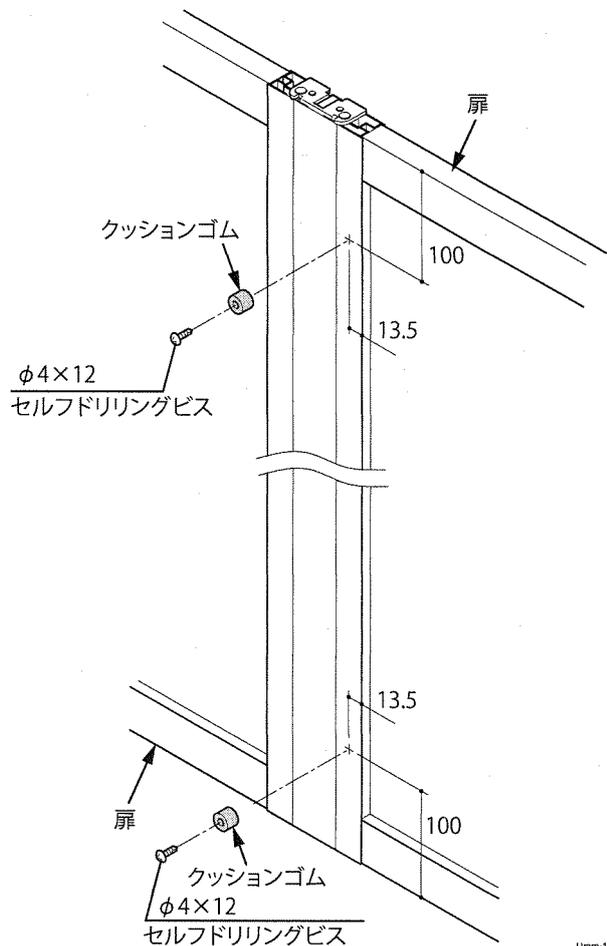
Umrn-151-4

- ⑤クッションゴムを連結扉の上下に取り付けてください。

ポイント クッションゴムは、下図で示す位置に取り付きます。

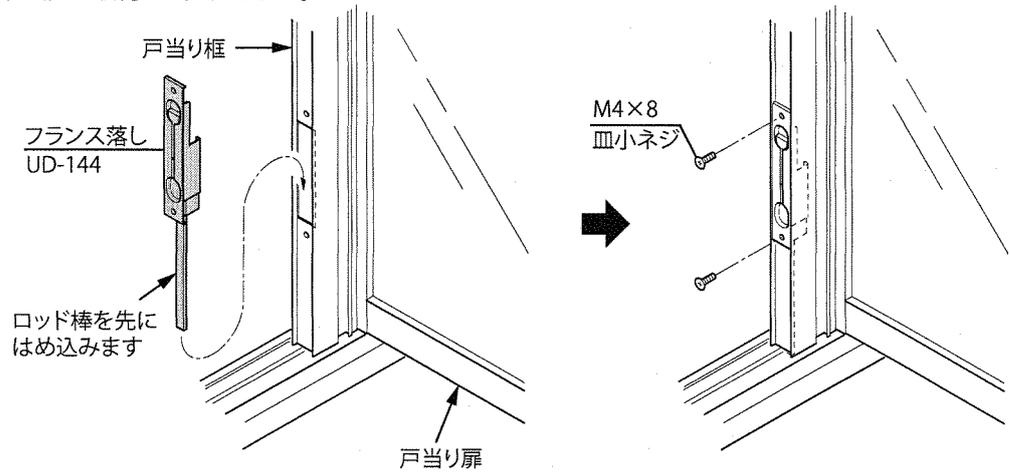


Umrn-152-4



Umrn-153-4

⑥ フランス落しを戸当り框に取付けてください。



2-8 水抜き穴の加工 (内折れのみ)

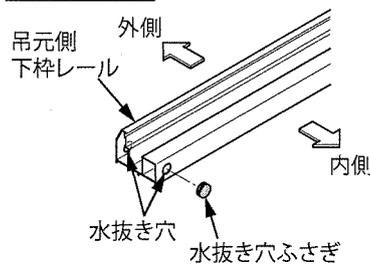
水抜き穴ふさぎの付け替え

下枠レールには水抜き穴があります。水抜き穴ふさがりが、片側の穴に取付けられています。

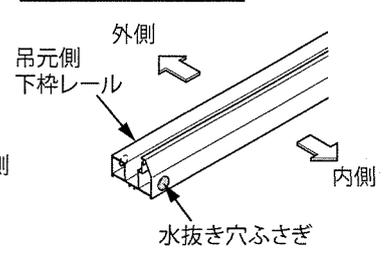


出荷時には、外折れを想定して、水抜き穴ふさぎを取付けています。

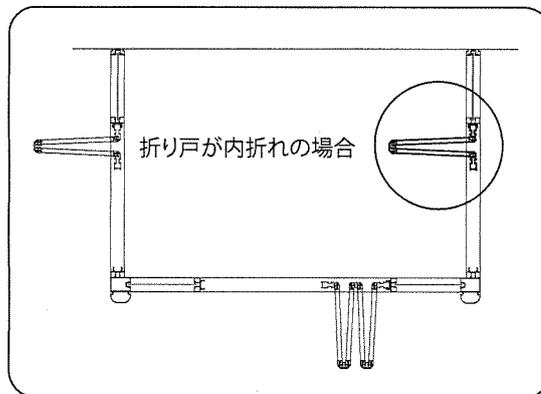
内折れの場合



通常(外折れ)の場合



扉を内折れにする場合は、水抜き穴ふさがりを内側に付け替えてください。

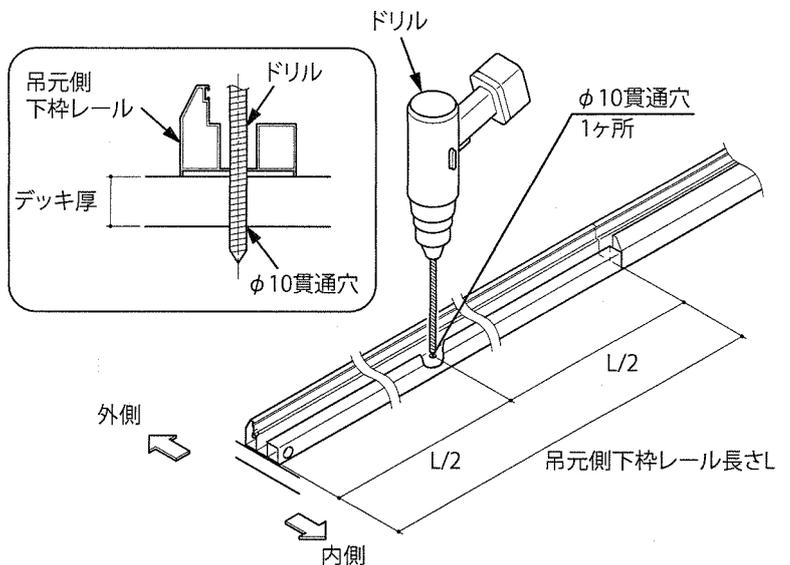


水抜き穴の追加

吊元側下枠レールに水抜き穴を追加してください。



- デッキを貫通するように穴をあけてください。
- 外折れの場合、加工の必要はありません。

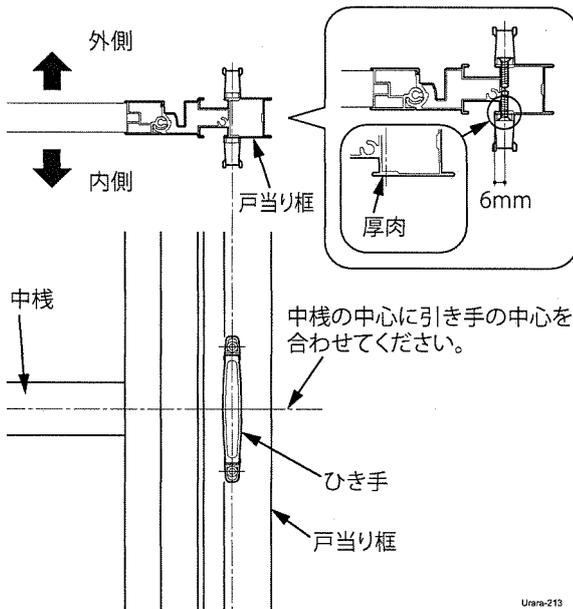


2-9 ひき手の取付け

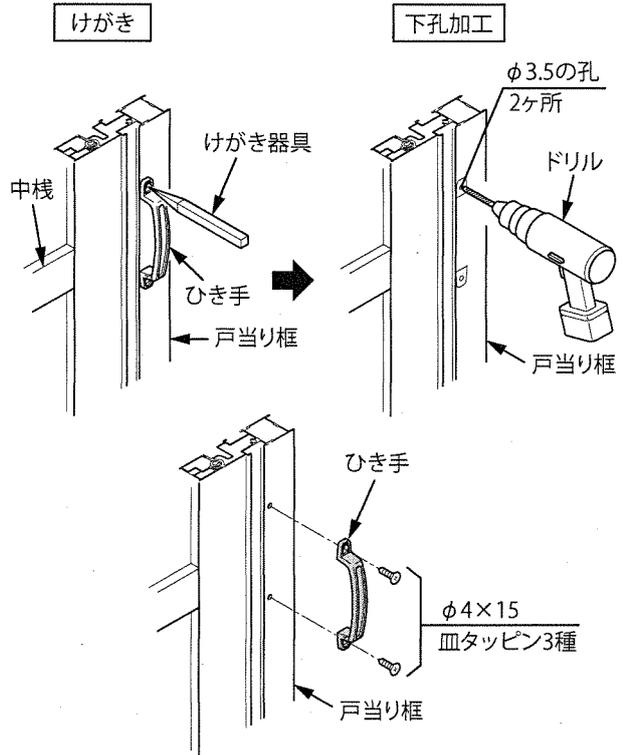
- ①ひき手をあてがい、ビス位置にけがきを入れ、
φ 3.5mm の下孔加工を行ってください。

ポイント 戸当り框には、框材が厚肉になっている部分があります。そこに下孔加工を行ってください。

- ②ひき手を戸当り框に取付けてください。



Uraa-213



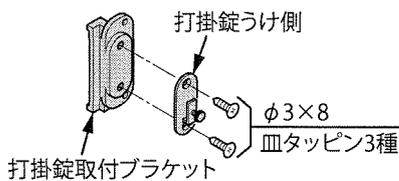
Uraa-214

2-10 打掛錠の取付け

- ①打掛錠取付ブラケットをひき手から 10mm 下にあてがい、ビス位置にけがきを入れ、φ 3.5mm の下孔加工を行ってください。

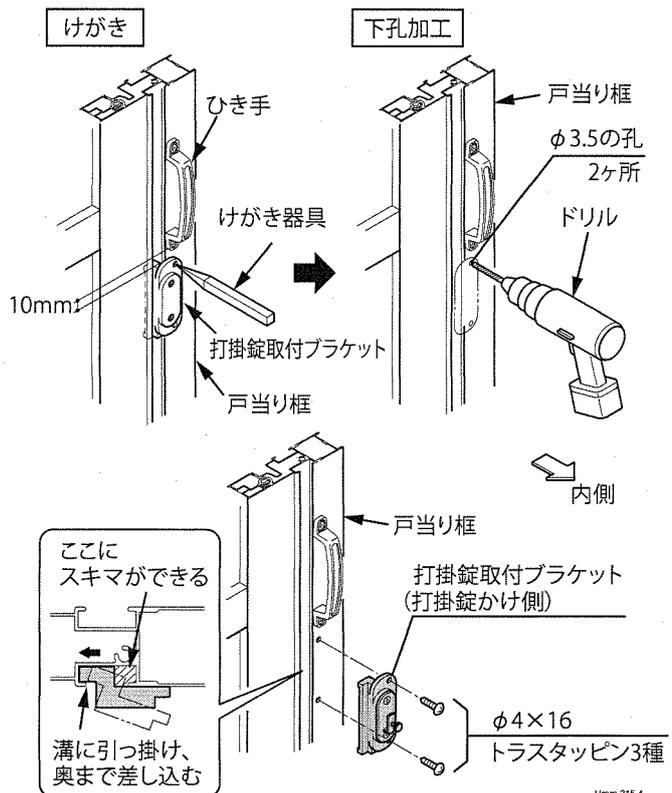
ポイント 戸当り框には、框材が厚肉になっている部分があります。そこに下孔加工を行ってください。

- ②打掛錠うけ側を打掛錠取付ブラケットに取付けてください。



Uraa-219-4

- ③打掛錠取付ブラケットを戸当り框に取付けてください。

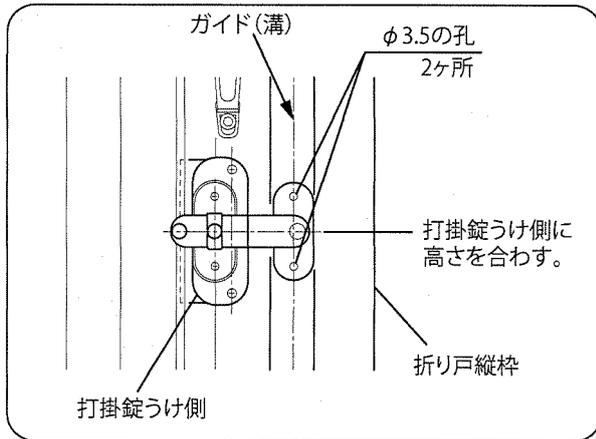


Uraa-215-4

- ④ 折り戸を完全に閉めてください。
- ⑤ 打掛錠かけ側の位置を決め、けがきを入れ、 $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔加工を行ってください。

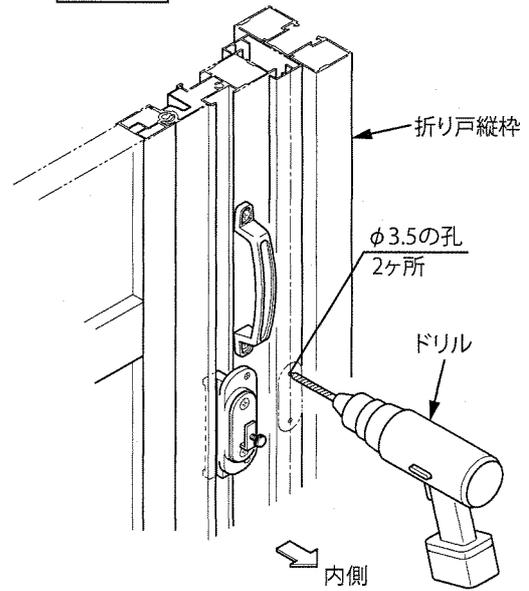
ポイント

- 打掛錠うけ側に高さを合わせてください。
- 折り戸縦枠のビス位置を示すガイド(溝)に下孔加工を行ってください。



Uraa-220-4

下孔加工

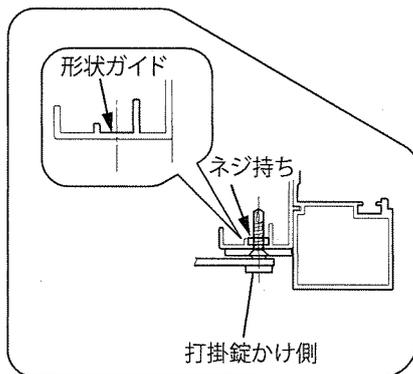


Uraa-216-4

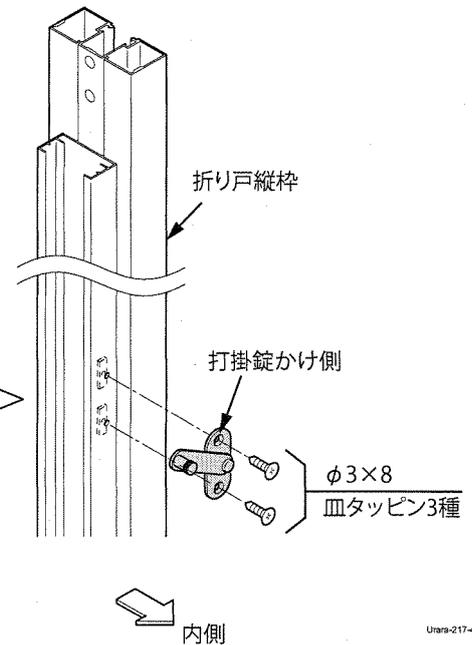
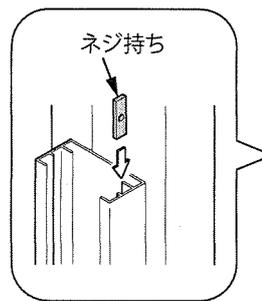
- ⑥ ネジ持ちを使用して、打掛錠かけ側を折り戸縦枠に取付けてください。

ポイント

ネジ持ちは、形状ガイドに挿入してください。



Uraa-221-4



Uraa-217-4

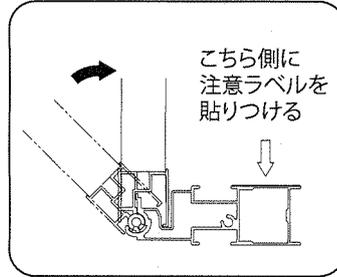
2-11 警告・注意ラベルの貼り付け

本製品には、折り戸の戸当り框に3枚の注意ラベルを貼り付ける必要があります。戸当り框の所定部分に必ず貼り付けてください。



おねがい

注意ラベルの高さ位置は、打掛錠の少し下の部分ですが、必ず扉が折れる側に取付けてください。
また、注意ラベルを貼る時は、必ず貼る部分の油分をきれいにふきとって貼り付けてください。



警告・注意ラベル

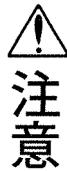
戸当り框

Ums-218-4



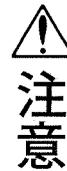
警告

- 扉を開閉する時は、必ず落し錠を上げ・下げしてください。
- 扉をたたんだ時は、自走しないよう落し錠を下ろしてください。



注意

開閉時には人や物などの障害物が無いことを確認してください。



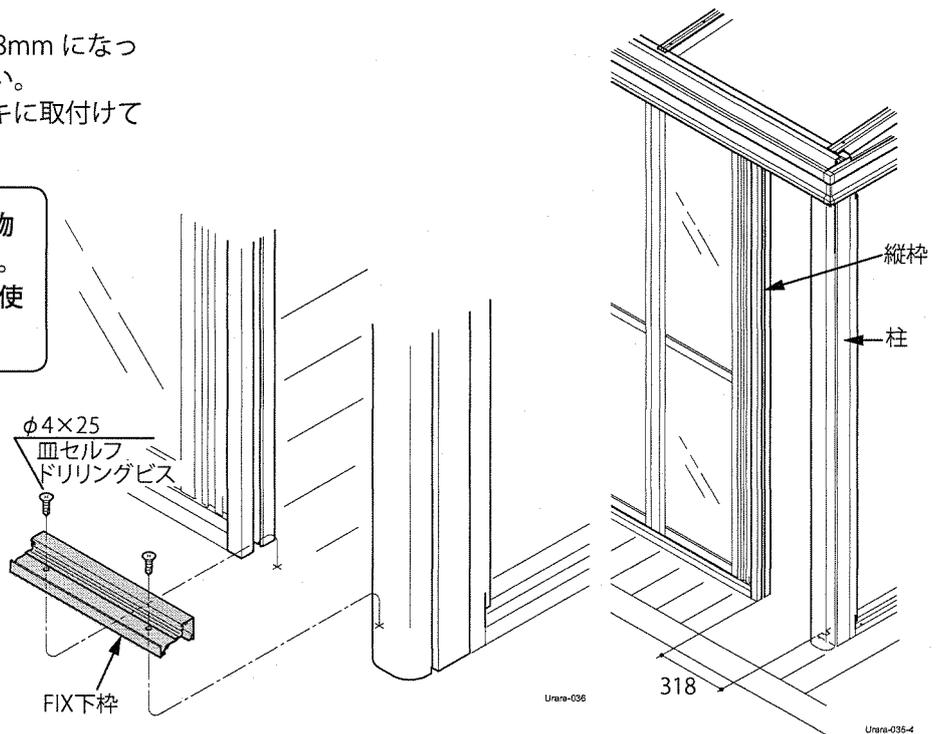
注意

開閉は必ず引き手を持って行ってください。

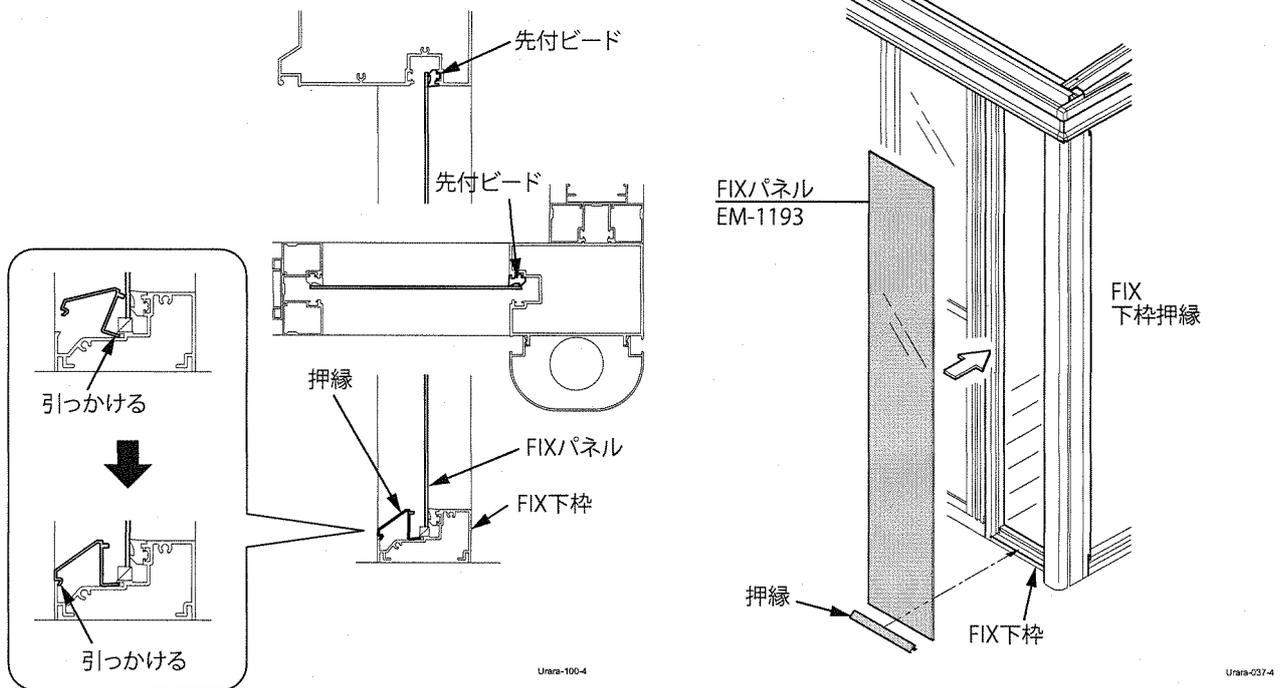
2-12 間口面 FIX パネルの取付け

- ① 柱と縦枠の開口寸法が、318mm になっているかを確認してください。
- ② 間口面用の FIX 下枠をデッキに取付けてください。

ポイント
FIX 下枠には、長い物と短い物があります。間口面には長い物を使用してください。

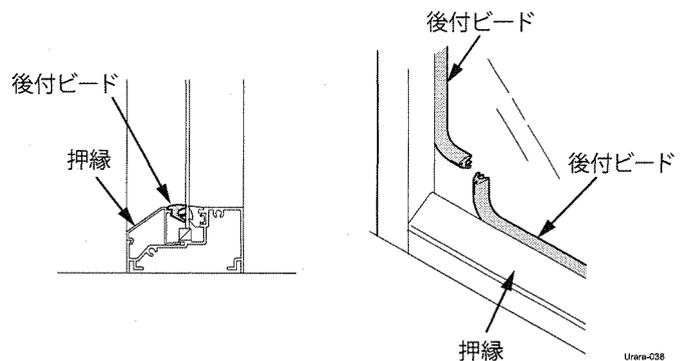


- ③ FIX パネルをはめ込んでください。
- ④ 間口面用の押縁を FIX 下枠に取付けてください。



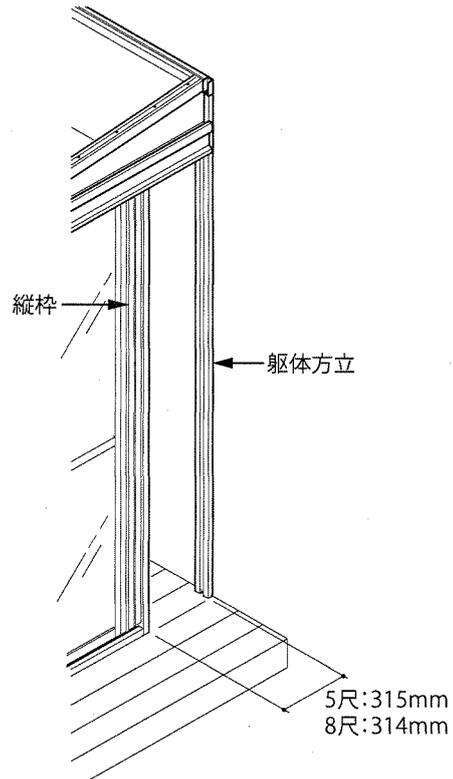
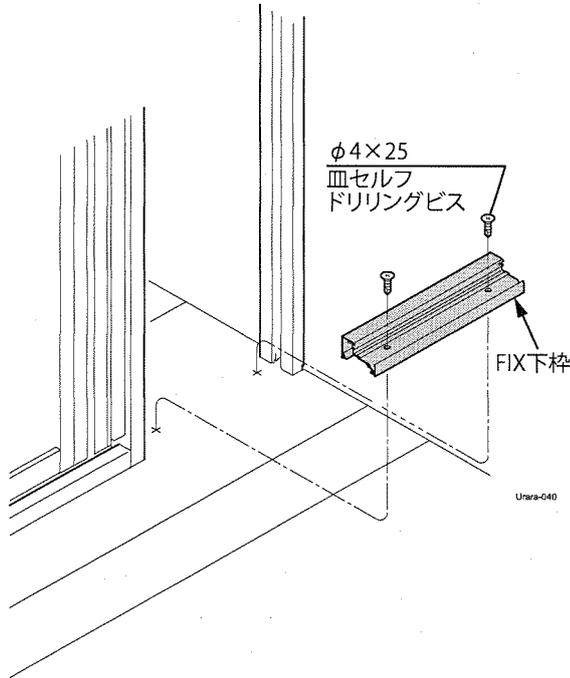
- ⑤ 四方に後付ビードを取付け、FIX パネルを固定してください。

ポイント
後付ビードは長尺で梱包されています。必要な長さに切断して、使用してください。

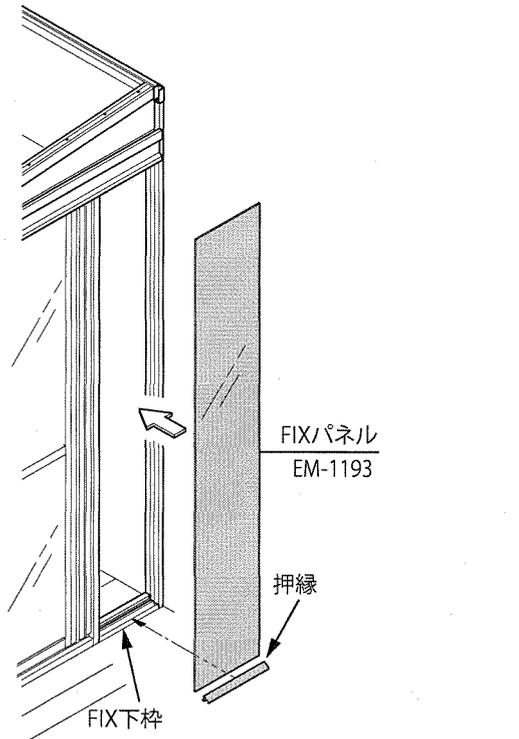
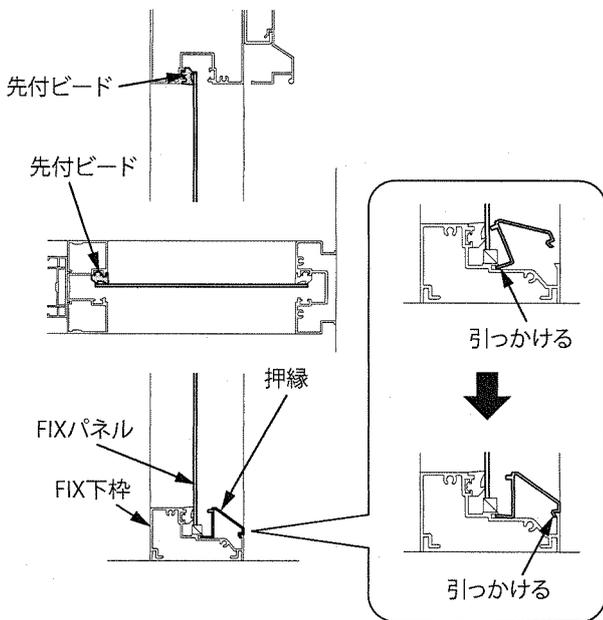


2-13 出巾面 FIX パネルの取付け

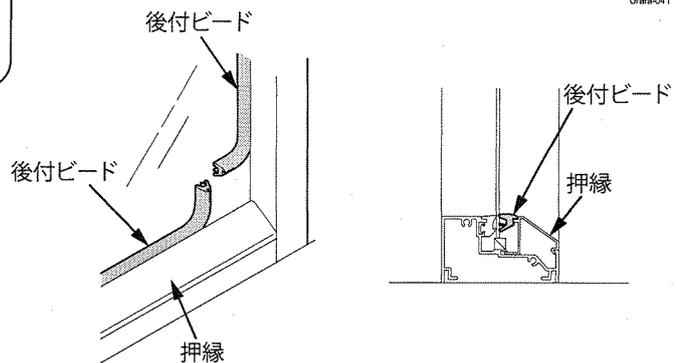
- ① 躯体方立と縦枠開口寸法が、5尺：315mm、8尺：314mm になっているかを確認してください。
- ② 出巾面用の FIX 下枠を取付けてください。



- ③ FIX パネルをはめ込んでください。
- ④ 出巾面用の押縁を FIX 下枠に取付けてください。



- ⑤ 四方に後付ビードを取付け、FIX パネルを固定してください。

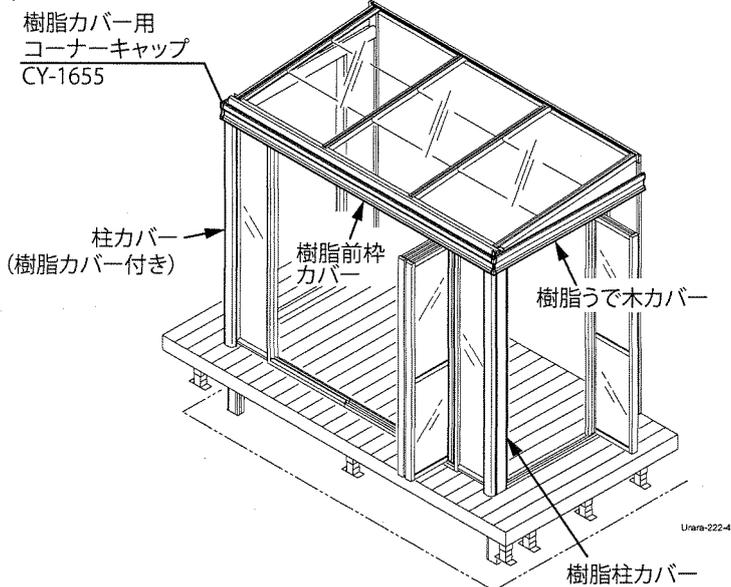


 ポイント	後付ビードは長尺で梱包されています。 必要な長さに切断して、使用してください。
----------	--

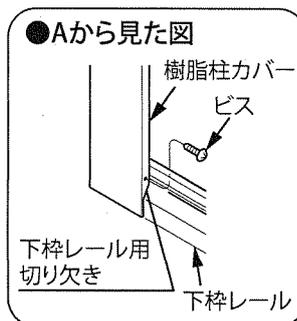
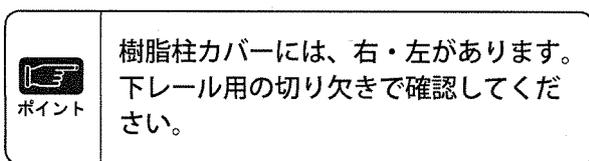
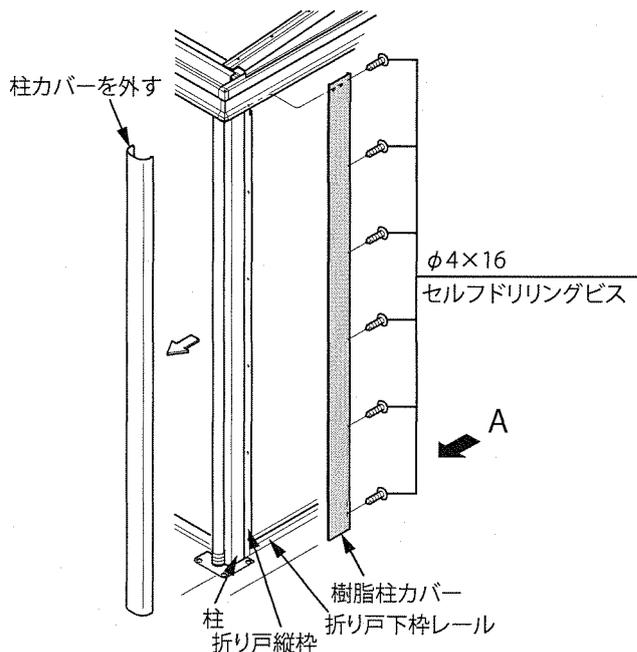
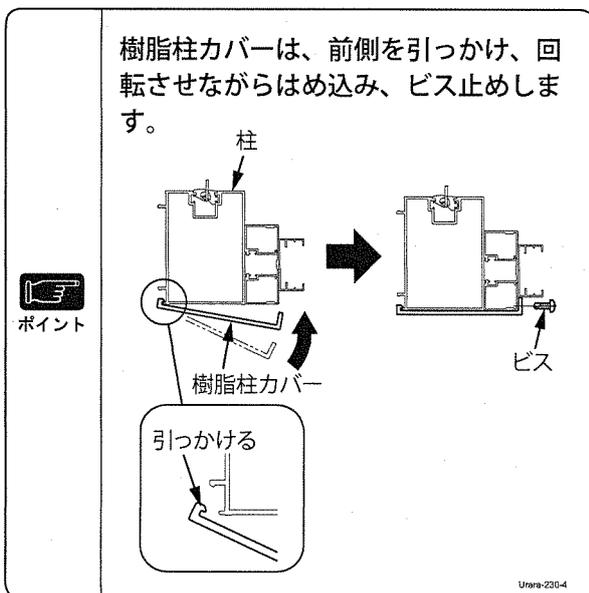
3

その他部品の取付け

3-1 木樹脂カバーの取付け

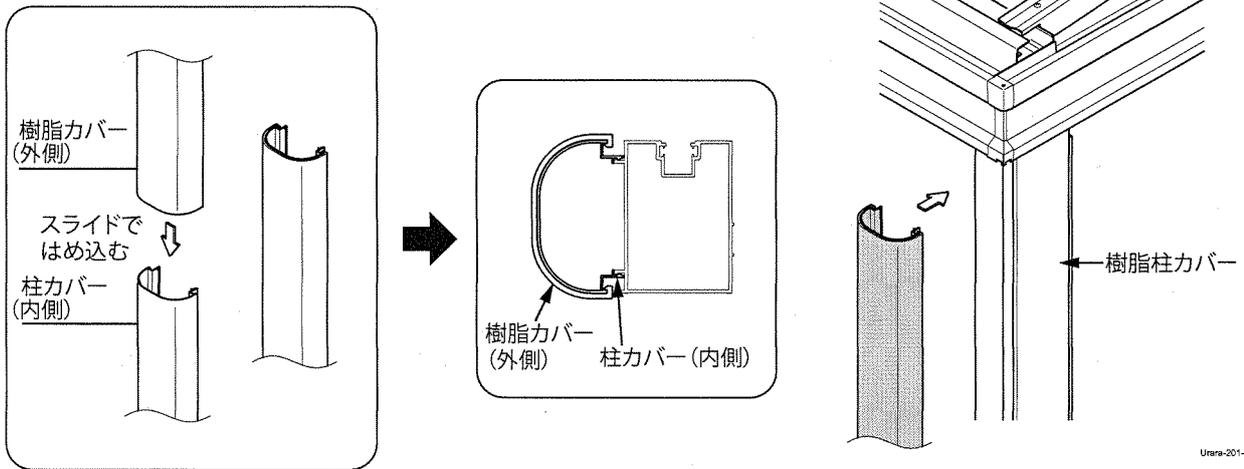


- ① 柱カバーを取外してください。
- ② 樹脂柱カバーを折り戸縦枠に取付けてください。

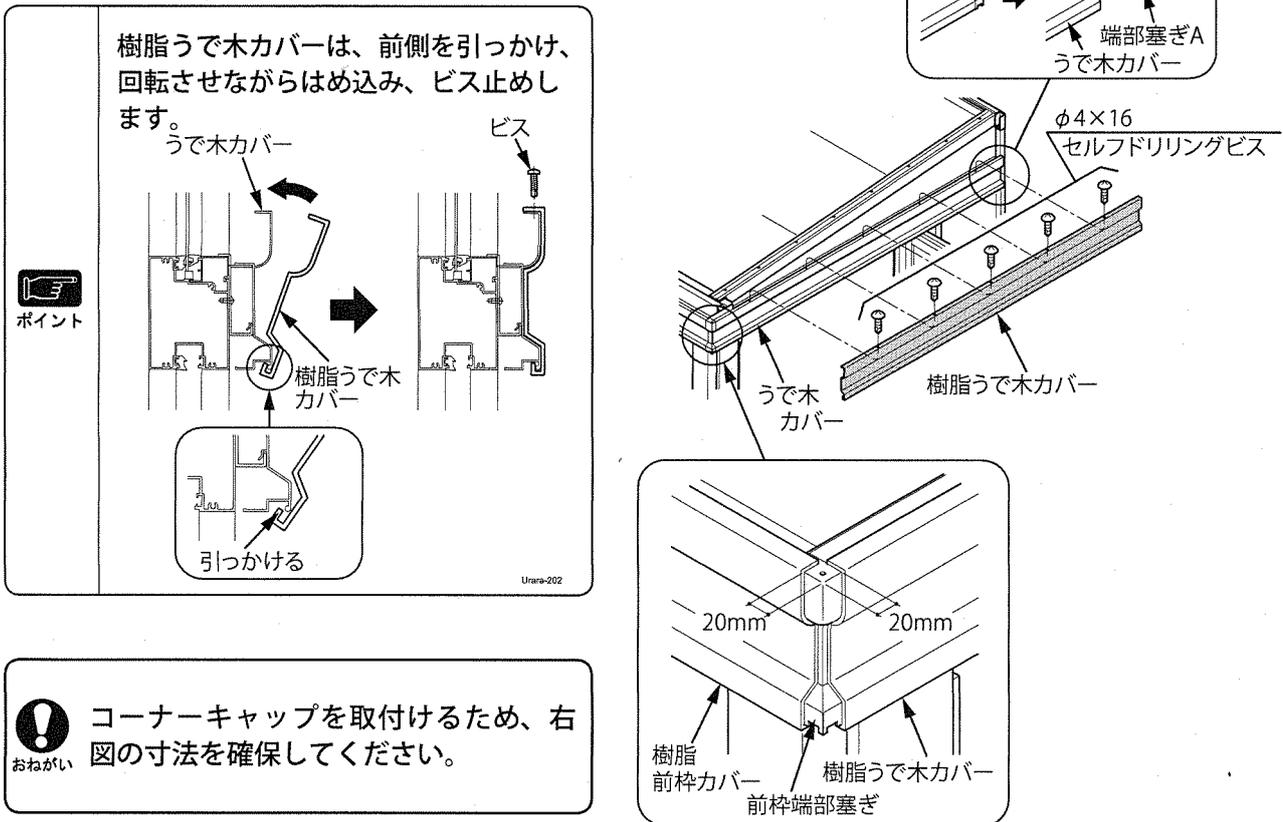


その他部品の取付け

- ③樹脂カバーを柱カバーにスライドさせてはめ込んでください。
- ④柱カバーを柱にかん合させて取付けてください。

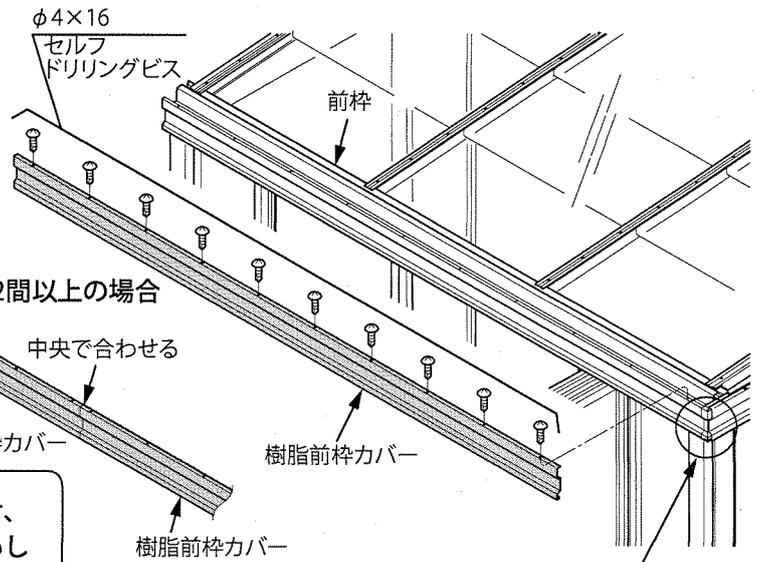


- ⑤うで木カバー端部 (躯体側) の端部塞ぎ A を取外してください。
- ⑥樹脂うで木カバーをうで木カバーに取付けてください。

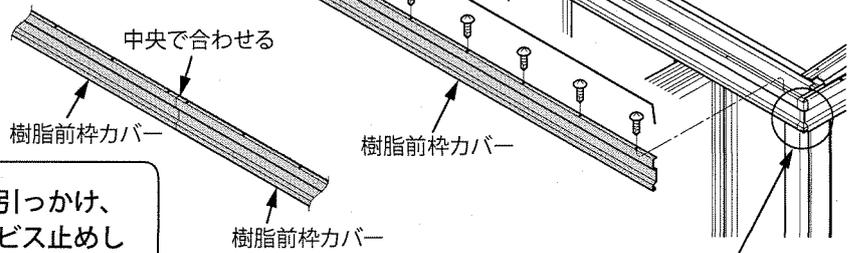


⑦樹脂前枠カバーを前枠に取付けてください。

●間口1.5間の場合



●間口2間以上の場合

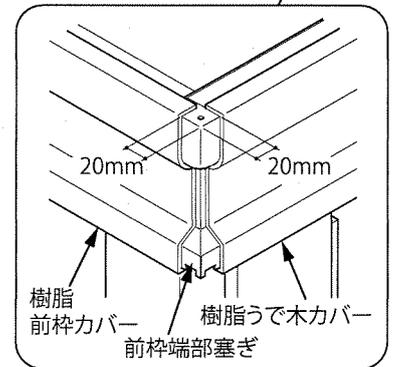


樹脂前枠カバーは、下側を引っ掛け、回転させながらはめ込み、ビス止めします。

ポイント

前枠
ビス
樹脂前枠カバー
引っかける

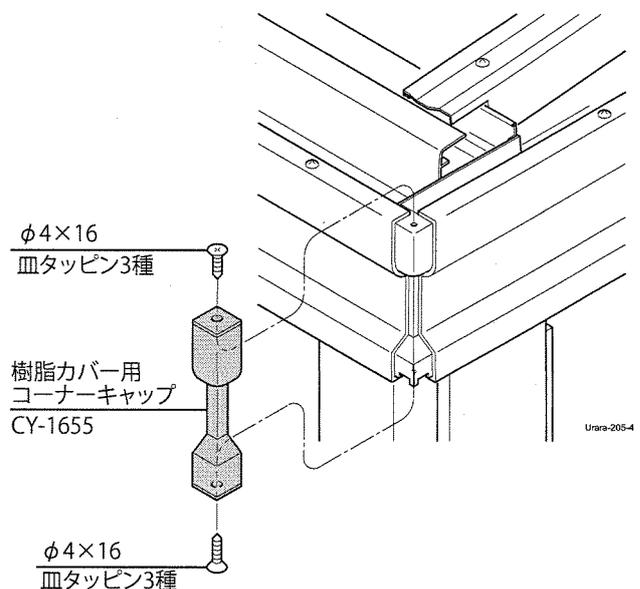
Urara-232



ポイント 間口2間以上の場合、樹脂前枠カバーは2個必要です。

! コーナーキャップを取付けるため、上図の寸法を確保してください。
おながい

⑧樹脂カバー用コーナーキャップを前枠コーナー部に取付けてください。



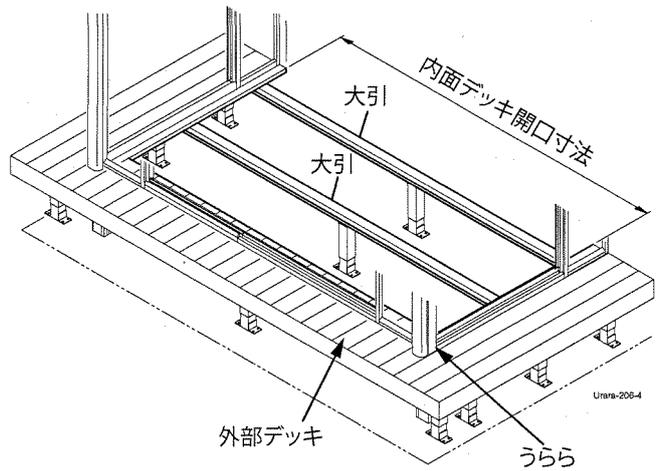
3-2 内面デッキの取付け



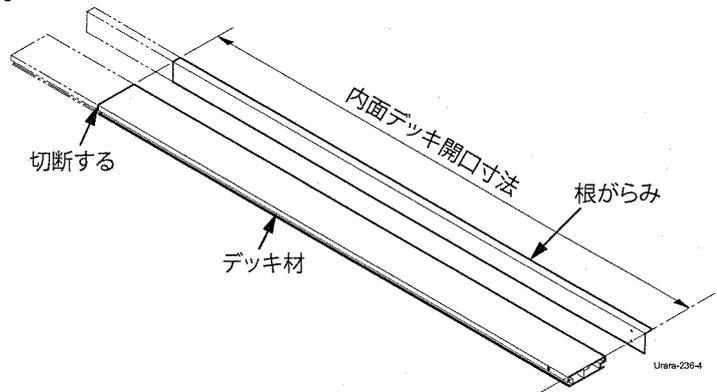
内面デッキの施工要領については、木樹脂デッキⅡの取付け説明書[ME-1738]を合わせて参照してください。

3-2-1 内面デッキ開口部の施工

① 6～13 ページ「納まり図」のデッキ寸法図を参照して、内面デッキの設置寸法を確認してください。



② デッキ材と根がらみを内面デッキ開口寸法に切断してください。



- ③デッキ材を大引にあてがい、デッキ材中央のガイドライン上にφ4mmの下孔加工を行ってください。

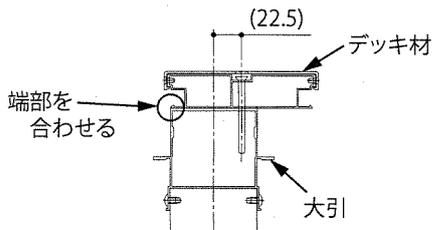
! デッキ材と大引の端部を合わせて、貫通孔をあけてください。
おねがい。

ポイント 約900mmピッチで取付孔をあけてください。

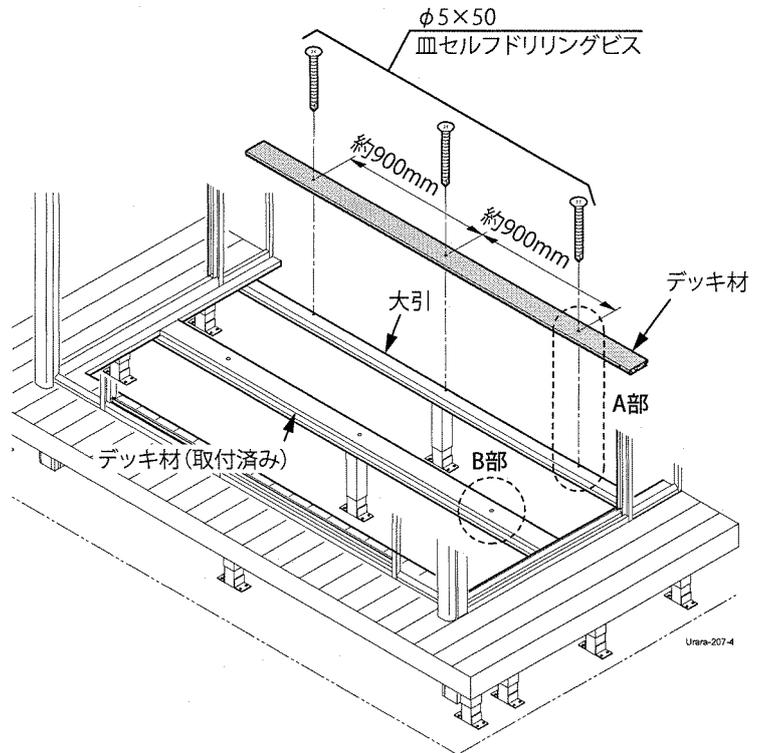
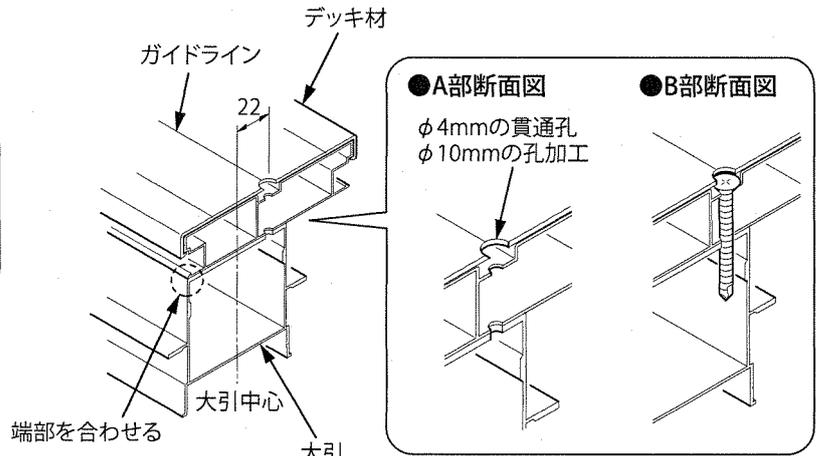
- ④デッキ材表面の樹脂カバー部に、φ10mmの孔加工を行ってください。

- ⑤デッキ材を大引に取付けてください。

ポイント デッキ材と大引の端部をあわせてください。



Uraa-239-4



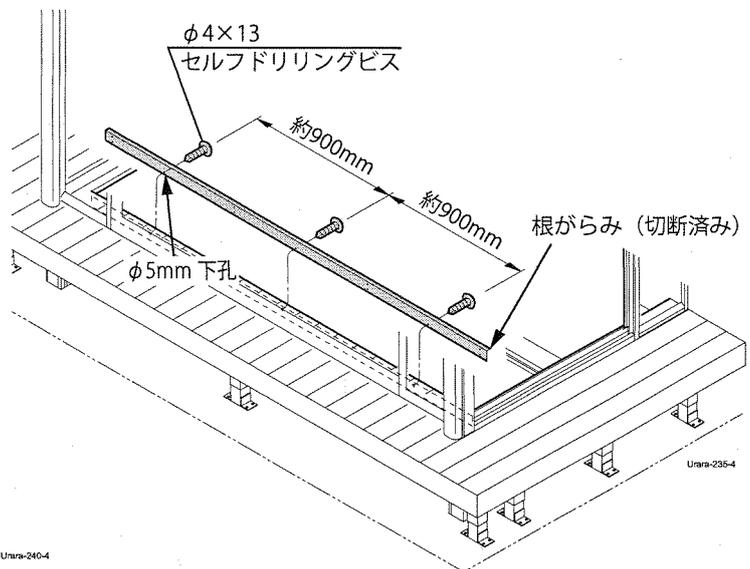
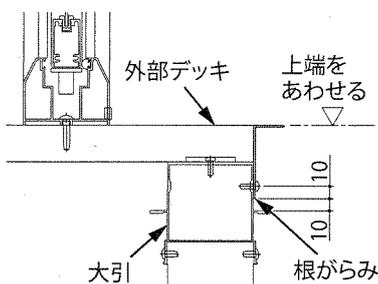
Uraa-207-4

- ⑥根がらみにφ5mmの下孔をあけてください。

ポイント 約900mmピッチで下孔をあけてください。

- ⑥根がらみを大引に取付けてください。

ポイント 外部デッキと根がらみの上端を合わせてください。



Uraa-235-4

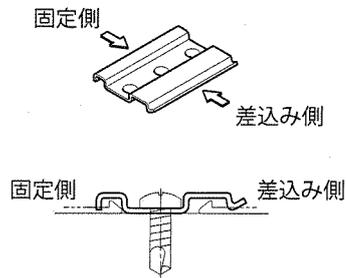
その他部品の取付け

3-2-2 内面デッキの取付け



- 両端部と中間部でデッキ材の取付け方法が異なります。各項目を参照してください。
- 中間部のデッキ材を取付るときには、デッキ材取付金具を使用します。
- デッキ材取付金具には、固定側と差込み側があります。

●デッキ材取付金具



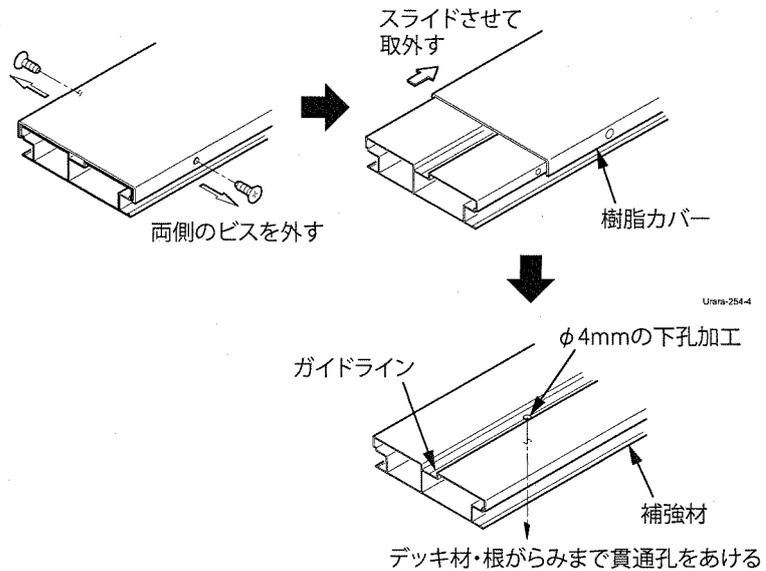
Ura-238-4

両端部のデッキ材の場合

- ①デッキ材のビスを外して樹脂カバーを取外してください。
- ②A 寸法に合わせて下地のデッキ材・根がらみに補強材をあてがい、 $\phi 4\text{mm}$ の貫通孔をあけてください。

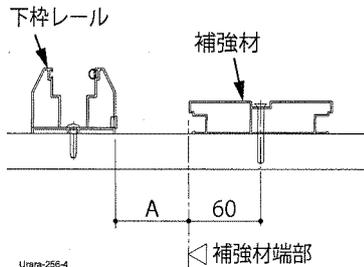
●A 寸法表 (mm)

間口	A 寸法
1.5 間	61.0
2.0 間	61.5
2.5 間	62.0
3.0 間	62.5



Ura-284-4

●始め一枚の取付け



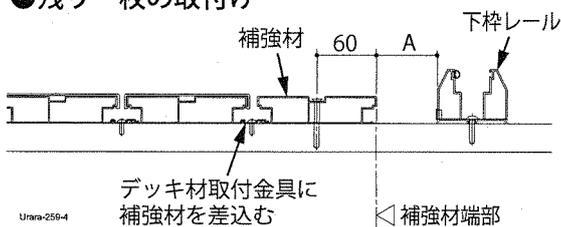
Ura-255-4

- ③補強材を下地のデッキ材・根がらみに取付けてください
- ④再び、樹脂カバーを上からはめ込んでください。

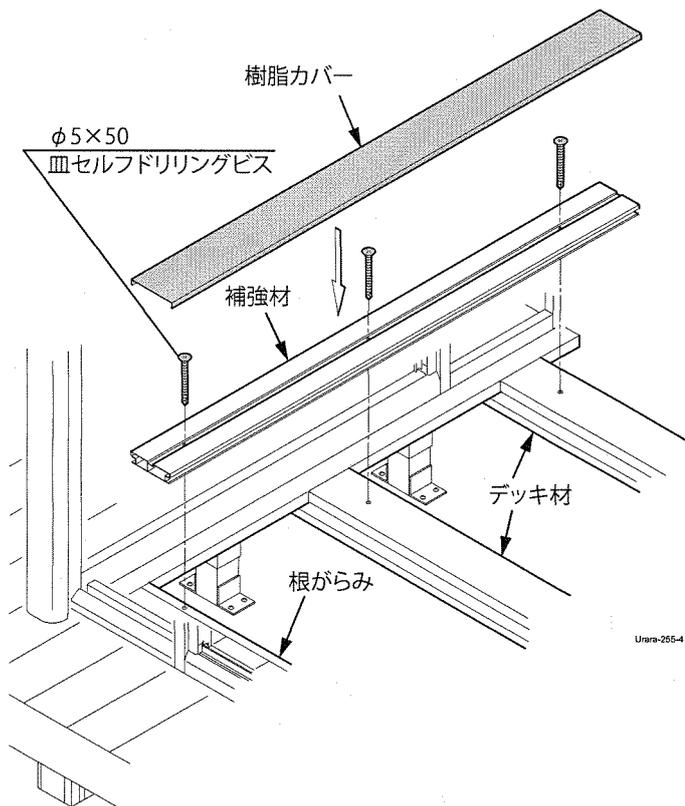


残り一枚のデッキ材は、中間部のデッキ材を取付けた後に、施工してください。

●残り一枚の取付け



Ura-258-4



Ura-255-4

中間部のデッキ材の場合

- ①下地のデッキ材に 130mm ピッチでφ 3mm の下孔をあけてください。
- ②デッキ材取付金具を使用して、木樹脂デッキⅡと同じ要領で、内面デッキを取付けてください。

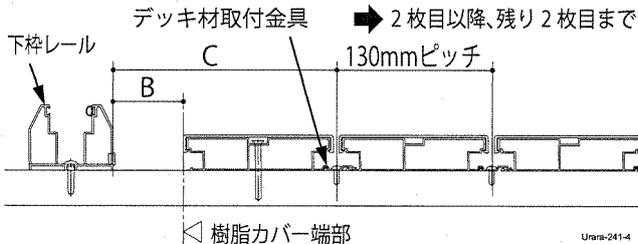


必ず、デッキ材取付金具用の下孔加工 (φ 3mm) を行ってください。下孔加工を行わないと、チリ寸法を正確に出すことができません。

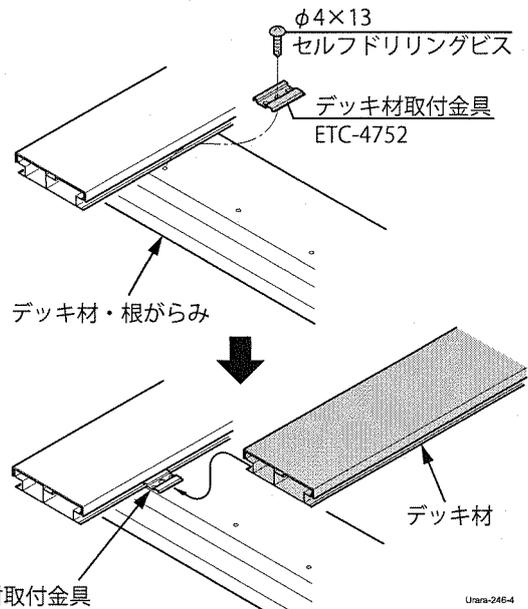
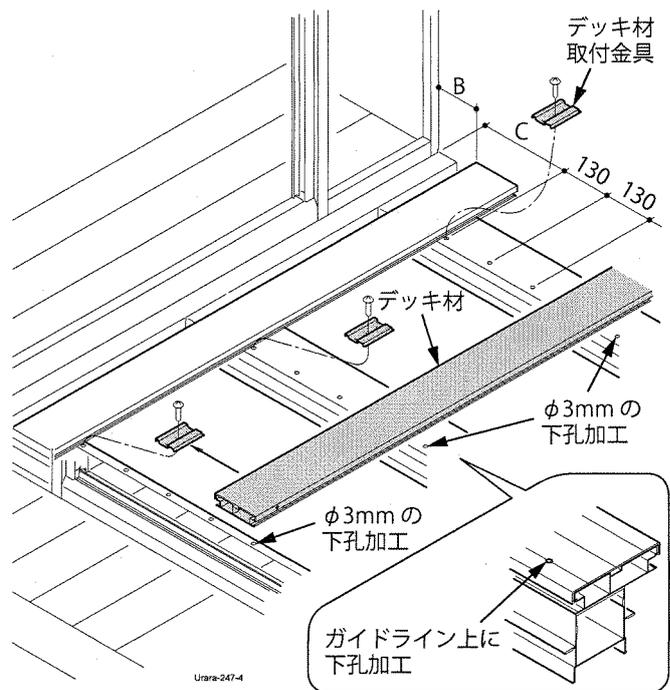
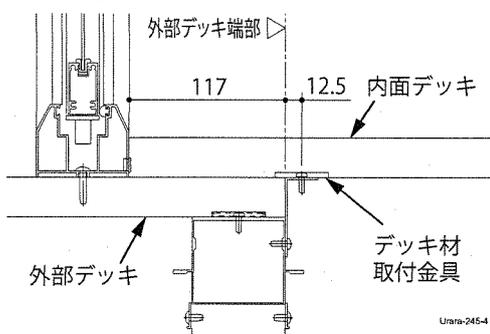
● B・C 寸法表 (mm)

間口	B 寸法	C 寸法
1.5 間	58.5	186.0
2.0 間	59.0	186.5
2.5 間	59.5	187.0
3.0 間	60.0	187.5

● 間口側より見る



● 出巾側より見る

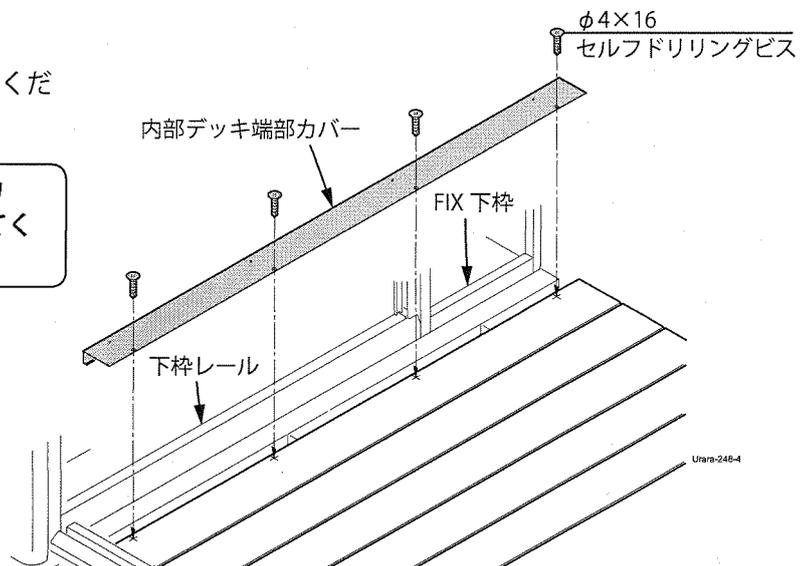
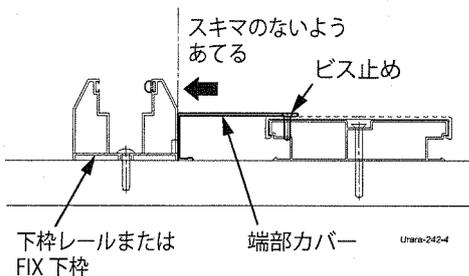


3-2-3 端部カバーの取付け

- ①デッキの両端部に、端部カバーを取付けてください。



下枠レールおよび FIX 下枠と端部カバーのスキマがないように取付けてください。



その他部品の取付け

3-2-4 スキマフサギ材の取付け

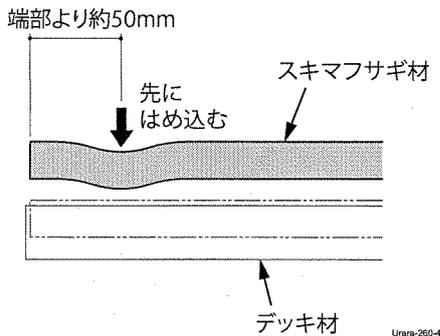


ポイント

スキマフサギ材は、内面デッキ長さより5mm短くなっています。レール側および躯体側に2.5mmずつスキマをあけて取付けてください。

①スキマフサギ材の取付位置を確認し、位置合わせを行ってください。

②スキマフサギ材端部より約50mmの部分を、デッキ材にはめ込んでください。



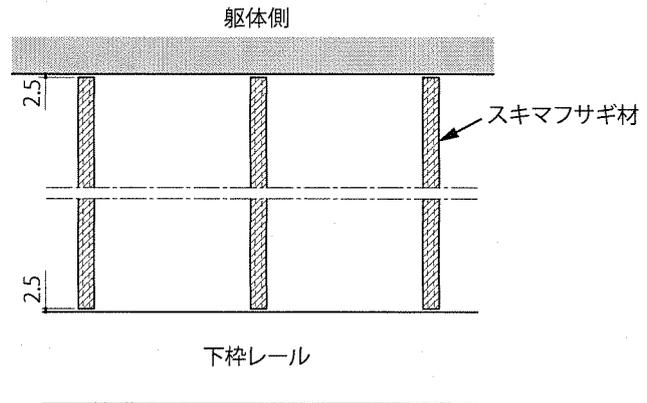
Urara-260-4

③スキマフサギ材全体をはめ込んでください。

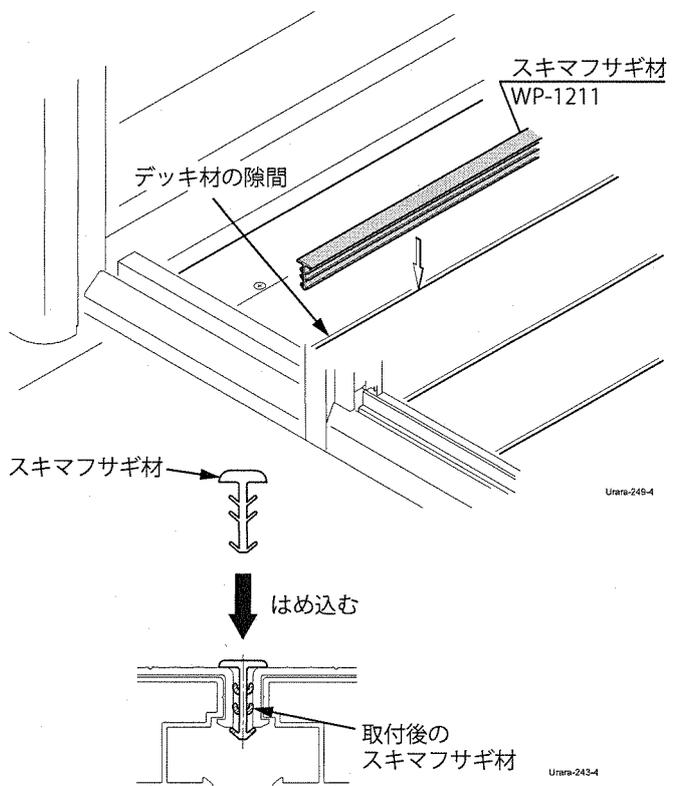


おねがい

必ず手ではめ込んでください。ハンマー等でたたき込むと、割れる原因となります。



Urara-257-4



Urara-249-4

Urara-243-4

網戸を取付ける場合

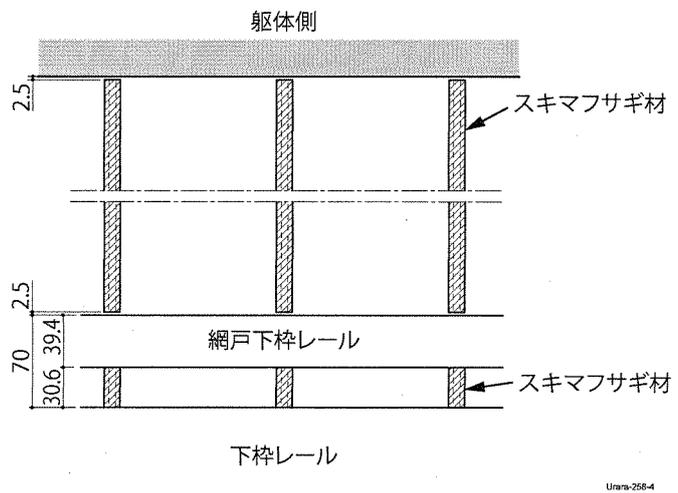


ポイント

網戸本体の取付け前にスキマフサギ材を取付けてください。

①網戸枠と網戸下枠レールを取付けた後、スキマフサギ材を必要な長さに切断してください。

②スキマフサギ材をデッキにはめ込んでください。



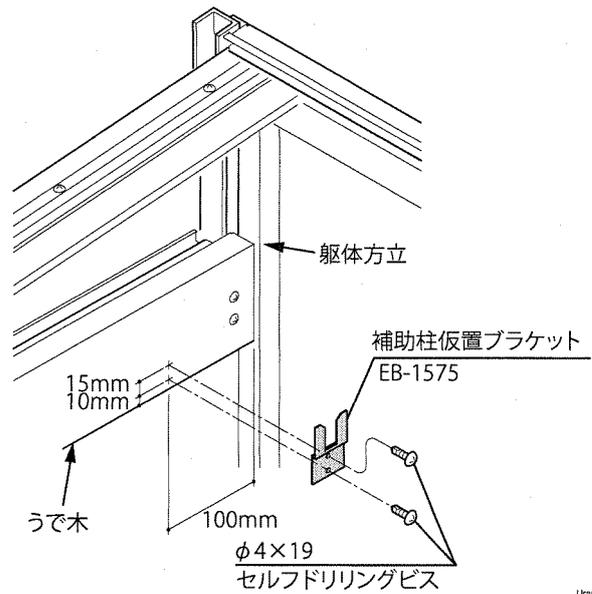
Urara-258-4

3-3 補助柱仮置ブラケットの取付け



補助柱仮置ブラケットは、間口 2.5 間および 3.0 間の場合に必要です。

- ① 補助柱仮置ブラケットをうで木に取付けてください。



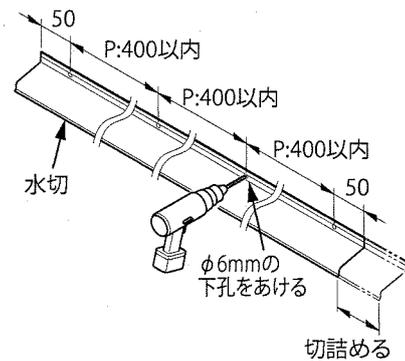
Urara-211

3-4 水切の取付け (オプション)

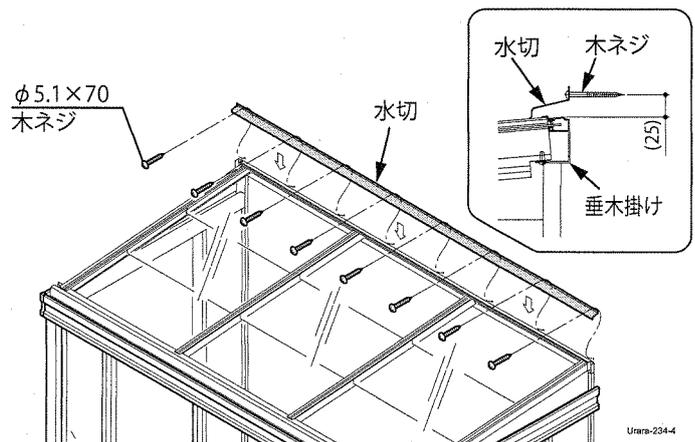


- 水切は、間口 3.0 間用に合わせた L 寸法になっています。
- 1.5 ~ 2.5 間の場合は、屋根部よりも両側 30 mm 程度はね出した寸法で切詰めてください。

- ① 「納まり図」を参照し、水切を必要な長さに切詰めてください。
- ② φ 6mm の下孔をあけてください。
- ③ 垂木掛け上部に水切を取付けてください。



Urara-233-4

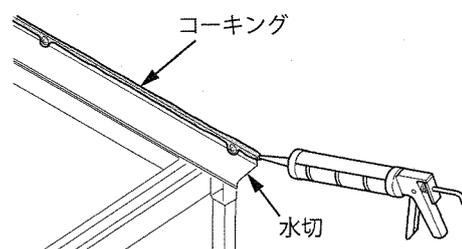


Urara-234-4

- ④ 水切と躯体の間および木ネジ部に、コーキング処理を行ってください。



コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。



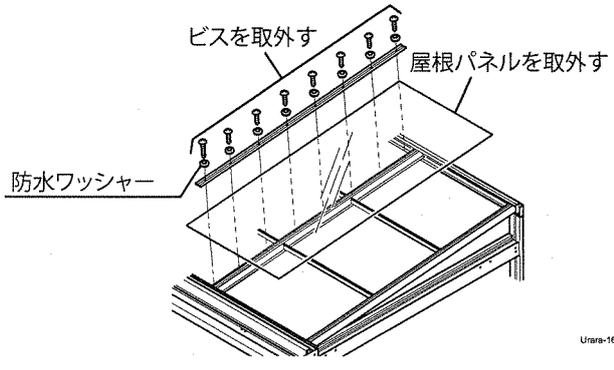
Urara-244-4

屋根材の補修方法

①屋根側の押え材固定ビスを外してください。

②屋根パネルを取外してください。

! 外したビスおよび防水ワッシャーをなくさないでください。
おねがい



Umsr-164-4

- 施工完了時の注意事項
- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
 - 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
 - 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
 - この説明書は、施工終了後施主様にお渡しください。

オプション品のご紹介

うらら には本説明書で記載している物以外に下記のオプションがございます。

- ①天井スクリーン
- ②物干し
- ③網戸

各梱包内の取付説明書をご覧ください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

—お願い—

- 「お取扱いの手引き」に基づき (同梱されているもののみ) 商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店		TEL ()	—
販 売 店		TEL ()	—
商 品 名			
そ の 他			